＊オンライン RLI 資料一覧

1．オンライン RLI 参加者テキスト　：カリキュラム委員会 編

2．オンライン RLI 参加者テキスト 資料集　：カリキュラム委員会 編

3．事前質問集（パートⅠ～パートⅢ）　：ファシリテーター委員会 編

4．オンライン RLI 運用マニュアル（概要編）　：RLI 日本支部

5．オンライン RLI 運用マニュアル（ディスカッションリーダー編）
：ファシリテーター委員会

6．セッションの進め方 パートⅠ サンプル　：ファシリテーター委員会

7．セッションの進め方 パートⅡ サンプル　：ファシリテーター委員会

8．セッションの進め方 パートⅢ サンプル　：ファシリテーター委員会

9．パートⅠ ガイダンス サンプル　：ファシリテーター委員会

＊資料１～３は、オンライン RLI の参加者に事前に配布するためのものです。
＊資料４は、地区 RLI 運営委員会が、オンライン RLI を実施する際に必要な準備と運営方法を解説しています。
＊資料５～８は、ディスカッションリーダー（DL）のための参考資料です。
＊資料９は、パートⅠ開会の全体会議で使用できる参加者に対するガイダンスのサンプルです。

＊オンライン RLI の資料は、すべて PDF で提供します。ワード文書やパワーポイントでの提供を希望する地区は、日本支部事務局までお問い合わせください。（→ RLI 日本支部のウエブサイト https://rli-japan.org/ の参加地区専用の「お問合せフォーム」にアクセス）

オンライン RLI コース

RLI 日本支部

参加者用テキスト

ご挨拶

ＲＬＩ日本支部
支部長　北　清治

新型コロナウイルスのパンデミックな現況下でロータリー活動も抑制され対応を余儀なく求められております。このような時こそ、革新的な未来像が生み出されてくるのではないでしょうか。

RI 理事会は、2020 年中の会合は全てオンラインで行うことを決定し、地区研修やガバナー公式訪問などオンラインで行うことを奨励しております。地区会合やクラブ例会など一日も早く正常に戻ることを願いつつ、バーチャル会議など創意工夫された対応が図られていることと思います。

日本の RLI においても、現時点での対応策としてオンライン RLI 実施マニュアル作成などの必要性を認識しておりました。早急に RLI 日本事務局、カリキュラム委員会、ファシリテーター委員会で度重なる検討会議を開催して頂きましたことをご紹介申し上げますと共に関係各位に感謝申し上げます。

ここにオンライン RLI の標準実施マニュアルを初期暫定版になりますが提供させて頂く運びとなりました。各地区におかれまして十分ご検討して頂き大きな成果が上がりますことを期待致しております。

オンライン RLI の実施に当たっては ZOOM ミーテング会議などに精通したロータリアンの参加協力がより大きな成果を上げるものと思います。また想定を超える課題も多々出てくるものと思います。そのような折は忌憚のない情報交換をして頂きながら皆さんの英知を結集して、より充実したオンライン RLI 日本版が出来上がることを願っております。

今後は本来のリアル RLI とオンライン RLI の融合が図られ、それぞれの地区の実情に合わせた有効活用が図られると共に、これを契機により充実した内容へと発展しますことを期待致しております。

オンラインＲＬＩ参加者テキスト発行に際して

ＲＬＩ日本支部カリキュラム委員会
ＲＬＩ日本支部ファシリテーター委員会

今般の新型コロナウィルスの世界的蔓延により、ロータリーの様々な活動においても大きな影響がもたらされております。特に、参加者とＤＬが直接顔を合わせながら、議論を発展させていく研修スタイルのＲＬＩにおいては、従来とは違った安全でかつ効果的な開催方法を模索せざるを得ない状況になりました。

日本支部では、北委員長様のご指導の下、直ちにウェブツールを利用したＲＬＩの開催方法を検討し、この度オンラインＲＬＩ実施マニュアルが完成致しました。カリキュラム委員会ではその指針に沿って、現在のカリキュラムをベースにオンラインでも参加者の満足感が得られる内容となるよう、セッションの話題と目標に修正を加えることに致しました。

また今回、参加者用テキストとは別に資料編を編集し、オンラインでのＲＬＩの進行をよりスムーズにできるよう工夫させて戴きました。

従来のテキストには無い新しい資料も挿入してあり、オンラインでのＲＬＩにおいても、今まで以上に白熱した議論が盛り上がるものと期待致しております。

さらに、オンラインツールの特徴である画面共有システムを利用し、ＤＬが映像やスライドを適宜挿入することにより、参加者がより臨場感溢れる議論が楽しめるのではないかと考えております。

ただ、何分にもオンラインＲＬＩは今回初めての試みであり、至らないところも多々あろうかとは存じます。今後、皆様のご指摘を賜りながら、更なる進化をさせ、オンラインでのＲＬＩ研修効果を高めて参りたいと存じます。

今後とも皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI プログラムについて。

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI)は、世界中にある支部に組織化された地区会員のために、草の根で多地区のリーダーシップ開発を行うプログラムです。3 年ごとに開催される規定審議会は理事会に対して、過去 3 回 RLI を強く推奨してきました。

RLI は、潜在的クラブ役員候補者や最近クラブに入会したメンバーも含めて他のクラブ会員のために、一連の質の良いリーダーシップ開発コースを実施してきました。

RLI の各コースは、リーダーシップ技能や世界中のロータリーの知識を強調しています。

すべてのコースは、完全に対話型となっています。RLI は、リーダーシップ研修によって、参加者がロータリーに熱中し、ロータリーにもっと取り組むことによって、会員維持にプラスの影響が与えられると信じています。RLI に関する詳細な情報は、ウェブサイトをご覧ください。（www.rotaryleadershipinstitute.org）

RLI 推奨プログラム

RLI の拡大により、各支部において、DL（指導者）がカリキュラムに適応したり、また（支部で）翻訳を提供するのに十分な機会を与えるために、大きな改定が 4 年ごとに推奨されています。すべてのカリキュラム資料や翻訳版は RLI ウェブサイトに掲載されています。（www.rlifiles.com）

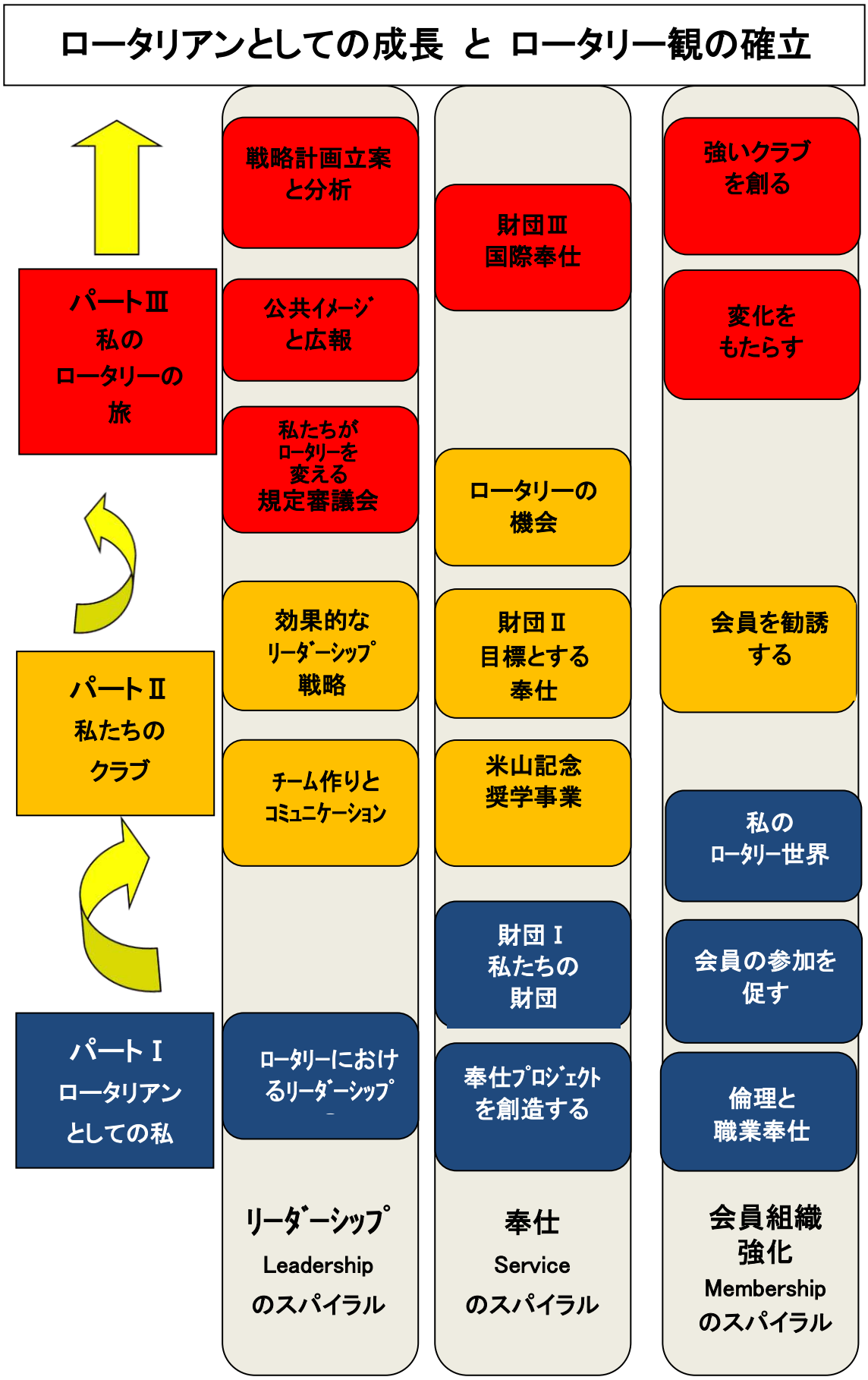
RLI カリキュラム委員会

RLI では世界の様々な地域でカリキュラム委員会を開催することにしています。現在の計画では各 4 年間のカリキュラムサイクルの中で、２回はアメリカで開催し、１～２回はアメリカ以外の様々な地域で開催されることになっています。

すべての RLI 支部は、このような会議に、支部や地区あるいはクラブの会員が RLI 役員に対して、意見や提案を提出せねばならないと通知されています。世界中で RLI の実践経験が積まれることで、RLI コースの価値は高まります。すべての RLI 支部は世界中の行われるすべてのカリキュラム会議に代表を派遣することが出来ます。

2018～2022 年度　カリキュラム委員会

RLI カリキュラムのスパイラル（らせん的展開）



オンライン RLI コース

世界 400 地区以上世界 400 地区以上に跨る共同プロジェクト

2018－22

パート I

RLI パートⅠ　－　ロータリアン
目　　次

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムではありますが、正式なプログラムではありません。

私たちの使命：　ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発ログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。

コース資料

行事計画、教授陣、今後の RLI 行事、部門のリーダーシップ、歓迎の言葉がカリキュラムの補遺としてあるいはウェブサイトに掲載されています。概要やすべての参考資料はウェヴサイト rlifiles.com 上にあります。

1. ロータリーにおけるリーダーシップ(My Leadership In Rotary)
ロータリアンとして、その定義によれば、私はリーダーです。さあご一緒に、リーダーシップの特徴や組織を動機づける手法やリーダーシップのスタイルを探求しましょう。どうしたら一番うまくリーダーシップを発揮することができるでしょうか？

2. 私のロータリー世界(My Rotary World)
ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。ロータリーの目的や構成を正しく理解しましょう。これらのリソースは私を支援してくれるでしょうか？

3. 倫理　―　職業奉仕(Ethics - Vocational Service)
私は倫理的な人間です。他人の倫理観を評価し促進させます。自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。私がロータリアンであることをあなたは理解できるでしょう。

4. 財団Ⅰ　―　私たちの財団（Our Foundation)
私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。財団に関する基本的な目標、やプログラムを学びましょう。私は世界で良い事をする力となるでしょう。

5. 会員の参加を促す(Engaging Members)
私が積極的に参加することでクラブをより強くします。クラブに引き込まれている会員は楽しく過ごし、友人を作り、効果的な奉仕活動を行います。これが私がロータリーに入会した理由です。

6. 奉仕プロジェクトを考案する(Creating Service Projects)
私は職業人や専門職、更には社会のニーズを満たすボランティア活動のリーダーで構成される世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。私は奉仕事業を企画、運営し、そして奉仕を促進します。

1. ロータリーにおけるリーダーシップ

ロータリアンとして、その定義によれば、私はリーダーです。

セッションの目標

リーダーシップの特性を探求する。
ボランティア団体や市民団体におけるモチベーションの高め方を議論する。
あなた自身のリーダーシップのスタイルを考察する。

セッションの話題

1）クラブの過去の会長や、ロータリー活動で知り合ったロータリアンの中で、あなたが一番のリーダーだと信じる人を思い描いてください。（名前を言わないで）
グループの人になぜそのリーダーがベストであったかを説明してください。

2）今、皆様からご意見をいただきました事は、もしかしたら、あなたが望むリーダー像なのでしょうか？ここで、分類表に基づき検証してみましょう。

3）リーダーシップのスタイルは文化や世代によって変わるかもしれませんが、次のリーダー
シップの分類（Kurt Lewin と Rensis Likert の研究に基づく）の観点から議論されるリーダー像について分析してください。

- 参加型：ほかの人々に参加してもらおうと努める。
- 臨機応変型：状況により方法を変える。
- 取引型：階層（ヒエラルキー）構造と賞罰制度に基づいて導く。
- 転換型：活力と熱意を分かち合いながら、相手の心をつかみ導く。
- サーバント型：仕えてもらうより自らが仕える。

４）良いリーダーの特性をリストアップしてみましょう。
その中でどの特性が重要と考えているか話しあってください。

５）リーダーとリーダーシップとありますが、リーダーシップを！あなたが置かれてる
環境の中で他の人に持たせようとするには、あなた自身どんな努力をしますか？

６）ロータリーにおけるリーダーの役割とは何でしょうか？

要約：
良いリーダーシップの必須条件は、思考、計画、準備、新しいことに取り組む意思、過去にとらわれないこと、及びリスクを取る自信です。

2. 私のロータリー世界

ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。

セッションの目標

ロータリーの目的について議論する。
ロータリーの組織構造について理解する。
ロータリーの組織は、ロータリアンとしての私をどのように支援してくれているかを述べる。

セッションの話題

あなたのロータリークラブ

1）なぜあなたはロータリーに入会しましたか？

2）ロータリークラブに入って何か良かったことはありますか？

3）もしあなたが中学生に「ロータリークラブとは？」と聞かれたらどう答えますか？
ロータリーはどのような団体でしょうか？その目的は？

4）ロータリーの組織としてどのようなものがありますか？その役割は何ですか？

5）この組織図をどう思われますか？あなたのイメージと違いますか？
あなたはロータリーの組織をどのようなイメージで考えますか？

3. 倫理　職業奉仕

私は倫理的な人間です。他人の倫理観を評価し促進させます。自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。

セッションの目標

ロータリーの指導原則に含まれる倫理観を学ぶ。
「四つのテスト」の意義を話し合う。
クラブにおける「職業奉仕」の実践について話し合う。

セッションの話題

1）　あなたはどのようなことを大切にしてお仕事をされていますか？

2）ロータリーの指導原則に含まれる（職業）倫理観と照らし合わせて、あなた自身の価値観について話し合ってみましょう。

3）ロータリーの目的の第２項で、ロータリーは職業上の高い倫理基準と高潔性を求めています。あなたは、ご自分の職業でどのようなことを大切にされていますか？

4）「四つのテスト」は、ロータリーの職業倫理についての声明です。
四つのテストはロータリーの職業奉仕をもっとも簡潔に表した言葉だと言われています。あなた自身の職業に、四つのテストをどのように反映されていますか？

5）ロータリーで言う倫理は人としての道徳的倫理と違い、「職業倫理」を指すことが多いと思います。それぞれの基本理念でその理念を表す３つのキーワードを考えてみましょう。

＊ロータリーの目的　：奉仕の理念　高潔　職業人
＊四つのテスト　　：職業倫理　職業の指導書　企業哲学
＊五大奉仕　　：職業奉仕　国際理解、親善、世界平和の推進　リーダーシップ
＊ロータリアン行動規範　：高い倫理水準　リーダーシップ　博愛

6）「資料：職業奉仕のアイディア」を参考に、あなたのクラブでできる「職業奉仕」のアイディアを自由に話し合ってみましょう。

4. 財団 I 私たちの財団

私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。

セッションの目標

ロータリー財団の基本的目標、プログラム、および資金調達について理解する
クラブにとってのロータリー財団の重要性と価値について議論する
各ロータリアンが TRF へ寄付をする必要性

RLI ではこのコースの他に別のコースでロータリー財団を議論しますが、特別なロータリー財団研修については地区にご相談することをお勧めします。

セッションの話題

1）ロータリー財団と聞いて何を連想しますか？

2）ロータリー財団について知っていることはどんなことでしょうか？

3）ロータリー財団はどのような活動をしていますか？

4）ロータリー財団のプログラムには何がありますか？

5）ロータリー財団が掲げる 7 つの重点分野は何でしょう？
（2020 年 6 月「環境の保全」supporting the environment が新しい重点分野となりました）

6）国際ロータリーとロータリー財団はどのような関係でしょうか？

5. 会員の参加を促す

私が積極的に参加することでクラブをより強くします。

セッションの目標

クラブ会員にロータリー活動への参加を促すことの価値を確認する。
会員をクラブ活動に巻き込み、ロータリークラブを強化するための戦略を議論する。
会員の参加を促すための方法を探る。

セッションの話題

1）あなたはロータリークラブのどこに魅力を感じて入会し、なお今も在籍しているのでしょうか？　あなたがロータリーを続ける理由を話し合ってみましょう。

2）あなたのクラブでは奉仕活動や親睦活動への会員の参加状況はいかがですか？
特に新会員の動向はいかがですか？

3）あなたのクラブは会員の参加を促すためにどのような工夫をしていますか？
例会の工夫は？　奉仕プロジェクトへ参加させる工夫は？
同好会などはありますか？　その他の参加を促す仕掛けや仕組みは？

4）会員の参加を促すことがなぜ重要なのでしょうか？

5）クラブ会員の満足度を高めるために何が必要だと思いますか？

6. 奉仕プロジェクトを創造する

私は、職業人のニーズを満たす世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。

セッションの目標
あなたのクラブの奉仕プロジェクトを見極め、立案し、組織し、要件を満たし、実行することを学ぶ。

奉仕プロジェクトのための事業計画を開発する

奉仕プロジェクトの成功を評価する方法を学ぶ

セッションの話題

1）あなたのクラブが行った、過去 3 年間の社会奉仕事業及び国際奉仕事業について質問します。

1-1 それは、どのような事業ですか？

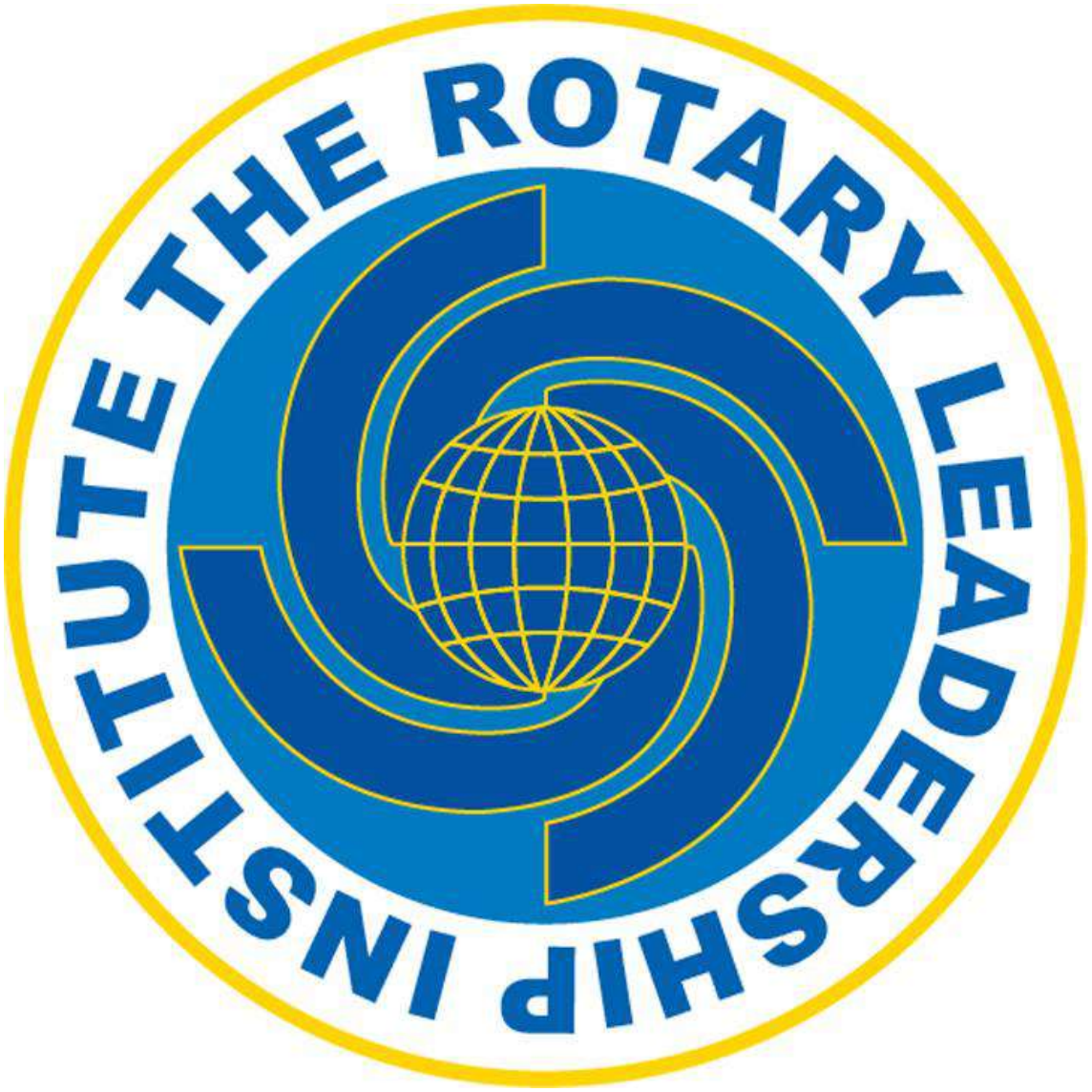
1-2 それは、どのような理由で生まれたのですか？

1-3 それらの事業により、どのような結果が得られましたか？
その奉仕プロジェクトの成果はいかがでしたか？　成功例、失敗例など

1-4 クラブの会員はどのように関わりましたか？

1-5 今までの事業と比較して何か創造的あるいは独創的な内容でしたか？

2）あなたは委員長に任命され、あなたのクラブの新しい奉仕プロジェクトに取り組むことになりました。どのようなプロジェクトに取り組みたいと思いますか？



オンライン RLI コース

世界 400 地区以上に跨る共同プロジェクト

2018－22

パートⅡ

RLI パートⅡ　ー　ロータリークラブ
目　　次

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムではありますが、正式なプログラムではありません。

私たちの使命：　ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発ログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。

コース資料

行事計画、教授陣、今後の RLI 行事、部門のリーダーシップ、歓迎の言葉がカリキュラムの補遺としてあるいはウェブサイトに掲載されています。概要やすべての参考資料はウェヴサイト rlifiles.com 上にあります。

1. ロータリーの機会（Rotary Opportunity）
ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。

2. 効果的なリーダーシップ戦略（Effective Leadership Strategies）
ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしょう。

3. 会員を勧誘する（Attracting Membership）
あなたのクラブの地域社会における特有の地位や新会員を引付ける
クラブ会員の質を再検討し、促進します。
最良のメンバーと一緒に仕事がしたい。

4. チーム作り（Team Building）とクラブコミュニケーション（Club Communication）
私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対して私たちのクラブとの協働を促進することができます。ロータリーとロータリアンの本当のパワーを活用しましょう。
クラブ内外の聴衆に対する効果的なコミュニケーションを促進します。
あなたの技能に磨きを掛けてください。

5. ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕　（Targeted Service）
ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することできます。財団のプログラムの重要な概念を理解しましょう。

6. ロータリー米山記念奨学会
日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。

1. ロータリーの機会

ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。

セッションの目標

・国際ロータリーのプログラムのあらましを提供します。
・世界ネットワーク活動グループ（ロータリー行動グループ、ロータリー親睦活動グループ）は私たちにどのようなメリットがあるでしょうか。
・国際ロータリーのプログラムや世界ネットワークグループに参加することで、あなたやあなたのクラブにはどのような変化が生まれるでしょうか。
・それらに参加することはロータリーの使命とどのように適合するのでしょうか。

セッションの話題

1）国際ロータリー（RI）にある常設のプログラムを知っていますか。

2）それぞれどのようなプログラムでしょうか。

3）現在のあなたのクラブとこれらのプログラムとの関わりを教えてください。すでにいずれかのプログラムを経験しているクラブは、そのメリットとデメリットについての感想を話してください。プログラムに未参加のクラブも参加した場合のメリットを考えてみましょう。

4）ロータリープログラムは RI がクラブと地区のために認定している組織的な活動です。これらの国際ロータリーのプログラムは、「ロータリーの使命」にどのように適合しているでしょうか？

5）世界ネットワークグループである「ロータリー親睦活動」と「ロータリー行動グループ」について考えてみましょう。

2. 効果的なリーダーシップ戦略

ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしょう。

セッションの目標

グループの中での指導力やコミュニケーション能力向上させる。

目標や提案に対する支援を勝ち取ることができる方法を確認する。

セッションの話題

1）混乱したロータリークラブについてのシナリオ。

a) このクラブの真の問題は、あるとすれば、何でしょうか？

b) その問題点をリーダーシップによってどのように解決できるでしょうか？

c) あなたなら、どんなリーダーシップ戦略を提案しますか？

2）あなたのロータリークラブにおいてプロジェクトの承認を得るための練習。
添付の効果的なリーダーシップ戦略シナリオ（資料）を参照。

a) あなたの戦略を展開してください。どこから始めますか？

b) プロジェクトにおける連携をどのように構築しますか？

c) クラブ理事会にプロジェクトの支援を得るために、一席弁じる練習をして下さい。

３）なぜ、ある人が“影響力”があり、他の人にはないのでしょうか？

a)　カリスマ性は大切ですか　――――　それはいったい何でしょうか？

b)　たとえば、“ボス”、“クラブ会長”、“ボランティア”といった“肩書き”は影響力がありますか？

４）効果的なリーダーシップ戦略　合意(コンセンサスの)形成

a)　リーダーにとってロータリーにコンセンサスは重要でしょうか？

b) コンセンサスは妥協の結果でないことを、どのように確認しますか？
あるいは、関係する全員に満足してもらうために、リーダーはどのようにすべきでしょうか。

3. 会員を勧誘する

私たちのクラブが所在する地域社会における、クラブに対する特徴的な見方を再点検していくと共に、新会員を勧誘するためにクラブ会員の質を高めていきます。

セッションの目標

理想的なロータリアンの特性とは

どうしたら、私たちのクラブがよいロータリアンを惹き付けることができるかを探る。

セッションの話題

1）ロータリアンに相応しいと思われる方は、あなたの住む地域のどこで見つけ出すことができますか？

2）あなたのクラブの構成を議論しましょう。
あなたのクラブの構成は、年齢、性別、職業分類などに従って、地元地域社会を反映していますか？あなたのクラブはどのようにして人口統計学あるいはクラブの職業分類表で欠けている職業人を勧誘することができますか？

3）あなたは今まで何名の新会員を勧誘しましたか？
その時、上手くいった方法、少し上手くいかなかったことを教えてください。

4）会員候補者にとってあなたのクラブは魅力的ですか？
あるいは誇れることはありますか？

5）あなたのクラブは将来会員となる可能性のある人を歓迎していますか？どのように歓迎していますか？

6）クラブのイメージは、新会員勧誘に大きな影響を与えますが、あなたのクラブではイメージアップにどんな努力をしていますか？

4. チーム作りとクラブコミュニケーション

私たちのクラブは、私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対する協力を推進、促進します。

セッションの目標

チームとチーム作り（チームビルディング）がロータリークラブの中でどのように利用されているのか調べてみましょう。

あなたのクラブの強みと弱みを議論しましょう。

効果的なコミュニケーションの基本的な要素について理解する。

効果的なコミュニケーションの方法をロータリーのリーダーシップに応用する。

セッションの話題

1）ロータリーに限らず、あなたが考える最高の理想的なチームとはどんなチームですか？

2）あなたのクラブの委員会編成（組織編成）で問題点や課題は何ですか？
あなたのクラブをこの組織図に当てはめてみると、どんなことが見えてきますか？

3）委員会の活性化が元気なクラブづくりに結びついてきますが、あなたが思う元気なクラブとは、どのようなクラブですか？

4）あなたのクラブにおける、効果的なコミュニケーションに対する障壁や問題は何でしょうか？　クラブ内でのコミュニケーションに問題はありますか？
それはどのような問題や障壁ですか？

a.あなたのクラブにおける、効果的なコミュニケーションの秘訣を教えて戴けますか？

b.今までに、壁に突き当たったり躓いてしまった時に、どんな対処法を取りましたか？

5）クラブ内で、良いコミュニケーションが取れるようにするためにはどのような仕組みや工夫が必要ですか？

6）クラブ外とのコミュニケーションはどんなのものがあるでしょうか？

5. ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕

ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することできます。

セッションの目標

ロータリー財団の補助金モデルを復習する。

クラブにとって~~新~~補助金モデルが重要であることを議論する。

ロータリーの『６つの重点分野』の役割について学ぶ。

『持続可能性』の重要性について理解を深める。

すべてのセッション資料は www.flifiles.com 上から利用できます。

セッションの話題

1）ロータリー財団に対する皆さんの印象をお伺いしたいと思います。あまり難しく考えないでどのようなイメージでも構いませんので率直な意見を一言でお願いします。

2）ロータリー財団は何をするところでしょうか。

a.これを端的に表しているのが標語と使命ですが、ロータリー財団が掲げている標語は何だったでしょうか。

b.ロータリー財団の使命をご一緒に確認してみましょう。

3）ロータリー財団には補助金モデルがあります。お分かりの方いらっしゃいますか？

・地区補助金

・グローバル補助金

4）最近、TRF はさらに新しい補助金として、大規模プログラム、災害補助金などが新しく新設されましたが、これらに参加しようと思いますか？

5）ここでシェアシステムについて学んでみましょう。

6）7つの重点分野がありますが、暗記して覚えるのもよいでしょうが、何のための6つの分野なのか、あるいは何のための持続可能性なのかを理解することが大切なのかもしれません。

6. 米山記念奨学事業

（米山記念奨学事業の基本と事業の意義）

セッションの目標

ロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。１９５２年にスタートし、１９６７年、現文部科学省を主務官庁とする 「財団法人ロータリー米山記念奨学会（現在は公益財団法人）」が設立されました。全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給する、世界で類を見ない日本独自の３４地区による「多地区合同活動」として、全国のロータリークラブ、地区が米山記念奨学会の活動を支えています。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。

セッションの話題

１）米山記念奨学会本部では、米山全体を呼ぶときに“記念”を必ずつけて欲しいと言っています。米山記念奨学会、米山記念奨学生。記念と付けるのは何故なのでしょうか？

２）この事業の特徴点には、次のものがあります。それぞれの内容を考えましょう。

2-1　指定校推薦制度
2-2　世話クラブ・カウンセラー制度
2-3　寄付金に応じた表彰制度
2-4　寄付額に対する税制上の優遇制度
2-5　学友会

3）この事業への寄付には、各クラブで定めた定期的な寄付（普通寄付金）と個人・法人・クラブから集められる任意的寄付（特別寄付金）があります。

3-1　それぞれの寄付額の今年度・当地区の１人あたりの目標額をご存じですか。

3-2　昨年度、あなたのクラブの普通寄付金額は年１人あたりいくらでしたか。

3-3　昨年度、あなたのクラブの特別寄付金額は年１人あたり平均いくらでしたか。

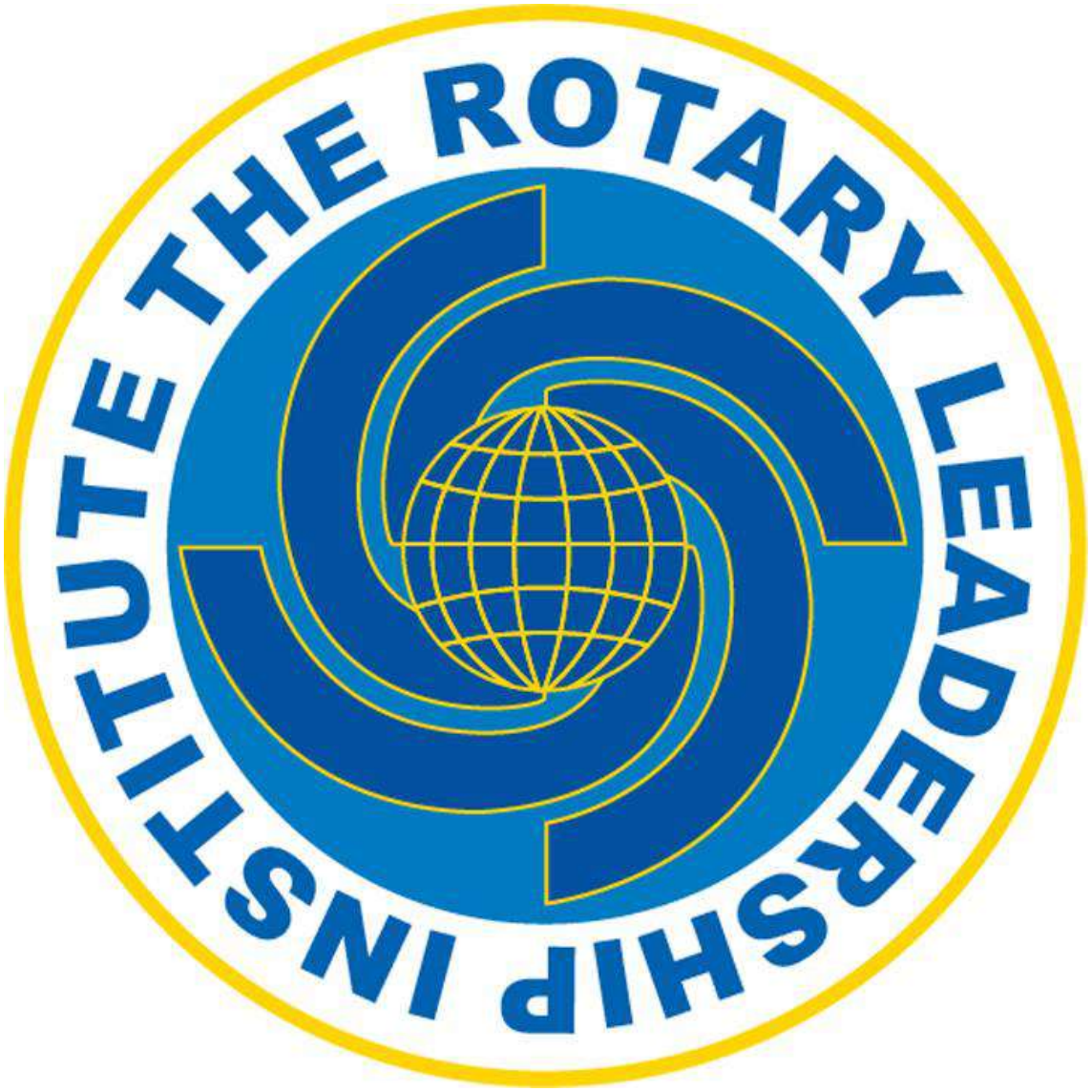
3-4　昨年度、あなたのクラブの会員のうち、特別寄付をした人は何%いましたか。

3-5　特別寄付をしなかった人に対し、寄付の重要性をどのように説明しますか。

4）現在、あなたのクラブには米山奨学生がいますか。これまでに何人の奨学生を世話した経験がありますか。世話クラブの経験がないクラブは、どのような理由からだと思いますか。

5）この事業の意義について伺います。どんな意義があるでしょうか？
留学生の出身国における意義、日本における意義、国際社会における意義はどのように違うでしょうか？あるいは同じでしょうか？では、ロータリーそしてロータリアンにとっての意義はどうでしょうか？

6）本事業は公益財団法人の許可を得て活動をしており、法的に制約されている部分もありますが、そのような制約に拘わることなく、自由な発想で本事業の未来はどうあるべきか、どうなることが望ましいか、お考えください。



オンライン RLI コース

世界 400 地区以上に跨る共同プロジェクト

2018－22

パートⅢ

RLI パートⅢ　－　私のロータリーの旅
目　　次

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムではありますが、正式なプログラムではありません。

私たちの使命：　ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発ログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。

コース資料

行事計画、教授陣、今後の RLI 行事、部門のリーダーシップ、歓迎の言葉がカリキュラムの補遺としてあるいはウェブサイトに掲載されています。概要やすべての参考資料はウェヴサイト rlifiles.com 上にあります。

1. 戦略計画とクラブの分析(Strategic Planning & Analysis)
洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。自クラブを良く見ることによって、問題の改善にどのように関わることができるでしょうか。

2. ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕(International Service)
ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和の支援を通して、世界中にコネクションを築くことができます。

3. 公共イメージと広報（Public Image & Public Relations)
ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界が受ける恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。

4. 強いクラブを創る　(Building A Strong Club)
あなたのクラブの活動に関連する職業の新しい側面（そして伝統的な側面)。

5. 規定審議会・決議審議会（The Council on Legislation& Council on Resolutions ）
3 年に一度開かれる規定審議会は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。参加者はオープンマインドで、ロータリーにとって何がベストなのかを考えることが求められています。

6. 変化をもたらす(Making A Difference)
ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

1. 戦略計画とクラブの分析

洞察に満ちたクラブの戦略計画とその分析を進めていくことで、クラブを強くすることができます。

セッションの目標

戦略計画に対する価値と立案過程を理解する

改善すべき分野を再検討する。

なぜ特別な改善がなされるかを議論する

すべてのセッション資料は www.rlifiles.com 上から利用できます。

セッションの話題

クラブ分析

1）自クラブの分析をしてみて、あなたはどう受け止めましたか？

a.点数はどのくらいでしたか？

b.何か見えてきたことはありますか？

c.自クラブの弱みと強みはどこにあると思いますか？

2）あなたのクラブには戦略計画委員会はありますか？

a.委員会の構成メンバーを教えください。

b.どのような活動をされていますか？

c.会員同士でいろいろな問題や理想像について話し合う機会はありますか？

3）国際ロータリーの戦略計画をご一緒に見てみましょう。いかがですか？　クラブの将来像にどのように活かしていけますか？

4）ロータリークラブの自己評価がなぜクラブにとって大切なのでしょうか？また、それがクラブ内のロータリアンにとって、大切な実習となるのでしょうか？

ビジョンのない行動は浪費であり、行動のないビジョンは単なる夢である。
ビジョンのある行動は世界に希望をもたらす。

1996~97 年度 RI 会長
Lui Vicente Giay
1996 年カルガリー国際大会　アドレス

2. ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕

ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和を構築することを支援することで、世界中にコネクションを築くことができます。

セッションの目標

国際奉仕の機会について学ぶ

私たちの職業上の技術を国際奉仕プロジェクトに活用する

ロータリアン行動グループが如何に私たちの活動を広げるかを学ぶ

国際奉仕に関するアイディアを探求する。

すべてのセッション資料は www.rlifiles.com 上から利用できます。

セッションの話題

1）国際奉仕とはどのようなものでしょうか？
あなたが抱くイメージをお聞かせください。

2）あなたのクラブで印象に残る国際奉仕事業は何ですか？
また、ご自身が関わった国際奉仕プロジェクトがありましたらご紹介ください。

3）国際奉仕プロジェクト実施するために、ロータリー財団の補助金を利用されましたか？
グローバル補助金についてどのようなイメージを持っていますか？
利用しにくいですか？　どうしたらもっと良くなりますか？

4）国際奉仕の機会を促進させるために、一人のロータリアンとして何ができるでしょう。
あなたの職業上のスキルを国際奉仕に役立てることが出来るでしょうか。
ご自身の職業から、どのような６つの重点分野の奉仕が出来るか考えてみましょう。

5）クラブで国際奉仕が活発に行われているクラブもあれば、ほとんどやっていないクラブもあるかと思います。今まで取り組んでいない場合、クラブ会員全員が積極的にプロジェクトに関われる下地を作る必要があり、その下地を作るにはどうしたらよいでしょうか？

6）国際奉仕の機会を促進させるために、クラブは何ができますか？
また、どのように国際奉仕の機会を探しますか？

3. 公共イメージと広報

ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界の享受する恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。

セッションの目標

ロータリーとクラブ会員や所属ロータリークラブに関する公共イメージと宣伝について議論する。
広報戦略によって、所属するクラブがどのような利益を得られるかを探求する。
自クラブが広報しようとする対象の人々を確認し、その人々に対して、どうしたら効果的に広報できるかを確認する。

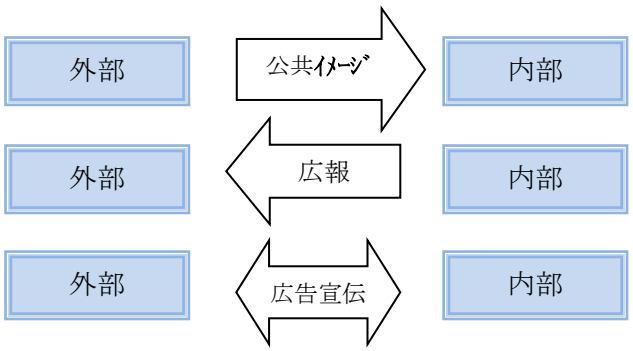
セッションの話題

1）多くの地域社会では、多くの人がロータリークラブの存在を知りません。
あなたの周りでは“ロータリー”はどのように認知されていますか？

2）あなたの身近にいる方にロータリーのお話をするとき、ロータリーについてや魅力を伝えるとしたら、どのようにお話されますか？

3）クラブまたは地区がどのように広報すれば、あなたのクラブの公共イメージは高まると思いますか？

4）広告宣伝、広報および公共イメージの違いは何でしょうか？そのうちどれが一番制御できるものでしょうか？



5）ロータリーに対する認知度の向上や、良いイメージを持ってもらうには、クラブや地区からどのような発信の仕方があると思いますか？

6）あなたがクラブの公共イメージ（広報）委員長なら、どのようなイメージアップ戦略を企画しますか？心と頭を柔らかく自由な発想でも良いのでお聞かせいただけますか？ロータリークラブが広報しようとする対象の人々は誰でしょうか？

4. 強いクラブを創る

私のロータリーの旅を進めるに従い、私はロータリーの約束を実現することに手を貸すことが出来ます。

セッションの目標：

時代によって変わるロータリーに対する期待を調査する

結果的に、期待に応えられたもの、応えられなかったものを調査する

ロータリーの約束を果たすために、どのような支援ができるかを考える

セッションの話題：

1）あなたが思う強いクラブとはどんなクラブですか？

a. 内部から見た場合はどうでしょうか。

b. 外部から見た場合はどうでしょうか。

2） クラブが存続し発展するためには、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと『不易流行』が大切になってくると思いますし、そのためには何が必要でしょうか。

3）社会に対する「ロータリーの約束」とは、何を意味するか？
ロータリーの指導原則：特に五大奉仕部門を参考に考えてみましょう。

4）あなたのクラブは、地域社会からどのような特別な期待、あるいは一般的な期待をもたれていますか？

a. 今までの色々な活動を振り返ってどんなものが考えられるでしょうか？

b. クラブ以外で連携協力が出来そうな団体はありますか？

5） あなたのクラブは、五大奉仕部門を通じてこれらの期待に対してどのように対応しますか？ これを実行するに当たりあなたの役割は何ですか？

6） この議論を踏まえて、あなたはあなたのクラブをどのようにしてより強くすることができますか？

5. 規定審議会・決議審議会

The Council on Legislation& Council on Resolutions

3 年に一度開かれる規定審議会（COL）は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。
決議審議会（COR）は毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議します。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討されます。

セッションの目標：
理事会が国際ロータリーの方針を決定する一方、規定審議会ではロータリークラブが組織の運営に関して発言する機会が与えられます。審議会には地区からの代表議員が派遣され、ここで法案の審議が行われます。全クラブと地区には審議会へ立法案を提出する権利があり、審議会の決議がロータリーの最も重要な活動に影響を与えることもあります。1989 年規定審議会の決議によってロータリーに初めて女性が入会し、1986 年審議会の決議からは「ポリオ・プラス」が誕生しました。このセクションの対象となるいくつかは哲学的あるいは、理論的な性質のもの、いろいろな解釈に基づいています。参加者はオープンマインドで、ロータリーにとって何が一番ベストなのかを考えることが求められています。

規定審議会は、ロータリー世界の各地から集まる 500 名以上の代表議員によって構成されます。投票権を有する議員には、各ロータリー地区から 1 名ずつ選出された代表議員が含まれます。投票権を有しない議員は、規定審議会の議長および副議長、RI 会長、RI 理事会のメンバーと元 RI 会長です。

<u>セッションの話題</u>

１）あなたは「規定審議会」にどんな印象をお持ちですか？

２）“規定審議会”“決議審議会”の外枠から探ってみましょう。

2-1 規定審議会とはなんでしょうか？

a. 規定審議会で改定することのできる規則が３つあります。一つずつお答えください。
b. 標準ロータリークラブ細則を変更できるのは？
c. 国際ロータリーの方針を変更できるのはどこでしょう？

2-2 決議審議会となんでしょう？

３）もしあなたが、ロータリーに関して何かを変えるとしたら、何を変えようと思いますか？
具体的に、そしてその理由

４）あなたの提案で、どのようにロータリーは変わりますか？

５）２０１９年 COL の実例について議論しましょう。
あなたはこの提案に賛成か反対か？その理由は？

６）２０２２年規定審議会にあなたが提案したい制定案はありますか？

6. 変化をもたらす

ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

セッションの目標

他の後輩ロータリアンのために、RLI 参加者として RLI の経験を改善するためにはどのようなことができますか？

RLI の議論の中から出たアイディアを、ロータリークラブ、他の市民団体、社会生活、あるいは職業において、どのように利用することができるでしょうか？

あなたの経験から RLI プログラムの強み弱みを分析し、RLI 改善のための提言をしてください。

セッションの話題

1）あなた個人として、RLIのパートⅠからパートⅢまでのどのセッションが一番心に残りましたか？また、それはなぜですか？

2）それぞれのセッションの目標に到達するには、どのような討議（グループワーク・配布資料等）が一番効果的でしたか？
それはなぜでしょうか？

3）あなたはRLIの経験から何を学びましたか？
次回に参加される人のために、RLIはどんな改善が必要だと思いますか？

4）ロータリーやあなたのクラブが直面している問題の中で、RLIで学んだ技能やテクニックを活用することで、改善されるものはありますか？

5）「私のRLI　個人別行動計画」を作成しましょう。

ご卒業おめでとうございます！

もっと学びたいですか？RLIでは卒業生のために特別な卒後コースを用意しています。ウェブサイト　www.RotaryLeadershipInstitute.org　を訪ねて戴き、最新の講義科目についての情報をご確認ください。

RLIコース

	2018～2022年 RLIカリキュラム	2018-22年 日本版 RLIカリキュラム
パートⅠ	・ロータリーにおけるﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ ・私のロータリー世界 ・倫理と職業奉仕 ・財団Ⅰ：私たちの財団 ・会員の参加を促す ・奉仕プロジェクトを創造する	・ロータリーにおけるﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ ・私のロータリー世界 ・倫理と職業奉仕 ・財団Ⅰ：私たちの財団 ・会員の参加を促す ・奉仕プロジェクトを創造する
パートⅡ	・ロータリーの機会 ・効果的なリーダーシップ戦略 ・会員を惹き付ける ・クラブコミュニケーション ・チーム作り ・財団Ⅱ：目標とする奉仕	・ロータリーの機会 ・効果的なリーダーシップ戦略 ・会員を勧誘する ・チーム作りとクラブコミュニケーション ・財団Ⅱ：目標とする奉仕 ・米山記念奨学会
パートⅢ	・戦略計画と分析 （ﾀﾞﾌﾞﾙ・ｾｯｼｮﾝ） ・財団Ⅲ：国際奉仕 ・公共イメージと広報 ・強いクラブを創る ・変化をもたらす	・戦略計画と分析 （ｼﾝｸﾞﾙ・ｾｯｼｮﾝ） ・財団Ⅲ：国際奉仕 ・公共イメージと広報 ・強いクラブを創る ・規定審議会 ・変化をもたらす

ロータリー・リーダーシップ研究会は国際ロータリーの公式研修プログラムではありません

オンライン RLI コース

資料集

目次

パートⅠ

1. ロータリーにおけるリーダーシップ(My Leadership In Rotary) 2

2. 私のロータリー世界(My Rotary World) 3

3. 倫理 ― 職業奉仕(Ethics - Vocational Service) 8

4. 財団Ⅰ ― 私たちの財団 (Our Foundation) 10

5. 会員の参加を促す(Engaging Members) 15

6. 奉仕プロジェクトを考案する(Creating Service Projects) 19

パートⅡ

1. ロータリーの機会 (Rotary Opportunity) 22

2. 効果的なリーダーシップ戦略 (Effective Leadership Strategies) 28

3. 会員を勧誘する (Attracting Membership) 30

4. チーム作り(Team Building)とクラブコミュニケーション(Club Communication) 34

5. ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕 (Targeted Service) 37

6. ロータリー米山記念奨学会 44

パートⅢ

1. 戦略計画とクラブの分析(Strategic Planning & Analysis) 55

2. ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕(International Service) 66

3. 公共イメージと広報 (Public Image & Public Relations) 68

4. 強いクラブを創る (Building A Strong Club) 71

5. 規定審議会・決議審議会 (The Council on Legislation& Council on Resolutions) 73

6. 変化をもたらす(Making A Difference) 75

ロータリー・リーダーシップ研究会は国際ロータリーの公式研修プログラムではありません

パートⅠ

1. ロータリーにおけるリーダーシップ

- 参加型：ほかの人々に参加してもらおうと努める。
- 臨機応変型：状況に応じてリーダーシップのスタイルを変える。
- 取引型：階層（ヒエラルキー）構造と賞罰制度に基づいて指導する。
- 転換型:活力と熱意を分かち合いながら、相手の心をつかみ指導する。
- サーバント型：仕えてもらうより自らが仕える。

2 私のロータリー世界

ロータリーって何だろう（1989 年）（音楽あり）MP3

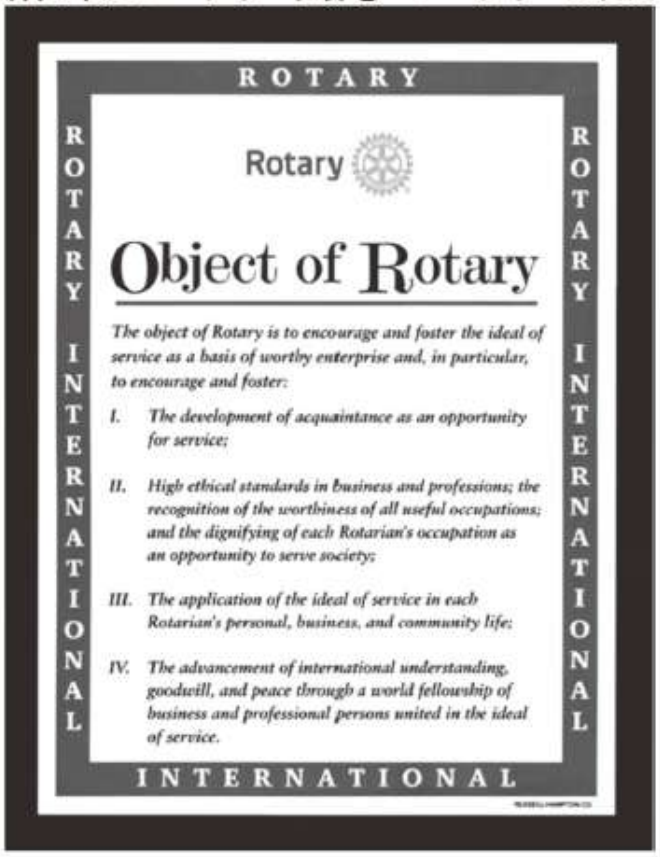
作詞：吉原大四郎（浮羽 RC）
作曲：三浦　広彦
編曲：三浦　國彦（福岡 RC）

１．ロータリーって何だろう
　　みんな知らない道だから
　　真実かどうか探してる
　　奉仕の為に集まれる
　　不思議な集いロータリー
２．ロータリーって何だろう
　　みんな知らない道だから
　　みんなの為に探してる
　　理想を求めて集まれる
　　不思議な集いロータリー

以前のロータリーの定義　――　ロータリーとは？
「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」
The ABCs of Rotary　（ロータリーのいろはより）
クリフォードＬ．ダクターマン　1992～93 年度国際ロータリー会長

最近のロータリーの定義　――　ロータリーとは？
「ロータリーは、会員同士の友愛を通じて生涯にわたる友を作り、国や文化を超えて世界の人々と国際理解を深め友情をはぐくみます。 そして、社会の倫理・道徳を高めながら、会員 一人ひとりの職業のスキルやリーダーシップを生かし、地域社会や世界の問題に積極的に取り組みます」

資料：私のロータリー世界③　ロータリーの目的



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

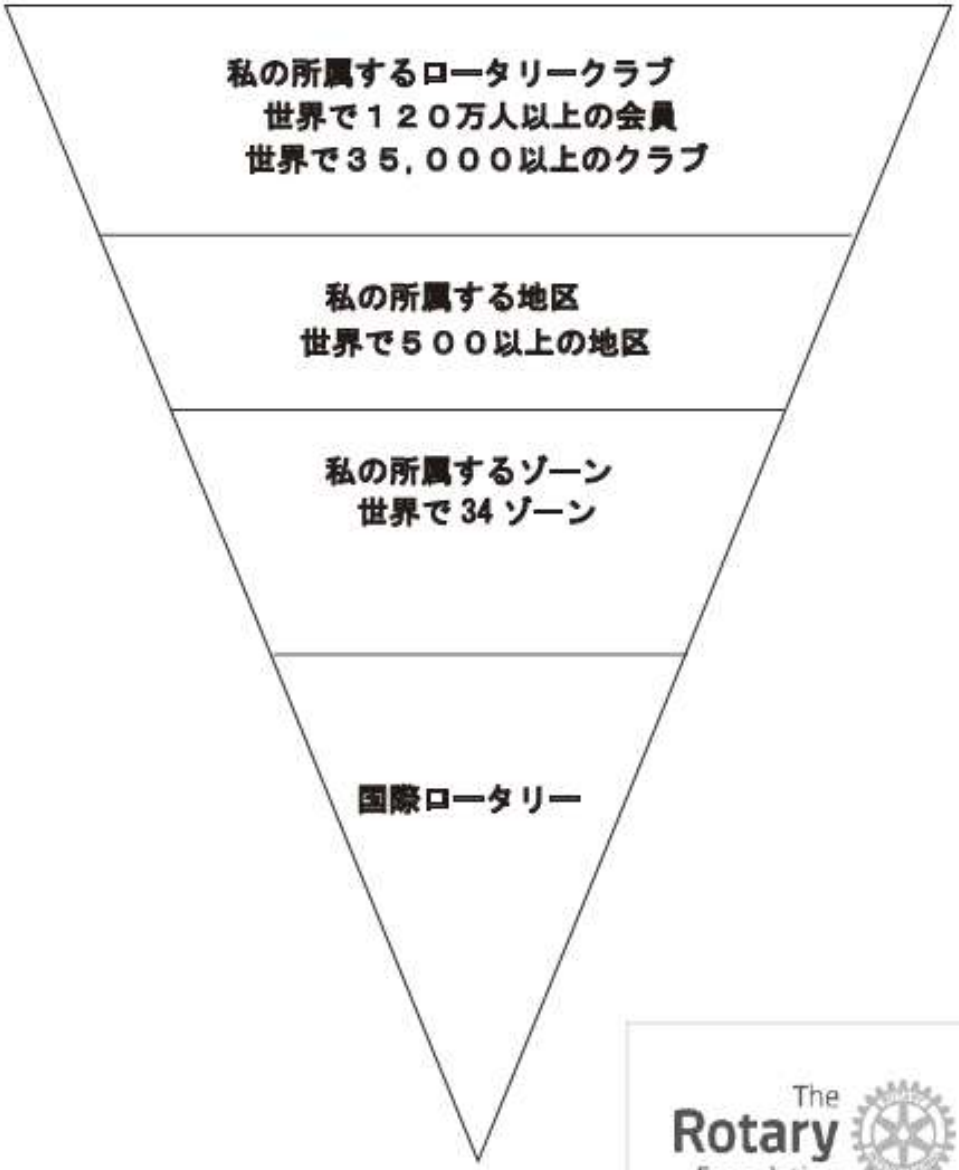
第1　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとすること；

第3　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」の 4 つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI 理事会の意見が一致した。



The Rotary Foundation

ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一歩のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後５年間の活動を方向づける４つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

より大きなインパクトをもたらす

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の基盤を広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的なかかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じでありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

Rotary

rotary.org/actionplan

4410-JA—(220)

3. 倫理と職業奉仕

ロータリーの目的
（The Object of Rotary）

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとすること；
第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」の 4 つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI 理事会の意見が一致した。

四つのテスト（The Four-Way Test）

ロータリーの初期のころから、ロータリアンは彼らが生活の糧としている職業における高い倫理的水準に引き上げることに関心を持ってきました。世界で最も広く印刷され、引用される職業倫理の声明のひとつに四つのテストがあります。
それは１９３２年にロータリアンである、Herbert J Taylor （後の RI 会長）が倒産の危機に直面していた会社を任されたときに、彼によって起草されたものです。

実業生活や専門職生活の中で雇用者が実践すべき、この２４の単語からなる四つのテストは、販売や製造、広告業においても、またその他、販売者と顧客との全ての関係において指導書となりました。そして企業の生き残りはこの簡単な哲学に帰すると言うことになりました。
四つのテストは１９４３年ロータリーによって採用され、百以上の言語に翻訳され、色々な形で出版されています。それは次のような四つ質問を尋ねています。

言行はこれに照らしてから
1）真実かどうか
2）みんなに公平か
3）好意と友情を深めるか
4）みんなのためになるかどうか

五大奉仕（The five Avenues of Service）

ロータリーの奉仕部門は全ロータリークラブの活動の指針となる。
1）奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである
2）奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる
3）奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである
4）奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである
5）奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

ロータリアンの行動規範
（Rotarian Code of Conduct）

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

職業奉仕のアイディア

１．職場における高い倫理基準を促進する
a. 雇用や研修および手順の復習において誠実、責任、公正、尊敬を議論し強調する
b. 内部のコミュニケーションにおいて、就業内外の模範的な行動を称賛し、奨励する
c. 顧客や仕入業者や仕事の協力者に対して、高い倫理基準への公約を宣言し、実証する

２．職業分類の原則
a. あなたのクラブで職業意識を推進させるために職業分類について話をする
b. 若者や従業員に商品価値のある技能を増進させるためのクラブ・プロジェクトを開始する最初の段階で、職業分類の話をする
c. 会員企業の職場訪問を計画することはそれぞれの会員の職業の価値を認識するもう一つの方法です。
d. 会員の事業所で移動例会を持つ計画を立てる
e. 若者を特別な職業奉仕の会合に招待する

３．高い倫理基準へのロータリーの公約を推進する
a. 地域社会で目立つ広告掲示板に四つのテストを掲示する
b. 四つのテストやロータリアンの職業宣言をあなたの事務所や職場に掲示し、それについて社員に話をする
c. あなたの職場や地域社会や家庭における行動が高い倫理基準への公約を実証することで、”有言実行”を実践する
d. 四つのテスト・エッセイコンテストを後援する
e. 子供たちのための共同”文字ベースの識字率プログラム”を後援する
f. 倫理について特に強調する RYLA 事業を指導する
g. 職場で高い倫理基準を維持することについて、討論や分科会を開催し、ロータリアンでない経営者たちをその会議に招待する

４．有益な職業の価値を認識し推進する
a. あなたのクラブのプログラムとして、職業分類の話や職場訪問を行う
b. あなたの職業に関連するロータリー親睦活動に参加したり、新しく組織したりする
c. ロータリアンが若者の就職を助けるキャリアデイを後援する
d. 専門技能の開発を支援する
e. 事業上の連携における指導的役割を会員が取るように奨励する
f. 小規模な起業家のためのセミナーを後援する
g. 会員が地域の専門職の人と出会い、彼らをロータリーに導く、専門職業人のための非公式なネットワーク・イベントを開催する
h. 失業あるいは、不完全雇用の成人に求人市場で競う必要のある技能持たせるための職業相談プログラムを始める

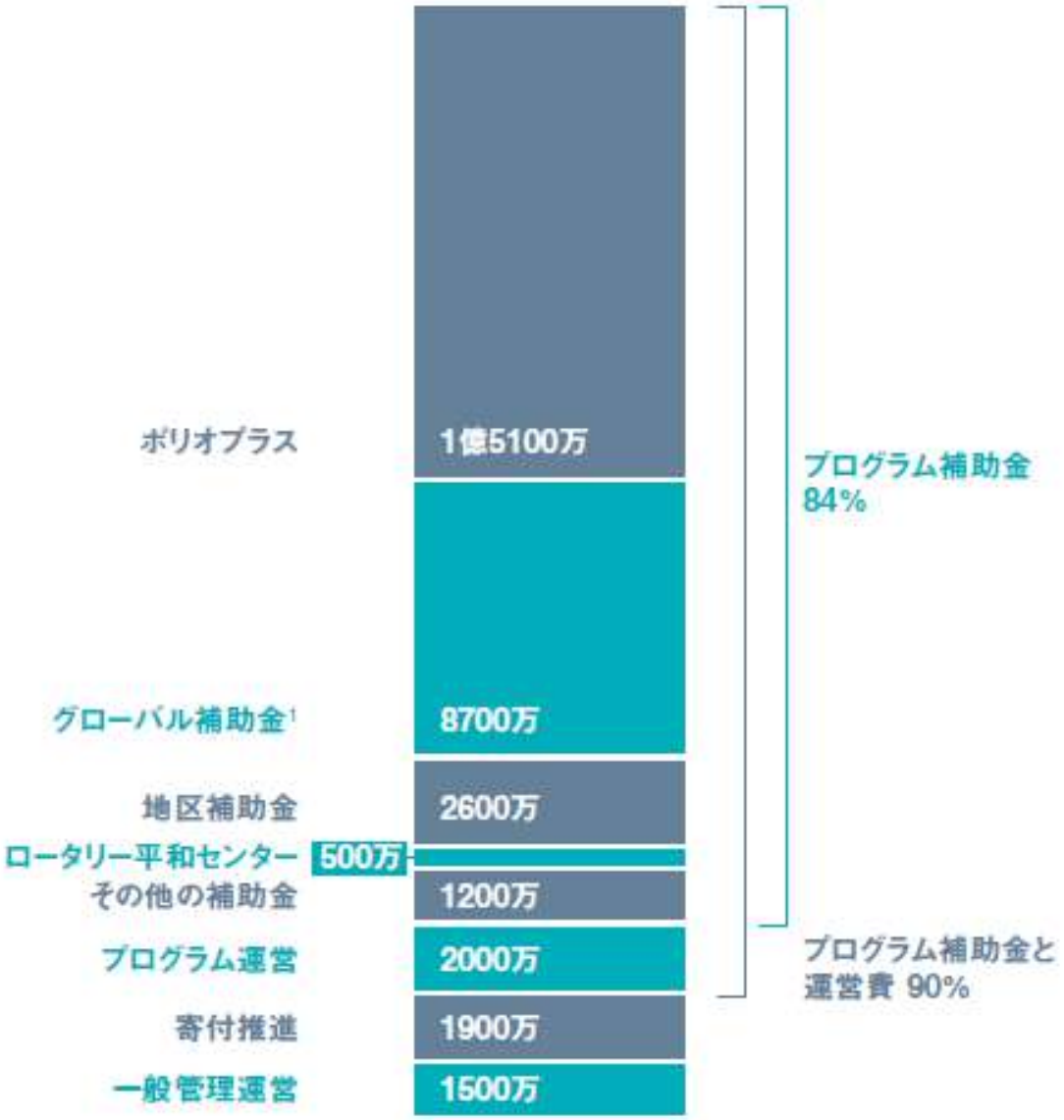
５．あなたの職業におけるボランティア活動をする
a. 若い会員を個人指導する
b. あなたの特別な職業技能を必要とするプロジェクトを探すために、ロータリープロジェクト・リンクのデータベースを利用する

4. 財団Ⅰ　私たちの財団

<table>
<tr><th>TRF 寄付と認証</th><th>年次寄付</th><th>恒久基金</th></tr>
<tr><td>Every Rotarian Every Year（EREY）
1 年度中に、年次基金へ少なくとも 25 ドルの寄付をして、一人当たりの平均寄付額が 100 ドルに達しているクラブに贈られます。</td><td>年次寄付は、資金受理後、TRF の当座預金口座で、3 年後のプログラムに使われます。</td><td>恒久基金は TRF の貯蓄預金です。恒久的な基金です。（英語の表記が、Permanent から Endowment に変更）訳者注</td></tr>
<tr><td>100%ポール・ハリス・フェロークラブ
すべての会員がポール・ハリスフェロー（PHF）になっているクラブ</td><td>「財団の友」会員は毎年、年次寄付に累計 100 ドル以上寄付する人が認証されます。</td><td>ベネファクターは恒久基金に累計 1000 ドル寄付するか、誓約した人が認証されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">100%ポール・ハリス・ソサイエティークラブ
1 年度中に会員全員が 1000 ドル以上、年次基金、ポリオプラスあるいは承認された財団の補助金に寄付したクラブに贈られます。</td><td>ポール・ハリス・フェロー（PHF）は年次寄付、ポリオプラス、あるいは承認された財団の補助金に累計 1000 ドル以上寄付した人が認証されます。</td><td>遺贈友の会は恒久基金に累計 10,000 ドル寄付するか、あるいは誓約することで認証されます。</td></tr>
<tr><td>ポール・ハリス・ソサイエティーは年次寄付、ポリオプラス、あるいは承認された財団の補助金に毎年、累計 1000 ドル以上寄付する人が認証されます。</td><td rowspan="2">ロータリー財団レガシーソサエティは、ロータリーの恒久基金に対し、合計で100万ドルの誓約を行った個人またはご夫妻が対象となります。

メジャードナーは TFR への寄付額が累計 10,000 ドルを超える時、認証されます。</td></tr>
<tr><td>あなたの支払う RI への会費は TRF に使わることはありません。すべて自由意志の寄付金で成り立っています。</td><td>ポリオプラスは、ポリオを撲滅するための世界的なキャンペーンのために TRF に寄付される資金を受けるプログラムです。</td><td>アーチ・クランフ・ソサイエティーは TRF への寄付額が累計 250,000 ドルを超える時、認証されます。</td></tr>
</table>

2018-19年度の支出総額：3億3500万ドル (単位：ドル)



2018-19年度の寄付総額：3億9520万ドル (単位：ドル)

1 返金その他調整後
2 ポリオプラスへの繰入
3 恒久基金への新規誓約の総額
4 グローバル補助金への現金拠出、使途推奨冠名指定寄付、冠名指定寄付への現金寄付を含む

統計のまとめ

寄付概要	2018-19年度	累計
年次基金	1億2610万ドル	28億ドル
恒久基金	2630万ドル	3億7450万ドル
ポリオプラス基金	1億2870万ドル	16億ドル
その他*	4080万ドル	2億3530万ドル
寄付総額	**3億2190万ドル**	**50億ドル**
恒久基金への新規誓約の総額	5840万ドル	8億2890万ドル
ポリオプラスへの繰入**	1490万ドル	–
寄付総額	**3億9520万ドル**	**–**
プログラム補助金と運営費	**3億140万ドル**	**1947年以来: 45億7000万ドル**

*「その他」にはグローバル補助金、冠名指定寄付、使途推奨冠名指定寄付が含まれる。

** ポリオプラスへの地区財団活動資金（DDF）の寄贈とそれに伴う国際財団活動資金（WF）からの上乗せ金、提携クレジットカードのロイヤリティ、ポリオプラスへの使途推奨冠名指定寄付を含む。

重点分野

グローバル補助金より資金が出されるすべてのプロジェクトや奨学金、そして職業研修チームは次の重点分野の少なくとも 1 つ以上にその目的を目指して努力しなければなりません。:

1. 平和構築と紛争予防

2. 疾病予防と治療

3. 水と衛生

4. 母子の健康

rural village in Timor-Leste where
Integrated Mission in Timor-Leste.

5. 基本的教育と識字率向上

6.地域社会の経済発展

7. 環境の保全

2020 年 6 月「環境の保全」supporting the environment が新しい重点分野になりました。

5. 会員の参加を促す

参加を促す方法：価値を伝える―ロータリアンの退会防止！

ペアーを組む

クラブのすべての職業分類を再検討し、新会員を経験のある会員とペアーを組ませるために、新会員を新会員職業分類委員会に配置します。
ペアリングはクラブ例会で発表されます。所定の例会の間、二人は一緒の席に座ります。少なくとも毎月。毎月のディスカッションの話題は例会で発表されます。たとえば、クラブの歴史、過去のクラブ・プロジェクト、職業的に共通する話題、興味あるメークアップ、新しい社会奉仕プロジェクトのアイディアなどです。

人生の一分間

新会員は一週間ごとのスケジュールが決められます。仕事あるいは関係した奉仕の経験や提供する製品などについての概要を、クラブ例会で一分間、皆の前で話をします。
話は「台本なし」であってはいけませんし、「アドリブもなし」です。新会員の職業のリンクや参照先と共に毎週のクラブプログラムやクラブのウェブサイトに要約をまとめ、知らせます。

ウェブに接続

クラブのすべてのロータリアンの名前が個人や会社の事業所の名称や会社のウェブサイトとともに、クラブのウェブサイトに掲載されるべきです。
(自主的に、そして許可を得て掲載) ロータリアンは個人や会社のウェブサイトにロータリーの HP との連携をとり、クラブウェブサイトとリンクをすべきです。

RLI 集団

新会員はクラブで会費を負担し、近くの便利で、一緒に通える RLI にグループで参加させるべきです。そのグループは例会でグループとしての報告をし、変革のための 3 つの提案やクラブの新しい奉仕活動、あるいは海外での奉仕の活動を提唱しなければなりません。RLI の HP を参照下さい。
www.rotaryleadershipinstitute.org.

パーティータイム

”会って話をする”社交的な情報交換の会合のために、月に一回、ロータリーではない場所と時間に会う組織をクラブに作る。安い費用とし、クラブはその費用を負担するか、あるいはロータリアンのその都度現金払いで賄う。
その交流は、多彩な入場券や会場、”隠れたロータリアン”、あるいは必要ならその他の戦法を使うことで促進されます。

学校支援

新会員は小学校や中学校の先生とパートナーとなり、近くの学校で、実地の低コストあるいは無料の奉仕プロジェクトを行います。最初のステップは、学校の管理者側や全職員のニーズの評価です。クラブ全員が招待されることになりますし、新会員がその先頭に立ちます。

”フラッシュモブ”プロジェクト

新会員に最大 2 時間の間、単独あるいは複数のクラブが関わり主導している実地の社会奉仕プロジェクトの委員会の任務を担当させる。
ビデオや写真で記録する。例会で結果を発表する。

職業経験の共有

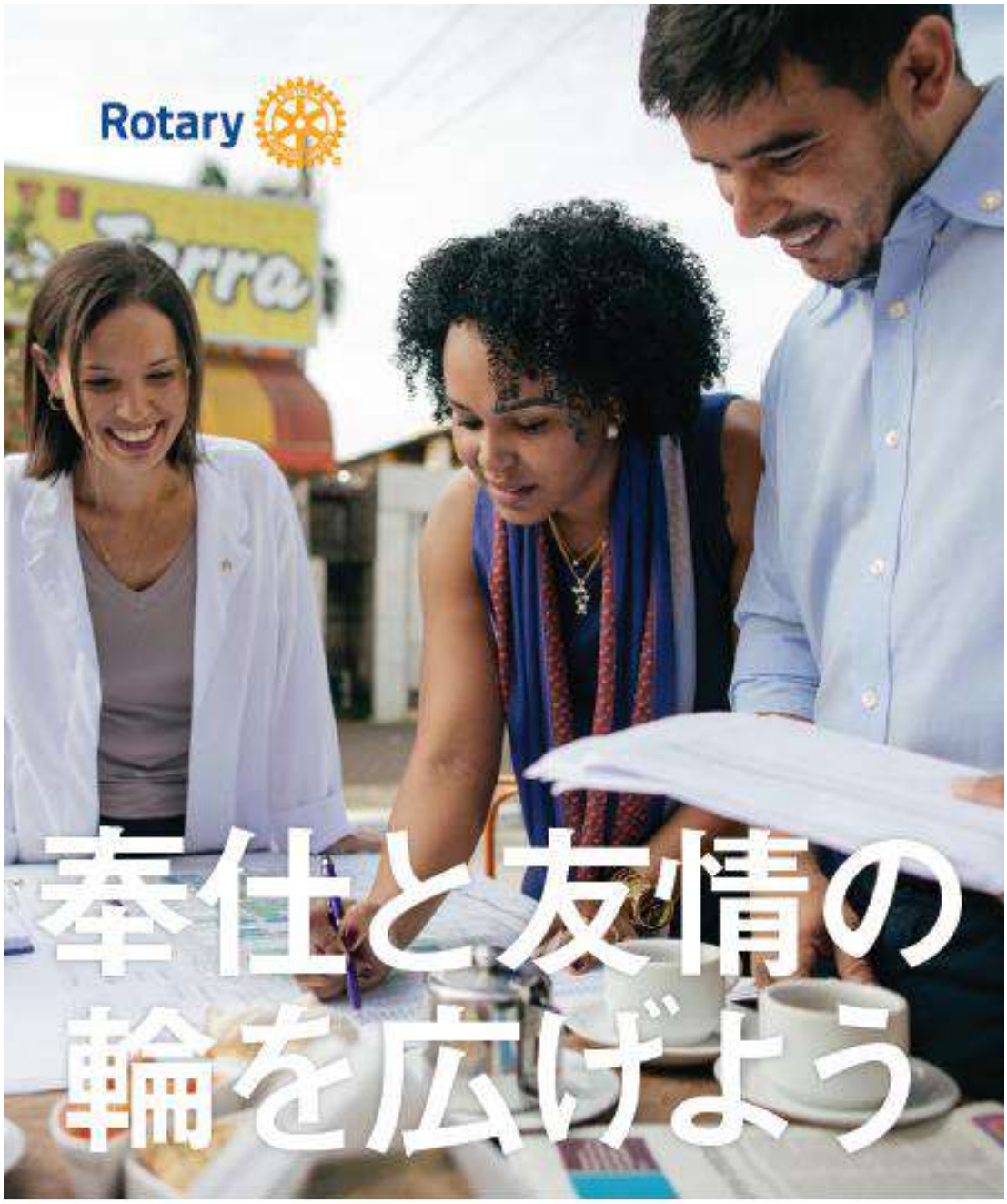
新会員を、単独あるいは複数のクラブが関わり主催する”就職フェア―”の委員会の仕事を担当させる。地元の中学校、高校、短大での”キャリアデイ”や”“ジョブシャドウイング”のイベント。

インタアクトクラブに拘わる

中学校で、現在 12 歳以上の青少年が対象となっている、学校でのインターアクト活動から始める。新会員は率先し、学校後援者と一緒に活動し、インターアクトの例会に出席し、インターアクトクラブに対するロータリアンの後援者として奉仕する。

楽しい委員会

その名の通り。大抵は新会員が配置される。



ロータリーを体験し 可能性を発見しよう

会員満足度調査

Rotary 会員満足度アンケート

クラブでの日ごろの経験に関する本アンケートへのご協力をお願いいたします。ご回答は、クラブをより良くするための参考とさせていただきます。正しい答え／間違った答えはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

1. 本クラブの会員であることにどのくらい満足していますか。

- ☐ 満足している
- ☐ ある程度満足している
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり満足していない
- ☐ 満足していない

2. 本クラブの**会員**、**例会**、**雰囲気**について、各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
例会は時間を費やす価値があると思う	☐	☐	☐	☐	☐
クラブは、新会員がすぐに打ち解けられるよう配慮している	☐	☐	☐	☐	☐
会員は互いへの思いやりをもっている	☐	☐	☐	☐	☐
クラブは、地元地域の職業／人口構成を反映している	☐	☐	☐	☐	☐

会員維持のための１０のポント

１．会員サービス委員会を設置する

２.クラブの会員維持の歴史及び会員維持率を調査測定する

３．入会前のオリエンテーションプログラムを準備

４．挨拶をするー職務を割り当てるー会員に紹介する

５．メンターを選任し、教育プログラムを開発する

６．新会員の歓迎会を行う

７．最初の一年間、新会員の活動を記録する

８．一年後、新会員の活動を評価してあげ、新会員から感想を聞く

９．新会員が活躍する機会を確保する

10．ネットワークを構築し、会員の職業上の発展の機会を提供する

11．退会の危険な兆候を注目し、的確な対策を講じる

12．革新的であれ　ー　我々がクラブ会員であり続ける理由を強調する

6. 奉仕プロジェクトを創造する

奉仕プロジェクトの代替案

奉仕プロジェクトA

ロータリアンと地域社会のリーダーは、地元地域社会に 10 代の若者のためのリクリエーション施設や活動がないことを憂慮していました。何もすることもなく、ぶらぶらする場所もなく、10 代の若者たちはショッピングモールや街の広場に集まっており、時々トラブルに巻き込まれたり、年配の人や他の 10 代の若者に嫌がらせをしていました。

ロータリアンたちは市長を訪ねましたが、市長は、10 代の若者のためにもっとレクリエーション施設や活動が必要だが、町の予算からは若者のためのセンターのための、資金を提供できないことを認めました。町には、ある目的のために寄付するか、使用することができる建設用地があると市長は述べました。また、空き家となってる 2 部屋の学校もありました。ただ、10 代の若者が使用するためには、ことによると修理が必要があるかもしれません。つまり、それはもう何年間も使われておらず、あまり良い状態ではありません。

奉仕プロジェクトB

あなたのクラブの会員は、可能性なプロジェクトについて地域の厚生福利部門の責任者と話をしました。そこで、彼女は、自分の家の前まで、５、６歩を歩けないために、家での生活を大きく制限されている高齢の夫婦のことを話しました。また、彼らは寝室まで階段を上がれず、しばしばソファーや床にまで寝てしまうこともありました。厚生福祉部門の責任者は、何とか、ロータリーにその夫婦を支援してもらえないかと尋ねました。

奉仕プロジェクトC

あなたのクラブの会員は、生徒にとっての重要な課題は何かを学ぶために、町の小学校で校長、先生、指導カウンセラーと話し合いました。残念なことに、多くの問題がありますが、教育者たちは、最も重要な問題は 3 年生のある者たちは読解力が著しく劣っており、また全く読むことができない者も何名かいることが最も大きな問題であると信じています。あなたのロータリークラブはこの学校に対して何ができるでしょうか、またすべきでしょうか？もし、行うとするなら、何をしますか？

プロジェクトの流れ（ライフサイクル）

計画・準備

プロジェクトを実施する地域の人びとも協力し、持続可能な成果をもたらすプロジェクトを計画します。ロータリークラブ・セントラルを利用して、奉仕活動の目標を設定し、目標達成に向けた進捗を記録することをお勧めします。

リソースの収集

アイデア応援サイト（ideas.rotary.org）のウェブサイトを利用して、プロジェクトに必要なボランティアやパートナー、資金や物資といったリソースを募ることができます。リソースの収集でサポートが必要な場合は、奉仕プロジェクトに関するフォーラムグループを活用するのも一案です。

プロジェクトの実施

計画とリソースの収集が完了したら、いよいよプロジェクトの実施です。実施状況や新しいニーズを知らせる際にも、奉仕プロジェクトに関するフォーラムグループの利用が便利です。

評価と広報

プロジェクトが完了したら、その成果を評価し、ロータリーショーケースで広く紹介しましょう。また、ロータリークラブ・セントラルで入力した目標に対し、その結果を入力することもお忘れなく。

奉仕プロジェクトについての質問

１．ロータリークラブは何か支援することができますか？

２．もしそうだとしたら、ロータリアンはその支援のためにどんな奉仕の実践ができるでしょうか？

３．どれくらい資金は必要でしょうか？

資金募集は？

４．プロジェクトはどのように計画されますか？

何が必要ですか？

５．プロジェクトはクラブの良い広報となりますか？

６．会員はプロジェクトに「夢中になる」事ができますか？

７．これは単年度のプロジェクトですか、あるいは継続プロジェクトですか？

８．他の地域社会のリソースが何か利用できますか？

あるいは他の組織を巻き込むべきですか？

９．プロジェクトを前進させるために必要な手順は何でしょうか？

パートⅡ

1．ロータリーの機会

国際ロータリーの使命

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである

Mission Statement（MISSION OF ROTARY INTERNATIONAL）

We provide service to others, promote integrity, and advance world understanding, goodwill, and peace through our fellowship of business, professional, and community leaders. (November 2009 Mtg., Bd. Dec. 42)

Interact
Rotary Sponsored Club

Rotaract
Rotary Club Partner

Rotary
Community Corps

Rotary Friendship Exchange

Rotary
Youth Exchange

Rotary | RYLA

Rotary
Inter-Country Committees
Comités Inter-Pays

ロータリー親睦活動一覧表

最新のロータリー親睦活動はRIウェブサイトをご参照ください。

Amateur Radio（アマチュア無線）
Antique Automobiles（アンティーク自動車）
Authors and Writers（作家と著者）
Beer　ビール
Bird Watching（バードウォッチング）
Bowling（ボーリング）
Canoeing（カヌー）
Caravanning（キャラバン式旅行）
Carnival, Parades & Festivals（ｶｰﾆﾊﾞﾙ､ﾊﾟﾚｰﾄﾞ、祭典）
Chess（チェス）
Computer Users（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ･ﾕｰｻﾞｰ）
Cooking（料理）
Convention Goers（大会参加者）
Cricket（クリケット愛好家）
Crusing(ｸﾙｰｼﾞﾝｸﾞ
Curling（カーリング）
Cycling（サイクリング）
Doctors（医師）
Doll Lovers（人形愛好家）
E-Clubs（Eクラブ）
Editors and Publishers（編集者・出版者）
Environment（環境）

Esperanto（エスペラント語）
Fishing（釣り）
Flying（飛行）
Geocaching(宝探し）
Go（囲碁）
Golf（ゴルフ）
Home Exchange（住まい交換）
Honorary Consuls（名誉領事）
Horseback Riding （乗馬）
Internet（インターネット）
Italian Culture（イタリア文化）
Jazz（ジャズ）
Latin Culture（ラテン文化）
Lawyers（弁護士）
Literacy Providers（識字向上推進者）
Magicians（手品師）
Magna Graecia（マグナグラエシア）
Marathon Running（マラソン・ランナー）
Motorcycling（バイク愛好家）
Music（音楽）
Old and Rare Books（希少古本）
Past District Governor（ﾊﾟｽﾄｶﾞﾊﾞﾅｰ）
Photographers（写真）
Police and Law Enforcement（警察関係）
Pre-Columbian Civilizations（ｺﾛﾝﾌﾞｽ到来以前の明）
Quilters and Fiber Artists（ｷﾙﾄおよび織物手芸家）
Railroads（鉄道）
Recreational Vehicles（ｷｬﾝﾋﾟﾝｸﾞ・ｶｰ）
Rotary Global History（ロータリー世界史）
Rotary Heritage and History（ロータリー歴史と伝統の会）
Rotary Means Business(ロータリーとビジネス）
Rotary on Stamps（ロータリーの切手収集）
Scouting（スカウト）
Scuba Diving（スキューバダイビング）
Singles（シングルス）
Skiing（スキー）
Social Networking（ソーシャル・ネットワーキング）
Tennis（テニス）
Total Quality Management（総合品質管理）
Travel and Hosting（旅行と歓待）
Wellness and Fitness（健康とフィットネス）
Wine（ワイン）
Yachting（ヨット）

ロータリアン行動グループ

（現在のロータリアン行動グループについては下記RIウェブサイトを参照ください）
https://www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/empower-leaders/join-rotarian-action-group

Alzheimer's/Dementia (アルツハイマー/痴呆症) http://adrag.org
Blindness Prevention (失明予防) http://www.rag4bp.org
Blood Donation (献血) http://www.ourblooddrive.org
Child Slavery (児童奴隷) http://roisight.org/cs/
Dental Volunteers (歯科ボランティア) http://www.ragdv.com
Diabetes (糖尿病) http://www.ragdiabetes.org
Disaster Assistance (災害支援) http://www.dna-rag.com
Endangered Species (絶滅危惧種) http://www.endangeredrag.org
Family Health & AIDS Prevention (家族の健康とエイズ予防) http://www.rfha.org
Food and Plant Solutions (食物栽培の手法) http://www.foodplantsolutions.podbean.com
Health Education and Wellness (衛生教育と健康) http://www.rffa.org
Hearing (聴力) http://www.ifrahl.org
Hunger and Malnutrition (飢餓・栄養失調) http://www.alleviatehunger.org
Literacy (識字) http://www.litrag.net
Malaria (マラリア) http://www.remarag.org
Microfinance and Community Development (マイクロファイナンスと地域社会の発展) http://ragm.org
Multiple Sclerosis (多発性硬化症) http://www.rotary-rfmsa.org
Peace (平和)
http://www.rotarianactiongroupforpeace.org
Polio Survivors and Associates
http://www.rotarypoliosurvivors.com
(元ポリオ患者)
Population Growth and Sustainable Development (人口増大と持続可能な開発) http:// www.rifpd.org
Preconception Care (妊娠前ケア) http://www.raghphc.org
Water and Sanitation (水と衛生) http://www.startwithwater.org

ロータリアン行動グループ

「ロータリアン行動グループ」は、特定の奉仕分野に関する専門知識と熱意を持ったロータリアンとその家族、ローターアクターによって組織されています。各グループは、ロータリークラブと地区が地域社会の発展や人道的奉仕のプロジェクトを計画し、実施する上での支援を提供しています。

ロータリアン行動グループのしくみ

- グループ独自の規定、会費、管理体制を持ち、国際ロータリーとは独立して運営されます。
- ロータリアン行動グループのメンバーとなれるのは、ロータリアンとその家族、および、国際ロータリーまたはロータリー財団のプログラムの参加者／元参加者です。
- 国際ロータリーが定めた標準細則を採択し、ロータリーの方針に従って運営されなければなりません。
- それぞれに専門の分野で、奉仕プロジェクトを行うクラブや地区に協力します。
- クラブや地区が、奉仕プロジェクトにおける資金やリソースの確保を助けることができます。

ロータリアン行動グループに参加するメリット

- グループの参加者は、クラブ、地区、国を超えて、同じ志を抱くロータリアンと協力しながら意義ある奉仕活動に参加することができます。
- ロータリークラブや地区は、行動グループとの協力を通じて、奉仕プロジェクトの計画や実施に関する専門的なサポートを得られます。

行動する: www.rotary.org/actiongroups

ロータリアン行動グループ

特定の奉仕分野に関心のある方、また専門知識をお持ちの方は、それぞれのロータリアン行動グループのウェブサイトで詳細をご覧ください。

エイズと家族の健康	www.rfha.org
アルツハイマーと認知症	http://adrag.org/
失明予防	www.rag4bp.org
献血	www.ourbloodrive.org
児童労働虐待	www.racsrag.org
歯科	www.ragdv.com
糖尿病	www.ragdiabetes.org
災害支援	www.dha-rag.com
絶滅危惧種	www.endangeredrag.org
食用植物の栽培	www.foodplantsolutions.org
保健教育と健康	www.hewrag.org
聴覚	www.ifrahl.org
飢餓と栄養失調	www.alleviatehunger.org
識字	www.litrag.org
マラリア	www.remarag.org
小口融資と地域発展	www.ragm.org
多発性硬化症	www.rotary-rfmsa.org
平和	www.rotarianactiongroupforpeace.org
ポリオ経験者	www.rotarypoliosurvivors.com
人口と開発	www.rfpd.org
妊娠前のケア	www.raghphc.org
水と衛生	www.wasrag.org

新しいグループを結成するには？

関心のある奉仕分野の行動グループが存在せず、新しいグループを結成したいとお考えの場合は、結成に関する詳しい情報をロータリー職員にお問い合わせください（Eメール actiongroups@rotary.org）。すべてのグループはRI理事会の承認を受ける必要があります。

ロータリアン行動グループの活動例

- 人口と開発に関するロータリアン行動グループは、ドイツ、オーストリア、ナイジェリアのロータリークラブと協力し、ナイジェリアの農村地域にある病院で、新生児と母親の死亡率を減らすプロジェクトを実施しました。
- エイズと家族の健康のためのロータリアン行動グループは、毎年アフリカで保健イベントを開催し、多くの住民を対象にHIV検査とカウンセリングも行っています。
- 小口融資と地域発展のためのロータリアン行動グループは、ロータリークラブや地区と、小口融資金融機関を結びつけ、貧しい人々が収入を得るための仕事や活動をできるよう支援しています。

リソース

- ロータリーの重点分野ガイド
  www.rotary.org/myrotary/ja/document/589
- ロータリアン行動グループ一覧
  www.rotary.org/myrotary/en/document/714
- ロータリアン行動グループ年次報告
  www.rotary.org/myrotary/en/document/713
- 活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための手引き
  www.rotary.org/myrotary/ja/document/577
- 地域調査の方法
  www.rotary.org/myrotary/ja/document/578

お問い合わせ

actiongroups@rotary.org

JA—(114)

2. 効果的なリーダーシップ戦略

効果的なリーダーシップ戦略シナリオ

シナリオ１

ロータリークラブの副会長 マルビン・モントローズ（Marvine Montrose）はクラブの２５名の会員に、美術工芸展を開催することを提案しています。最近の記憶では、その町にそのような展示会はありませんでした。彼は、その作品を展示して、作品を即売する目的で、その地域で手工芸をする人を招待したいと思っています。彼はまた、画家にも同じような事をする目的で、招待したいと思っています。

彼は出展者に、ディスプレー・テーブルの料金を請求しようと思えばできます。

また、お金を稼ぐために、クラブ会員がソーダ水を売ったり、プレッツェル※（※ねじ巻き形で塩味のビスケット）を販売することもできるでしょう。

展示会の場所は、町の中心地にある町営の公園を予定していました。そこは基本的に草の生えた原っぱです。すべての会員にそのイベントにお手伝いをしてもらう必要がありました。１５００名ほどの町では、クラブは今までそのような大きなイベントはしたことがありませんでした。

マルビンはクラブ委員会は「詳細」を詰めることができるだろうと言っています。

問題は何でしょうか？計画を立案し、グループでどのような結論になったかを議論します。どうしたら彼らの計画に承諾がえられるのか、そして、どうしたらそれがクラブによって実施されるかを議論します。

シナリオ２

ミルトン・クロッシング（Milton Crossing)ロータリークラブはメンバーの中に数名の活動的な会員がいます。しかし、ほとんどの会員は、無関心です。彼らは昼食を食べに来るだけで、しばしば卓話プログラムが始まる前に退席し、他に何も活動はしません。

会員数は３３名。３年前の６２名から減少しています。

２、３の活動的な会員はクラブを維持しようとしていますが、彼らもクラブ活動にもう疲れてきている。

Myron 会長は理事会のメンバーと会談し、理事会はいくつかの問題をリストアップしました。

（１） 例会でいつも一緒に座り、他の会員を無視するエリート主義者がいる。彼らと一緒に座りたいと思う人はすっかり暗然たる気持ちになってしまいます。

（２） 不活発な会員の何名かは大風呂敷であるが、何かするように頼まれると、途端に消え失せてしまいます。

（３） ある会員はもう何カ月もの間、例会に出てきません。しかし、クラブは、もし出席をうるさく催促すると、退会するのではと恐れています。

（４） ある会員は大きな声でこう発言します。:『私たちはもうこれ以上の会員は必要ない。私たちは現在、楽しい親しいグループだ。これ以上の他の会員が入会するとそれが乱されます。』

（５） 二人の会員が新しい会員をスポンサーするように頼まれた時、彼らは次のように言い返しました。:『私たちは質の良い会員のみを求めています。とても用心深くなければなりません。』

（６） 会長は、「私は委員会のメンバーを埋めることに苦労しています。というのは、ほとんどの人が仕事が忙しくて、参加できないと言うからです」と発言しました。

問題は何でしょうか？計画を立案し、グループでどのような結論になったかを議論します。どうしたら彼らの計画の承諾が得られるのか、そして、どうしたらそれがクラブによって実施されるかを議論します。

合意（コンセンサスの）形成

合意（コンセンサスの）形成

コンセンサスを形成することは、特に、違った観点を持っている人たちの間では、
全員のニーズを満足させる解決を見つけようとする行動です。: それは妥協や強制による放棄を意味するものではありません。他人を合意（コンセンサス）に導くことは、結果的に、実行可能で持続可能な決定になります。

話のポイント

・コンセンサスを定義し、あなたが他人に一緒にもたらさねばならない“時間の物語”を共有します。
・問題をより良い解決へと導くことができ、そして、すべての当事者が彼らの意見を表明することが許される、”開かれた意見の不一致”の利点を説明します。
・たとえば、全員にプロジェクトの所有者意識を感じてもらうような、そして新しい解決策を発見するような、合意形成の利点を議論します。
・合意形成のプロセスの概要：
　１．それぞれの当事者が自分の立場から、望むことをリストアップする。
　２．それぞれの人にとって何が重大な事か、重大な事でないかをもう一度よく吟味する。
　３．新しい解決策をブレインストーミングする。
　４．これらの解決策の成果を議論する。
　５．重大なニーズを満たすように解決策や他の決定について手直しをする。

議論のための質問

あなたの職業でコンセンサスはなぜ必要なのですか？ロータリークラブではどうでしょうか？
コンセンサスは妥協の結果ではないことを、どのようにして確認しますか？
関係する全員に、どのようにして満足させますか？

提案された行動

グループ討議：参加者を小さなグループに分けて、ケーススタディーを勉強します。
違った観点のグループ会員を割り当てて、一人の参加者がモデレーターとなり、必ず合意を形成するようにします。
個々の作業：参加者に合意形成に参加しなければならない時間を考慮するように依頼します。彼らが参加したそのプロセスをどのように考えるのか、また、その結果にどのように満足したでしょうか。

3. 会員を勧誘する

実践
リーダーシップ

時代が変化するにつれ、職場やボランティア活動で必要とされるスキルも変わっていくものです。そんなスキルをクラブで学べる機会があったらうれしいと思いませんか？

ロータリーの「**実践リーダーシップ**」は、クラブや仕事で役立つリーダーシップスキルをさまざまな角度から取り上げた研修用ガイドです。クラブでの研修やワークショップにお役立てください。

会員の参加を促す

研修を企画・運営したり、司会や講師役を務めたり、受講者として参加するなど、会員主体の研修を実施することで、会員のスキルが磨かれます。

身につけたスキルや知識を地域社会で実践すれば、会員が地元で活躍できる場がもっと広がるでしょう。

推進用リソース

カスタマイズ可能な推進用チラシをブランドリソースセンターからダウンロードできます。クラブでのリーダーシップ研修の機会を地元の人びとに紹介する際にご利用ください。

クラブのパンフレットを推進用チラシと一緒に使うと効果的です。

地元の社会人も参加できる

このような研修は、地元の人びとにロータリーを直に体験してもらうチャンスとなります。以下のような人にも参加してもらうとよいでしょう。

- 若い職業人
- ローターアクター
- ロータリー学友
- 同僚
- 会員の家族や友人

クラブの研修会を立ち上げる

「**実践リーダーシップ**」のガイドをMy ROTARYからダウンロードして利用すれば、クラブでも簡単にリーダーシップ研修ができます。

ガイドには、カスタマイズ可能な以下のカリキュラムが含まれています：

- コミュニケーション
- リーダーシップのスタイル
- メンタリング（個人指導）
- 時間の管理
- 目標の設定
- ロータリーの価値観の実践
- コンセンサスの構築
- チームワーク
- プロフェッショナルなイメージ
- 革新性（イノベーション）

会員のスキル向上、ロータリーの推進、クラブの強化のために、「実践リーダーシップ」をぜひご活用ください。

Rotary

www.rotary.org/myrotary/ja

250A-JA—(1216)

会員を惹き付けるための必要知識

- 『会員を勧誘する』ためには、ロータリークラブは元気があり、地域社会でよく認知されていること、つまり将来会員となる可能性の人にとって魅力的であることが必要です。
- ロータリークラブの会員になるためには、会員の推薦とクラブの承認が必要です。

- ロータリークラブは国際ロータリーと呼ばれる組織の会員であり、会員資格に関して、RI の認証条件や RI 細則などに従わなければならない。（変更がなければ）

- ロータリークラブは自らの会員を自由に選ぶことが出来ます。しかし、会員資格に関する規定やロータリーの方針に従わなければなりません。

- ２０１６年の規定審議会で、『ロータリーの審議会』は会員を増強するために最も効果が出る方法をクラブが自由に決定できるようになる変化を承認しました。それらの変化は次のような点です：

- クラブは例会開催日時を自由に変更できる。

- クラブは実際に顔を合わせる例会でも、オンラインの例会でも選択することが出来る。

- １ヶ月に最低二回以上の例会を開催すれば、クラブはいつでも例会をとりやめることができる。
- クラブは奉仕活動やその他のクラブの催しを例会と見なすことができる。

- クラブは会員資格に柔軟性を選択できる。

- かつて RI 定款に規定された会員資格の６つの基準が廃止され、簡潔な要件となった。つまり、職業上や地域社会でよい評判を受けており、地域社会において奉仕する意欲のある成人となった。

- ロータリーは、ロータリー会員をより身近で、手が届くような存在にすることも含めて、若い人をロータリーに導くことを目標に定めた『新世代』の方針を継続している。

- １９８９年以来、女性がロータリーに入会することが認められています。２０１９年現在、女性会員の割合は世界のロータリアンの２３%未満です。

クラブ会員増強委員会

会員増強委員長の仕事

会員増強委員長の役割は、新会員の勧誘と既存会員の維持のための行動計画を立て、実行することです。「クラブを成功に導くリーダーシップ:会員増強委員会編」には会員増強委員会と委員長の仕事が詳しく説明されています。

責務	
すべての委員会に共通	会員増強委員会
地区研修・協議会に出席する。	新会員勧誘の方法を会員に紹介し、会員維持策を実践する。
会長エレクトと協力して委員の人選と研修を行う。	会員の職業分類を調べる。
必要に応じて小委員会を設ける(例:入会見込者、会員の積極的参加、新会員オリエンテーション、メンタリングなど)。	現在の例会、プロジェクト、その他の活動を見直し、新会員にとって魅力的なクラブであるかどうかを評価する。
定期的に委員会会合を開き、活動を計画する。	会員の満足度を高めるための行動計画を立てる。
クラブ目標を支える委員会目標を立て、目標に向けた委員会の活動状況を随時確認する。	会員増強と会員維持の成果を調べる。
委員会予算を管理する。	必要に応じて、地区内で新クラブのスポンサー(親クラブ)となる。
クラブのほかの委員会と協力する。複数クラブでの合同活動において地区委員会と協力する。	
委員会の活動状況について、会長、理事会、クラブ全体に報告する。	
そのほかにクラブが委員会に割り当てている役割を担う。	

新会員を推薦しよう

新会員は、クラブに新しい考え方やアイデアをもたらし、ネットワークを広げ、クラブに活気を与えてくれる存在です。どこの地域社会にも優れた会員候補者が必ずいるはず。肝心なのは、そのような人たちを探し出すことです。会員候補者にロータリーを紹介するために、以下のヒントを参考にしてください。

自分にとっての ロータリーの良さを伝える

- ロータリーの会員だからこそ味わえる経験
  - 同じ関心をもつ仲間と交流できる
  - ボランティア活動を通じて地域に貢献できる
  - 海外の会員と親交を深められる
- 職業人としての学びと成長の機会
  - ビジネス仲間と知り合い、職業人のネットワークを広げる
  - 職業のスキルと知識を磨く
- ソーシャルメディアでロータリーの活動の動画や写真を共有し、ネットワークを拡大
- ロータリーの襟ピンを身につけて会話のきっかけに

クラブやロータリーの 情報を共有する

- ロータリーへの関心を示した人にはクラブのウェブサイトやRotary.orgを紹介
- クラブの最近の活動やイベントを紹介するクラブのパンフレット
- 例会または会員候補者を対象とした説明会をクラブで開催
- 友人、家族、同僚も一緒にクラブの奉仕活動やイベントに参加

入会への関心を示した人には、会員に期待されること（会費など）を事前に説明しましょう

新会員を推薦する

入会候補者が見つかったら、クラブが定めている新会員推薦の手続きに沿って推薦しましょう

ウェブサイトで

新会員推薦の手続きについては「手続要覧」をご参照ください

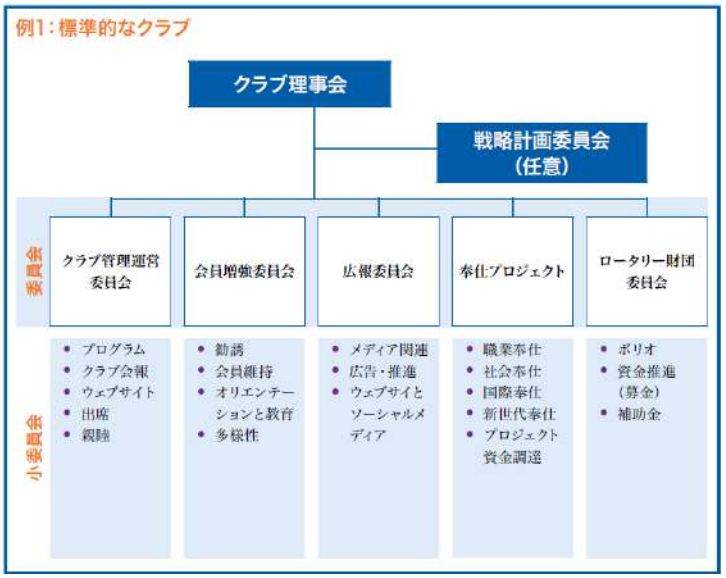
クラブのパンフレット作成には、ロータリーのブランドリソースセンターにあるテンプレートをご利用ください

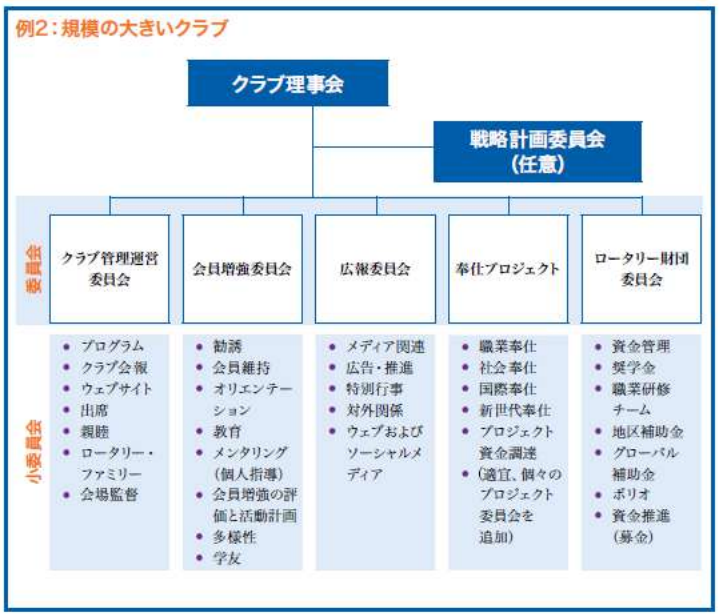
新会員を迎え入れるための資料やツールはwww.rotary.org/ja/membershipをご覧ください

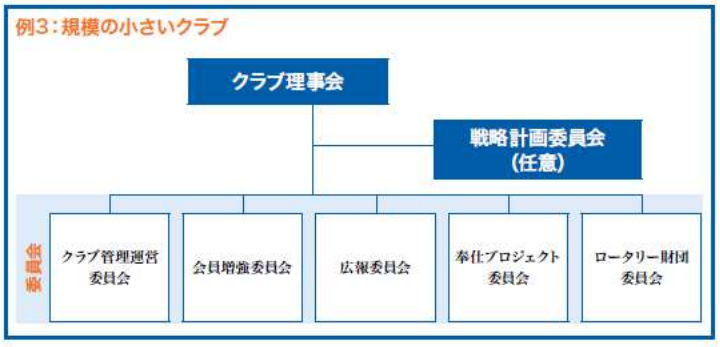
4. チーム作りとクラブコミュニケーション

クラブ委員会構成例

5 つの委員会が推奨されており、各クラブは、独自の関心や活動に応じて、ほかの委員会や小委員会を追加、あるいは削除することができます。適切な小委員会を判断する上でアドバイスや情報が必要な場合は、ガバナー補佐またはガバナーに相談してください。







元気なクラブづくりのために

「元気」の秘訣をご紹介します

ビデオ会議

仕事や私用で出張中、子育て・介護中の会員が、自宅や出張先からインターネットを利用して、例会、理事会、協議会にビデオ参加できるようにしています。これによって、出席率が上がるだけでなく、マイクを通じて意見発言もできるため、参加への積極性が向上しました。おかげで、会員一人ひとりがクラブ運営に携わっているという意識が高まっています。

ビデオ会議の導入は、会員の退会防止に加え、多忙な入会希望者にとって例会参加の選択肢が広がるので、会員増強の有効な手段ともなっています。今後はパソコンに不慣れな会員もビデオ会議に参加できるようにするためのオリエンテーションを行うなど、積極的な利用を勧め、参加率をさらに上げていきます。

柔軟なクラブ運営

事務局をおかないことで、会員が事務的業務をすることによってロータリーの知識を深めたり、事務所や事務局員にかかる経費の大幅な削減につなげています。

例会では食事をとらない形式を用いているため、例会後に有志による親睦食事会がよく企画開催され、異文化交流の雰囲気を味わうことができます。

独自の活動で公共イメージアップ

クラブの特色を生かした奉仕活動は、口コミだけでなく、地元紙・メディアにも取り上げられ、公共イメージ向上につながっています。現在、国連ユニタールとの活動に参加しており、今年度(2017-18年度) 初めてグローバル補助金を活用して、米国のクラブと一緒に広島の原爆を生き延びた被爆樹木を世界に植樹するプロジェクトを実施しています。

会員ネットワークの活用

ロータリーファミリーや友人の紹介が多いのもこのクラブの特色です。会員の家族、友人、大学の後輩などを奉仕活動に誘って、ロータリーの活動理念をともに学び、体験し、それが入会につながっています。日本にいるとなかなか体験できない活動を、ロータリーを通じて体験でき、世界中に仲間ができることを大いに謳歌できます。会員出身国の学友会活動の活性化も、奉仕活動の一環として取り組んでいます。

学友が多いクラブの強みは、会員が入会前からロータリーの活動に参加した経験をもっていることです。特に米山奨学生は、「米山学友」としての誇りを胸に、民間大使として日本と母国との懸け橋として、さまざまな分野で活躍しています。このような会員の個性こそがクラブの財産だと強く思います。

リーダーシップの育成

米山学友が日本社会で道を拓き、幹部職として活躍できるような人材として育つことができるよう、RYLAプログラムなどをヒントにした企画にも取り組んでいます。会員には独立して起業した人も多く、海外のビジネス事情について情報交換をするなど、職業奉仕にも役立っています。

元気なクラブとなるためのステップ

あなたのクラブでは、会員が積極的に参加し、実りあるプロジェクトを実施し、新しいアイデアを試していますか？楽しく、活気に満ちていますか？

以下のアイデアを参考にして、会員の積極性と地域の人びとの関心を引き出し、入会を促すためのプランを立てましょう。

クラブの3～5年後の姿を思い描く

- 年に1度、クラブのビジョンについて話し合う。クラブの健康チェックを使ってクラブの強みと改善点を探る。
- 戦略計画立案ガイドを使って長期目標を立てる。

年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する

- クラブが得意とする活動や分野を見つけ、その長所をさらに伸ばす。
- 月1回、目標に向けた進捗状況を各委員会に伝える。

会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会とする

- クラブの良い点、改善点を探るために会員満足度調査を実施する。調査の結果を基に、今後の実行項目を決める。
- 従来型例会、オンライン例会、奉仕プロジェクト、親睦の集まりなど、さまざまな例会形式を取り入れる。

クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る

- 例会、クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアで情報を共有する。
- 定期的に会員の声を聞く機会を設ける。
- ブランドリソースセンターから入手できるテンプレートを活用し、クラブのパンフレットと会報をつくる。

後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る

- 継続性を図るため、次年度以降のリーダーも任命する。各委員会には現委員長のほか、次期委員長と元委員長も含める。
- 次期役員のために「OJT（オンザジョブトレーニング）」を行う。各役員の責務内容を文書にまとめる。

クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する

- 会員とともにクラブ細則を毎年見直す。
- 推奨ロータリークラブ細則のテンプレートに手を加え、クラブの新しい手続きや運営方法が反映されるようにする。

会員同士の交流を深める

- 「新会員オリエンテーション：ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために」を参考にする。
- 毎回の例会で違う会員と同席するようにする。

会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする

- 会員の関心を調べるアンケートを実施し、その結果を基にプロジェクトや活動を計画したり、会員が満足できる例会を企画する。
- 新会員の関心を調べ、各自に合った役割をクラブで担当してもらうことで、入会後早い時期から新会員の参加を促す。

ロータリーのリーダーとなる人材を育てる

- クラブの研修リーダーまたは研修委員会を任命し、研修プランの立案と実施を担当してもらう。
- 「実践リーダーシップ」の研修を実施し、会員のリーダーシップスキルを磨く。

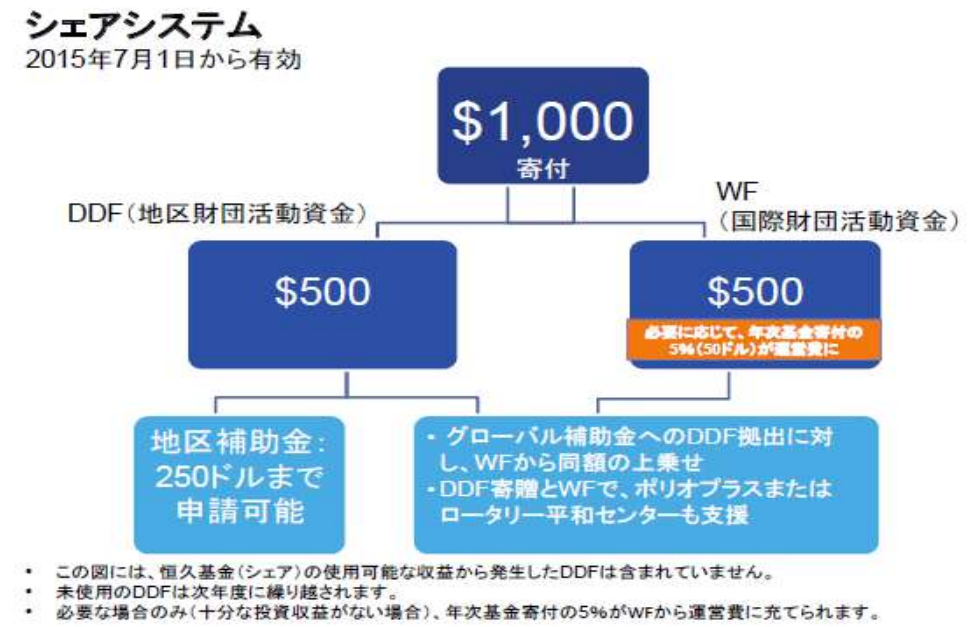
クラブ運営に必要な委員会を設置する

- 小規模クラブ：委員会の活動を統合する方法を検討する。
- 大規模クラブ：全会員が参加できるよう、追加の委員会を設ける。

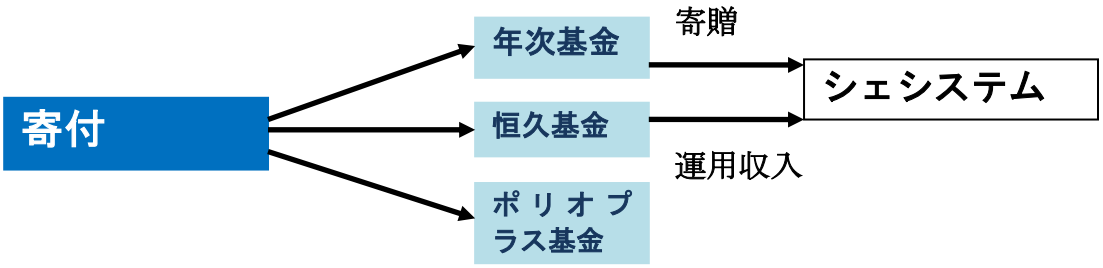
245JPN-JA—(917)

5. ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕

財団補助金	
地区補助金	**グローバル補助金**
あなたの地域や海外の地域において小規模で短期的な活動をするための資金。 各地区はこの補助金を利用して行う活動を選ぶことができます。	六つの重点分野における持続可能且つ測定可能な、大規模で国際的な活動を支援します。 （補助金を必要とする）地域のニーズに応える、国際的なパートナーシップからの補助金。
調査や検証のための旅行や災害復興支援を含む人道的プロジェクト； すなわち、任意の研究範囲あるいは研究期間の奨学金、職業研修チームや研究グループ交換。	ホストとスポンサーの2ヶ国のクラブが必要です。 奨学金、人道的プロジェクト及び職業研修チーム。



基金寄付



詳細：シェアシステムはどのように機能しているでしょうか。年次基金は 3 年間投資されます。この 3 年間に資金は地区の資金と国際的な資金に 50 対 50 に分けられます。この基金の地区の部分は、『地区財団活動資金』(DDF)と呼ばれます。地区補助金を通じて、地区はクラブと地区のプロジェクトのために、その DDF の５０％までを使うことができます。残りの DDF は、グローバル補助金やポリオプラス、ロータリー平和センター、あるいは、他地区への寄付として使われます。

もし、DDF が支給された年度に使われなければ、地区の残高に累積され、その後は、グローバル補助金にしか利用できません。国際財団活動資金寄付は、グローバル補助金とのマッチングに使われます。そして、以前はパッケージグラントの資金供給のためにも使われました。＊

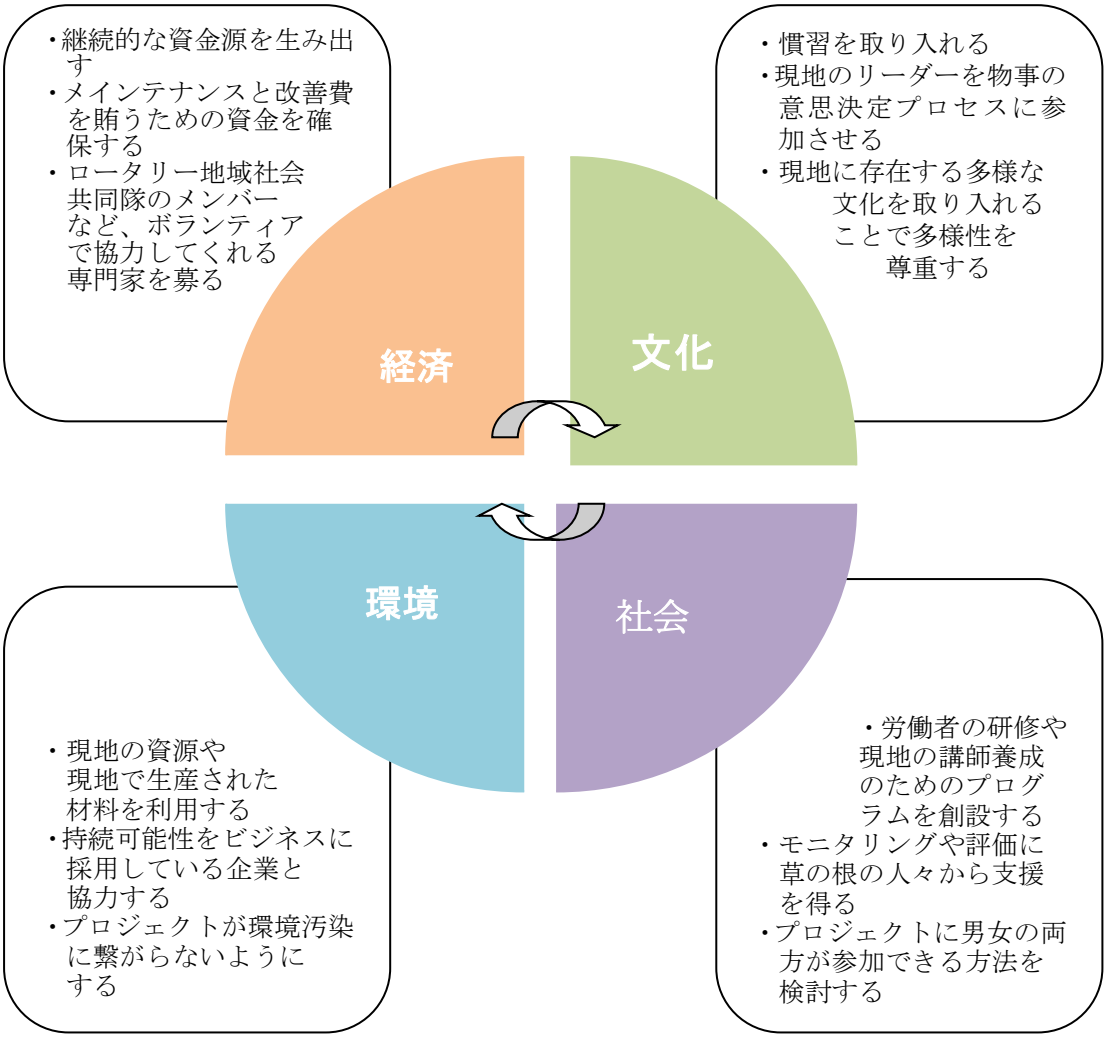
国際財団活動基金は DDF とは 1 対 1 でマッチングされ、現金とは 0.5：1 となります。地区補助金は、どのような額でもかまいませんが、グローバル補助金は 3 万ドル以上でなければなりません。2015 年 7 月 1 日からは資金モデルに数々の変更が生じますが、これらの変更は DDF には

影響を及ぼしません。これらの変更の下では、財団運営費や運営準備金のために、国際財団活動資金（WF）は、年次寄付の５％、グローバル補助金への資金給付のための現金拠出の５％、そして一定企業からの寄付の１０％が削減されます。ただし、余剰が出る場合は、その余剰金は、毎年、恒久基金（WF)へ回されます。

重点分野：基本的教育と識字率向上　　9 月
重点分野：地域社会の経済発展　　10 月
重点分野：疾病予防と治療月間　　12 月
重点分野：平和構築と紛争予防月間　　2 月
重点分野：水と衛生月間　　3 月
重点分野：母子の健康月間　　4 月
重点分野：環境の保全　　（2020 年 6 月理事会決定）

持続可能性とは何か？

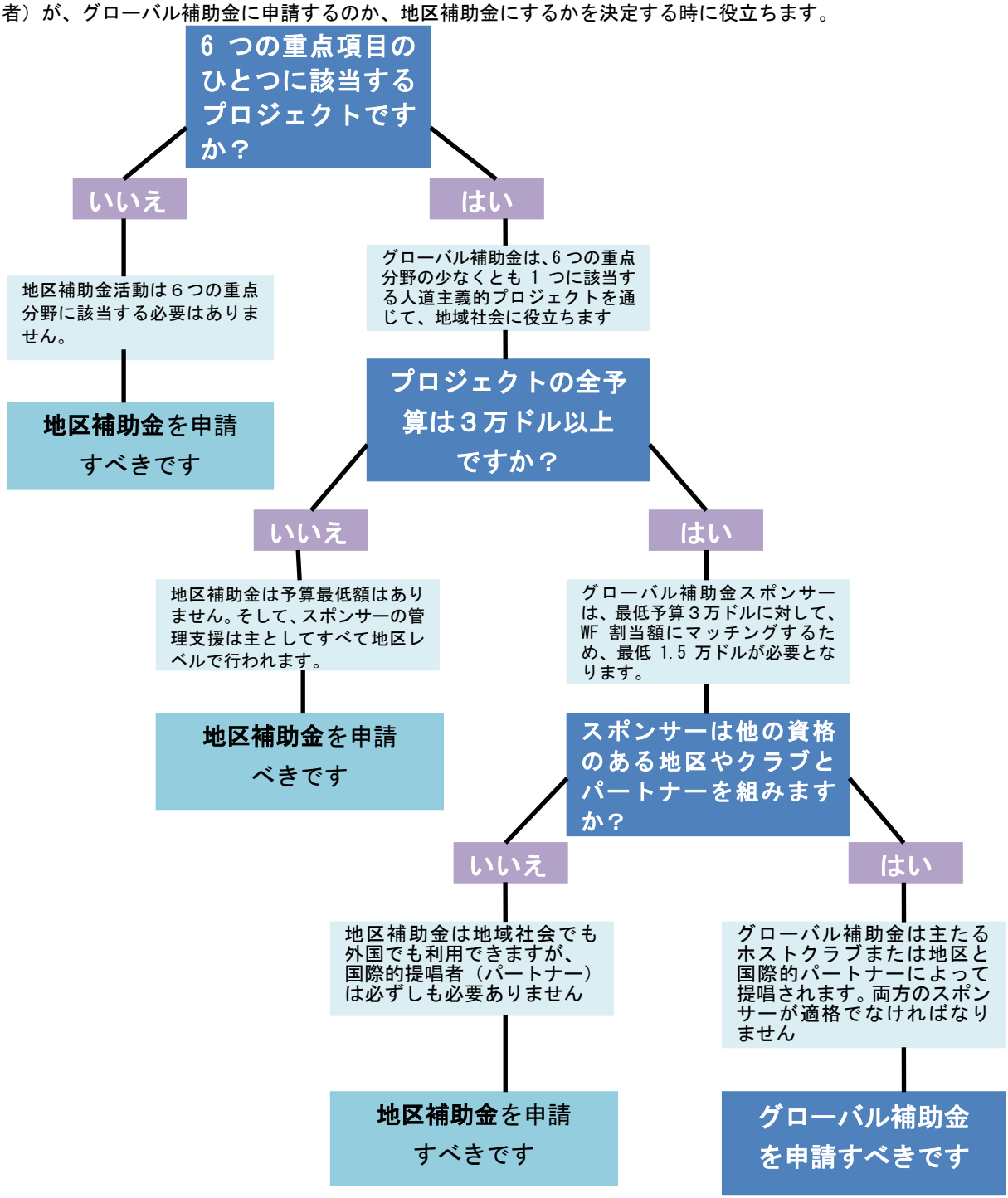
持続可能性という言葉はしばしば、**『環境にやさしい』**という意味で用いられます。しかし、環境問題は持続可能性の単なる一面に過ぎません。経済、文化、そして社会的要因も同様に重要です。これらの 4 つの分野すべてにおいて持続可能性に取り組めば、人道的プロジェクトを実施した地域社会の利益を長期的なものにする良い機会となります。各分野で持続可能性をプロジェクトに採用する方法を、以下にいくつかご紹介します。
（The Rotarian　2012 年 2 月）



補助金モデルフローチャート

人道的プロジェクトの補助金のタイプを決定する

地区/クラブは**人道的プロジェクト**に関心があります。次の質問は、ロータリアンのスポンサー（援助提供者）が、グローバル補助金に申請するのか、地区補助金にするかを決定する時に役立ちます。



参考：TRF 研修ワークブック　2013 年 1 月 17－19　サンディエゴ CA　USA

挿入資料 TS-5：目標とする奉仕事例研究

事例研究 A

ジョンとメリーは言葉の通じない新しい国に住むことになりました。彼らは地域社会に溶け込むことは難しいと感じています。彼らは地元の学校に通いますが、個人的な語学研修のための材料（リソース）は限られています。彼らの両親は母国語しか話せないことが、家族全体の孤立感を増しています。

これはひとつの家族の例ですが、地域社会においては同じような問題を持つ家族が多くあります。ロータリークラブは地元のすべての学校で必要としている二国語辞書を提供することを決定いたしました。5 学年の学校で 300 名の生徒がいることが分かりました。辞書は 1 冊 5 ドルです。

次の問題について小グループで議論を行います。:

- どのタイプのロータリー財団補助金が使用されるでしょうか？その理由は？
- その補助金は持続可能ですか？　その理由は？
- 重点目標に該当したプロジェクトですか？　どの重点目標に該当していますか？

それぞれのグループは、これらの質問について自分たちの考えた答えやその理由を説明し、グループ全体への報告とします。

事例研究 B

フッ素症の影響に苦しんでいるインドの 2500 万人の中で、ウッタル・プラデーシュ州のパタリ村に住む住人は、飲料水中の高レベルフッ素が原因で、回復不能の状況にあります。
痛みを伴うフッ素中毒症の結果は、奇形、靭帯や腱の石灰化、骨硬化症（異常な骨密度）が引き起こされます。歯への影響は、斑紋とエナメル質の侵食です。フッ素は歯を腐らせ、骨を破壊する力があります。あなたの地区はインドの地区と協力して、ロータリー財団の補助金プロジェクトを利用して、パラリ村の 60 家族に対して濾過器を提供したいと考えています。
また、この 40,000 ドルのプロジェクトは、ウッタル・プラデーシュ州の 8 つの学校の約 2,300 名の生徒たちに、トイレ、安全な飲み水、そして衛生研修も提供します。
世界保健機構は、世界の疾病のうち約 10 分の 1 は水の供給、衛生設備、保健衛生、水資源の管理を改善することで防ぐことができると推定しています。インドの村が示すように、問題解決には、それぞれの地域社会のニーズを評価することを含む、目標と絞った取り組みが必要となります。

次の問題を小さなグループで議論します。:

- どのタイプのロータリー財団補助金が使用されるでしょうか？その理由は？
- その補助金は持続可能ですか？　その理由は？
- 重点目標に該当したプロジェクトですか？　どの重点目標に該当していますか？

それぞれのグループは、これらの質問について自分たちの考えた答えやその理由を説明し、グループ全体への報告とします。

ロータリー財団７つの重点分野

私たちは地域社会や世界で最も大きな影響を与えるために目標となる特別な根拠を確認しました。同時に、私たちは、それぞれの地域社会が独自のニーズや懸案事項を持っていることも理解しました。グローバル補助金や他のリソースを通じて、私たちは各クラブが下記の分野における奉仕活動に焦点を当てる事を支援します。

平和の促進
今日、６５００万人の人々が、武力紛争または迫害によって現在故郷を追われています。いくつかの優れた大学との連係により、ロータリー平和フェローは技能を磨き、平和への努力を強化し、紛争を予防し仲裁するために地域のリーダーを研修し、紛争によって影響を受けた地域での長期間の平和構築を支援します。私たちはロータリー平和センターに毎年、最高１００人までの平和フェローシップ（奨学金）を授与しています。

疾病との戦い
毎年１億人以上人々は、医療費のために貧困に追いやられています。私たちは、開発途上国における低コストで無料の医療に向けて改善、拡充することを志しています。私たちの会員はポリオ、エイズ、マラリアなどの主要疾患の拡大を防止するために、地元社会の人々を教育し、動員しています。私たちの多くのプロジェクトは、医療研修整備を、労働者が生活している場所に必ず設置するようにしています。

きれいな水の提供
２５億人以上の人々は適切な衛生設備を利用することができません。少なくとも毎日３０００人の子供が安全でない水による下痢性疾患で亡くなっています。私たちのプロジェクトは、持続可能な水と衛生システムを開発・維持する能力を地域社会に与え、そして水と衛生に関する研究を支援することです。

母子の健康
少なくとも７００万人の５歳以下の子供が毎年、栄養不良、貧しい医療、および不適切な衛生で亡くなっています。この数値を下げるために、私たちは赤ちゃんに対する予防接種や抗生物質を提供し、基礎的医療サービス状況を改善し、母子のために研修を受けた医療供給者を支援しています。私たちのプロジェクトは、地域社会に医療研修プログラムを自分のものにする権限を与えることで、持続可能性を補償することです。

教育支援
世界で６７百万の子供達は教育を受けていません。そして１５歳以上の７億７５００万人以上の人たちは読み書きが出来ません。私たちの目標は、基礎的教育と識字率向上を支援し、教育における性的な不平等を低下させ、大人の識字率を高めるために、地域社会の能力を高めることです。

地域経済の発展
約１４億人の労働者は一日 1.25 ドル以下で暮らしています。私たちは経済と地域社会の発展を促進し、若い人も年老いた人も、きちんとした、生産的な仕事に就ける機会を開発するプロジェクトを実施しています。私たちはまた、発展途上国において地域の起業家や地域のリーダー、特に女性を支援しています。

環境の保全（supporting the environment）　新しい重点分野に

6. 米山記念奨学事業

（「ロータリー米山記念奨学事業　豆辞典」参照下さい）

米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー独自の事業
  （日本全国34地区の合同活動）
- 日本で学ぶ外国人留学生の支援
  （公益財団法人を設立し運営）
- 世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視

事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京ＲＣが事業構想
  米山基金 “平和日本”を世界へ
  （日本の友人を増やし 平和を実践する人材を育てる）
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立

国際ロータリーと米山

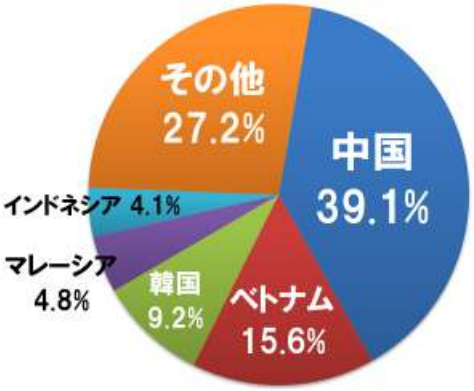
2002	ロータリー研究会のプログラムに
2004	ＲＩ理事会で米山記念奨学事業が賞賛
2007	ロータリーの多地区合同活動手続きが完了
2014	国際ロータリーが学友の定義拡大、米山学友も「ロータリーの学友」に
2016	ソウル国際大会で初の分科会開催

米山奨学金と奨学生

国内最大級の奨学生数

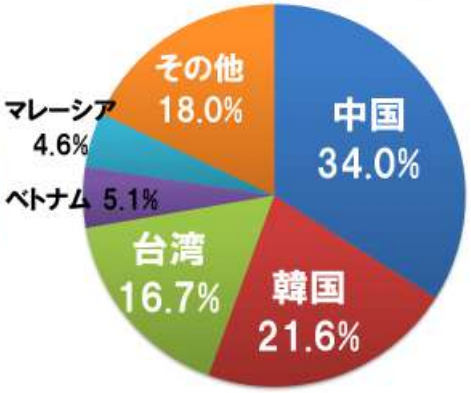
2019学年度 **868人**

新規638人 / 継続230人



累計**21,023人**

129の国と地域



（2019年7月現在）

奨学生数の決定と選考

採用基準（全国統一）

- 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- 家庭状況、経済状況は評価対象外

留学の目的将来の目標	交流への熱意	人柄	コミュニケーション能力	その他

当地区の米山奨学生

2019学年度：　21人

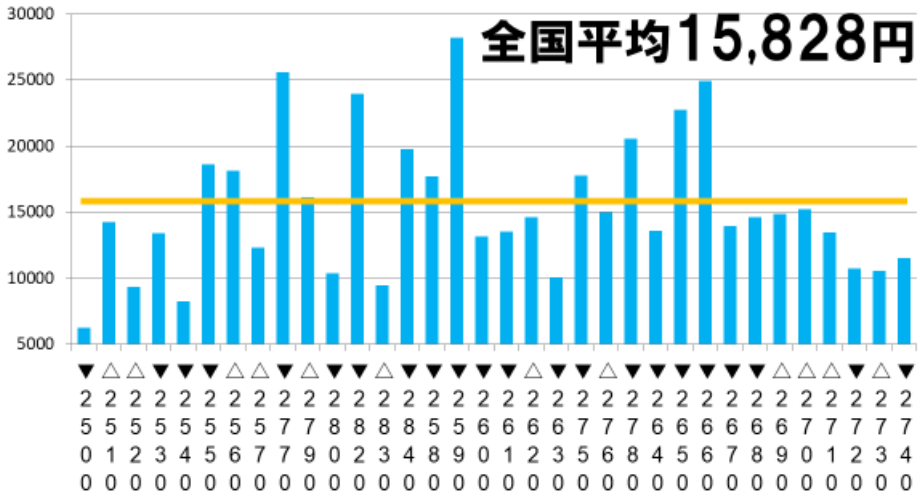
2020学年度：　21人予定

【出身国・地域】
中国、○○、○○、○○

寄付金の状況

寄付実績（個人平均）

- 平均寄付額 [　　] 円（第 [　　] 位）



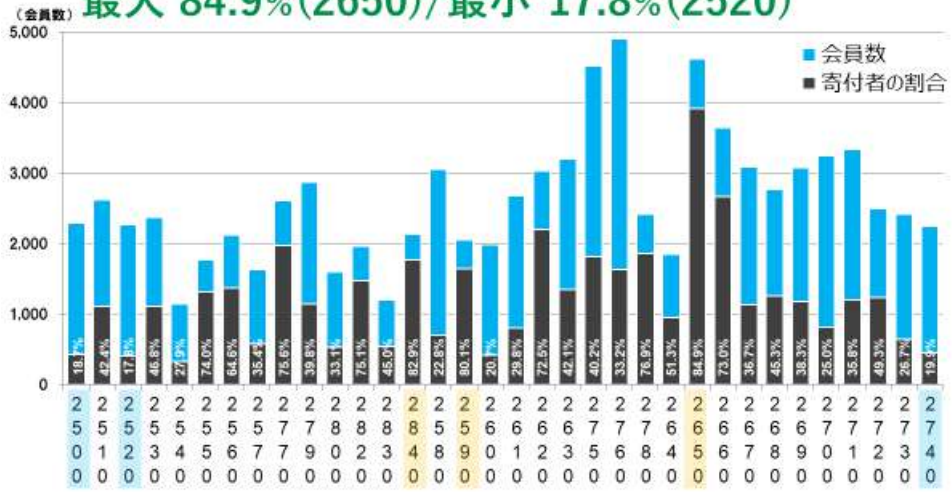
寄付実績（個人平均）

	当地区	全国平均
個人平均 寄付額	円	15,828円
-普通寄付金	円	4,828円
-特別寄付金	円	11,000円

寄付実績(特別寄付者割合)

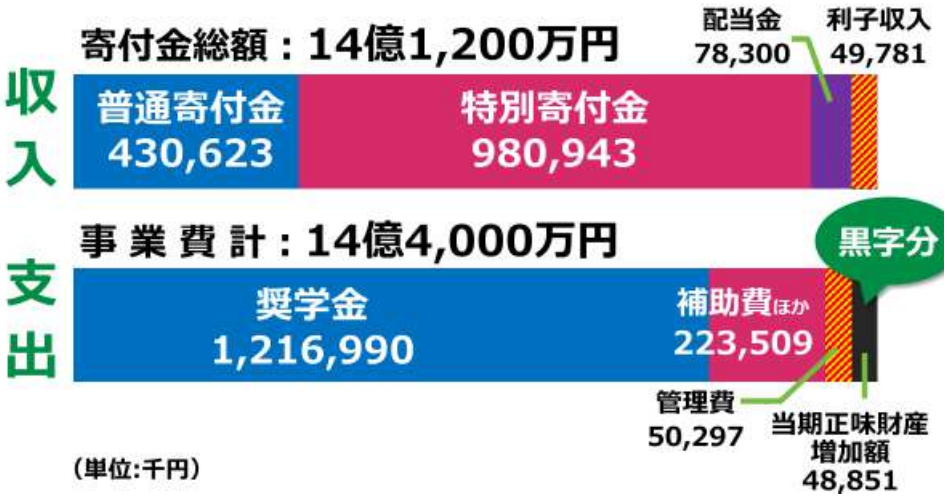
- 全国平均 46.9% 当地区 　　%

最大 84.9%(2650)/最小 17.8%(2520)



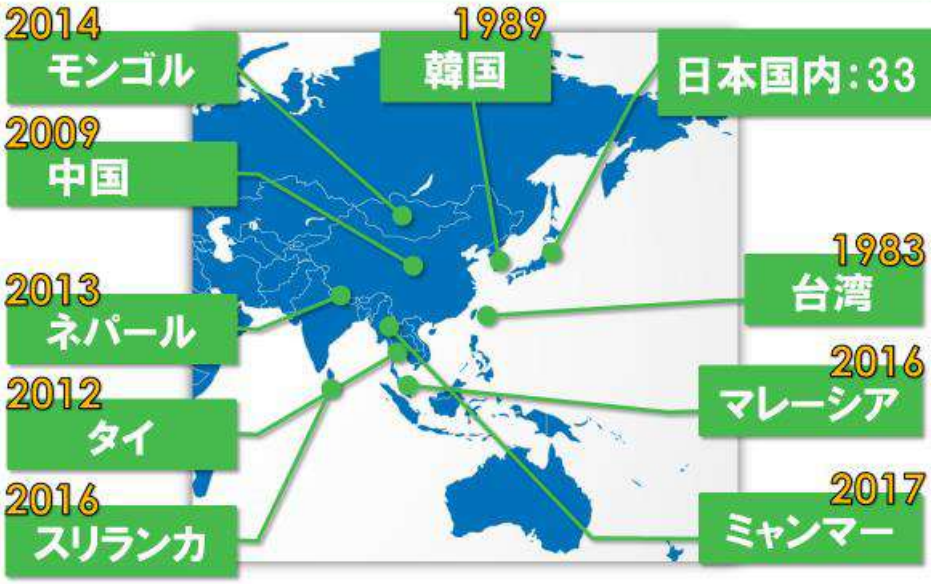
ご寄付は奨学事業に

- 寄付は前年度から2千万円減



“巣立った米山奨学生”

学友会（国内33、海外9）



学友会の活動【海外】

ミャンマー：子どもの教育支援

台湾：日本人奨学支援11年目

韓国:日本人奨学支援4年目

モンゴル:絆inモンゴルを主催

巣立った奨学生の活躍

- ロータリアンになった学友 238人
- ガバナーになった学友 3人

- 学友が中心となって設立したロータリークラブ 5つ

恩返しの気持ち

- 東日本大震災 約760万円
- 熊本大地震 約20万円(上海)
- 学友からの寄付 累計 3,530万円
- 遺言寄付
  大口寄付

知っておいて
いただきたい事

奨学生に関わる危機管理

自然災害	病気・事故	ハラスメント

地区米山奨学委員会→危機管理委員会へ報告・対応

地区単位のLINEグループ等	2020学年度より現役奨学生の傷害保険 （例会出席時）	奨学生 →ハラスメント相談窓口 ロータリアン →賠償責任保険

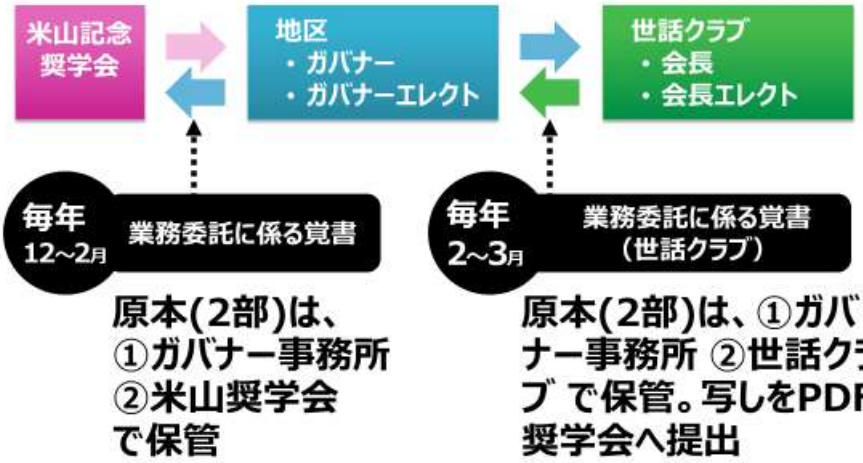
紺綬褒章の公益団体に認定

- 2018年9月12日以降のご寄付が対象
- 個人：500万円～
  団体/企業：1,000万円～
- 分納可
  （事前の申請が必要）

内閣府ホームページより

業務委託・覚書の締結

- 2020学年度からスタート



原本(2部)は、
①ガバナー事務所
②米山奨学会
で保管

原本(2部)は、①ガバナー事務所 ②世話クラブ で保管。写しをPDFで奨学会へ提出

パートⅢ

1. 戦略計画とクラブの分析

戦略計画立ワークシート

1. クラブの現状はどうか

あなたの地域社会が直面する『機会』と『脅威』を書き出しましょう。

あなたのクラブの現状をチェックするに当たって、あなたのクラブが上手く運営されているか或いは改善すべき何かがあるかを知るために、ロータリークラブセントラル、ロータリークラブ健康チェック、会員評価ツール、そして地域版の「元気なクラブになるために」を利用してください。

クラブの強み	クラブの弱み
地域社会における会員増強~~発展~~の機会（新しいビジネス、人口の増加など）	地域社会が直面する課題（経済の悪化、競合する団体の奉仕活動など）

2. クラブは何を目指しているのか

今後3～5年間で、あなたのクラブが持って欲しいと思う特性を5～10点挙げなさい。

次に、簡潔なビジョン声明を準備しなさい。必要に応じて皆でそのビジョン声明を改訂してください。それから、会員がそれを支持しているかどうかを確認してください。

（あなたの地域に他の奉仕団体とあなたのクラブを差別化できる点を含めて。例えば、「~~我々~~私たちのビジョンは、地域社会の中で最も国際的に多様性のあるクラブになることです」あるいは「私たちのビジョンは地域社会の中で最も青少年を支援するクラブになることです」といったように）

3. どのように目標を達成できるか

- 以下のことを考慮して、あなたのクラブがそのビジョンを達成するための戦略的優先事項を設定しなさい。

  — クラブの強みと弱み
  — 国際ロータリーが掲げる目標、あなたの地区の目標、そしてあなたと同じ地域のクラブ会員の目標
  — 国際ロータリーとロータリー財団のプログラムと使命
  — あなたの地域に存在している「機会」と「課題」
  — 会員の意見
  — ３～５年間で達成可能かどうか

- チームに最も重要な戦略的優先事項を選ばせなさい。あなたのクラブがビジョンに向って行動するような最も大きなインパクトを持ったものを。
- それぞれの最重要の戦略的優先事項を支えるような毎年の目標を設定しなさい。
- それぞれの戦略的優先事項の中の毎年の目標を達成するための課題、活動、~~期日~~**日程**、リソース（資源）、そして人的資源をリストに挙げなさい。
- 目標を設定し、その達成を見守る(監視する)ためにロータリークラブセントラルを利用しなさい。

戦略的優先事項 1: _____

年間目標	任務/活動　　達成期日	必要なリソース	担当する会員

戦略的優先事項 2: _____

年間目標	任務/活動　　達成期日	必要なリソース	担当する会員

戦略的優先事項 3: _____

年間目標	任務/活動　　達成期日	必要なリソース	担当する会員

4. 目標に向けての進捗はどうか

- クラブの戦略計画チームが定期的に、戦略計画の目標に到達するための進捗度合いをチェック（**モニタリング**）するようにしてください。また、必要に応じて計画の変更を提案してください。
- ビジョン声明と優先事項を含めて、計画の見直が必要かどうかを確認するために、毎年クラブメンバーと共にクラブの戦略計画を再検討してください
- クラブの決定が戦略計画の目標を支えるものになるようにしてください。また、進捗結果については、戦略計画チームと議論してください。
- 計画を達成するために十分なリソース（資源）を割り当てて下さい。
- 新しい計画を立てるために、あるいは現状の計画を維持するために、３年から５年ごとに、戦略計画の立案ステップを繰り返します。

戦略計画の経過を追跡するためにクラブが取るべきステップを時系列を含めてリストアップしてください。例えば、毎月の理事会での報告、クラブ協議会での協議、そして年次報告。

ロータリークラブ　自己評価表

この書式は自己評価を行い、あなたのクラブの現在の実績(成果）と運営を再検討するためのものです。決して、あなたのクラブを『採点』するためのものではありません。むしろ、あなたのクラブの強みを発見し、改善できる余地を確認するメカニズムを提供することです。多くの質問によって、合理的な評価が得られます。質問に対して、四つのテストに従って最適な判断でお答えください。

クラブ管理　　スコア

評価：はい―5 点　いいえ―0 点　わからない―DK

1. 私の所属するクラブはクラブリーダーシッププランを導入している ＿＿＿
2. 各会員の閲覧が可能な細則がある ＿＿＿
3. クラブ理事会のメンバーは定期的に会議を開いている ＿＿＿
4. クラブは短期・長期の活動計画を持っている ＿＿＿
5. クラブはメールアドレスを持っている又は最新の情報を載せたウェブサイト持っている ＿＿＿
6. 国際ロータリー公式名簿がある ＿＿＿
7. 役員・会員・委員会・委員長の名簿がある ＿＿＿
8. クラブは年度を通じて会員とパートナーの為のイベントを計画している ＿＿＿
9. 欠席の続いている会員や病気の会員に積極的に連絡を取っている ＿＿＿
10. 過去 3 年の間に会長賞を受賞した ＿＿＿
11. 会員が承認した年間予算がある ＿＿＿
12. 最低年 1 回は収入支出に関する報告書を受け取っている ＿＿＿

評価：優秀―5　良い―4　ほぼ満足―3　中位―2　おそまつ―1　わからない―DK

13. クラブ例会の開催場所や開催地域は ＿＿＿
14. 例会中に出される食事は ＿＿＿
15. 通常の例会のスピーカーやプログラムの質は ＿＿＿
16. 例会は定刻に始まり、定刻に終わり、例会プログラムの使用は ＿＿＿
17. 理事会はクラブに対し理事会報告をする ＿＿＿
18. 会員に対する重要なロータリーの情報伝達は ＿＿＿
19. 会員のクラブ負担金の支払いは ＿＿＿
20. 地区や国際ロータリーの負担金の支払いは ＿＿＿
21. クラブニュースレターやクラブ会報の情報とその内容は ＿＿＿
22. クラブの使用する音響システム、講演台、装飾、旗、バナー、その他ロータリーの備品は ＿＿＿
23. 定期的な会合や、理事会あるいは会員への報告に関するクラブ委員会システムの運用は ＿＿＿
24. 地区協議会、地区大会、国際大会や特別な会議についてのクラブのプロモーションは ＿＿＿

評価：優秀―5　良い―4　ほぼ満足―3　中位―2　おそまつ―1　わからない―DK

25. RI テーマや RI 会長のメッセージと強調事項のクラブでの活用は ＿＿＿

26. 来訪ロータリアンに対する挨拶やもてなしは _____
27. 例会時のゲスト紹介は _____
28. クラブ協議会での情報と話題の質は _____
29. 地区ガバナーの公式訪問時のクラブの待遇と歓迎は _____
30. ロータリーソングの歌唱は _____
31. クラブ内でのロータリー精神や友愛の程度は _____
32. 出席表彰などの個人表彰に対するクラブの努力は _____
33. 会員は毎週異なるテーブルに座る _____
34. 会員の特別なイベントや誕生日に関するクラブの配慮は _____

次の中から当てはまるものを選択してください：

35. 私たちのクラブはスピーカーを 毎週(5 点)、毎月(3 点)、一度もなし(0 点) 迎えている _____
36. クラブニュースレターは 毎週(5 点)、2 週間に 1 回(3 点)、毎月(1 点)、一度もなし(0 点) 発行している _____
37. クラブ協議会を 毎月(5 点)、年に 4 回(3 点)、年に 2 回(1 点)、一度もなし(0 点) 開催している _____
38. 国際ロータリーの“出席”に関する規定を 常に(5 点)、たいてい(4 点)、時折(3 点)、たまに(2 点)、一度もなし(0 点) 守り、実施している _____
39. 会員は欠席に対するメークアップを 常に(5 点)、たいてい(4 点)、時折(3 点)、たまに(2 点)、一度もなし(0 点) 実施している _____
40. クラブは出席率 100%の会員に対する表彰を 規則的に(5 点)、時折(3 点)、たまに(1 点)、一度もなし(0 点)行っている _____
41. 私のクラブは地区ガバナーの候補者を 過去 1～5 年の間に(5 点)、6～10 年の間に(4 点)、11～15 年の間に(3 点)、16 年以上前(0 点)、知らない(DK) 輩出している _____
42. 私のクラブはガバナー補佐を 過去 1～5 年の間に(5 点)、6～10 年の間に(3 点)、一度もなし(0 点)、知らない(DK) 輩出している _____
43. 前回の国際大会に私のクラブから次の会員が出席した。5 名以上(5 点)、3～4 名(4 点)、1～2 名(2 点)、0 名(0 点)、知らない(DK) _____
44. 前回の地区大会に私のクラブから次の会員が出席した。10 名以上(5 点)、5～9 名(4 点)、2～4 名(3 点)、1 名(2 点)、0 名(0 点) _____
45. 直近の地区協議会に私のクラブから次の会員が出席した。5 名以上(5 点)、2～4 名(3 点)、1 名(1 点)、0 名(0 点)、知らない(DK) _____
46. 地区の主催する特別なイベント（例；セミナー、奉仕活動)に私のクラブから通常 10 名以上(5 点)、5～9 名(3 点)、1～4 名(1 点)、0 名(0 点) 出席している _____
47. 会長エレクトは PETS に いつも(5 点)、時々(3 点)、たまに(1 点)、一度もなし(0 点) 出席している _____

※Q1～47 までの点数を計算して下さい（各 5 点）

クラブの管理 _____

DK(わからない) _____

会員

次の中から当てはまるものを選んでください：

1. 例会の月平均出席率は 90-100%(5 点)、80-89%(4 点)、70-79%(3 点)、60-69%(2 点)、50-59%(1 点)、知らない(DK) _____

2. 会員の平均年齢は 35-40 歳(5 点)、41-50 歳(4 点)、51-60 歳(3 点)、61-70 歳(2 点)、71 歳以上(1 点)、知らない(DK) _____

3. 昨年の会員数は 増加した(5 点)、同じ(3 点)、減少した(0 点)、知らない(DK) _____

4. 今年の会員数の見込みは 増加する(5 点)、同じ(3 点)、減少する(0 点)、知らない(DK) _____

5. 新クラブ設立の支援を 過去 1～3 年以内(5 点)、4～8 年以内(4 点)、9～12 年(2 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK) 行った _____

6. 会員が他の土地に転勤したときは いつも(5 点)、時々(3 点)、一度もなし(0 点) 転勤先近くのロータリークラブに知らせている _____

7. 新会員がクラブで活動し易いように いつも(5 点)、時々(3 点)、一度もなし(0 点) 支援している _____

8. クラブは会員候補者を発掘するために しばしば(5 点)、時折(4 点)、たまに(2 点)、一度もなし(0 点) 茶話会や飲み会などの特別な親睦会を行っている _____

9. クラブは いつも(5 点)、時々(3 点)、たまに(1 点)、一度もなし(0 点) ロータリーの基金集めやイベントの際、ロータリーに参加する情報や資料を持っている _____

評価：はい―5 点　いいえ―0 点　わからない―DK

10. クラブに対して定期的に報告を行う会員増強委員長がいる _____

11. クラブは会員の職業分類制度を利用している _____

12. クラブには会員の関心事項調査の用紙がある _____

13. クラブは新会員の関心のある事項に基づき、委員会への配置を行う _____

14. クラブは達成可能な無理のない会員増強の目標を毎年定めている _____

15. クラブは“メンター”プログラムを利用している(新会員に対して教育役をつけている) _____

16. 新会員用の入門キット(入門資料一式) がある _____

17. 新会員が歓迎されたと感じるクラブ特有のプログラム(レッドバッジ、歓迎会など) がある _____

18. 新会員のためのオリエンテーション会合を行う _____

19. クラブは新会員が RLI に出席する際、経費を負担する _____

20. クラブは退会する会員に対し“退会時面接”を行って理由を聞いている _____

21. クラブは通常新会員に対し友人などをロータリークラブに紹介してもらうよう依頼している _____

22. 会員でないスピーカーを招き、ロータリーについての情報を提供している _____

評価：優秀―5　良い―4　ほぼ満足―3　中位―2　おそまつ―1　わからない―DK

23. 会員増強に対するクラブのプロモーションは _____

24. クラブの職業分類リストの活用は _____
25. 地域における事業種別と人口に対するクラブ会員のバランスは _____
26. クラブの人種や性別或いは民族を問わず、質のよい会員を加入させる努力は

_____
27. 新会員のためのオリエンテーション会議の内容は _____
28. 新会員入会時の入会式の内容は _____
29. クラブの指南役（教育役）プログラムの内容は _____
30. クラブは会員維持のための特別なプログラムを持っている。その内容は

_____
31. 地区会員増強セミナーへのクラブの出席は _____
32. すべての会員にむけての RLI 参加への奨励は _____
33. 総合的にクラブの会員増強と退会防止への取り組みは _____

※Q1～33 までの点数を計算して下さい（各 5 点）

クラブ会員 _____

DK(わからない) _____

ロータリー財団について　　1～21 まで

評価：はい―5 点　いいえ―0 点　わからない―DK

1. クラブは財団の委員長を有し、会員に定期的に財団活動の報告を行っている

_____
2. 毎年、寄付金の目標を設定し達成している _____
3. 各会員にポール・ハリス・フェローになることを奨励している _____
4. 会員のロータリー財団への寄付にクラブがマッチングをする _____
5. 新しくポール・ハリス・フェローになった人のために特別のプレゼンテーションを行っている _____
6. ポール・ハリス・フェロー全員の名簿を配布している _____

当てはまるものに、〇をしてください：

7. ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点)の会員は、R 財団に送る寄付金が 3 年後に地区に還元されることを知っている _____
8. ロータリー財団の情報は 毎月(5 点)、3 ヶ月に 1 回(3 点)、半年に 1 回(1 点)、一度もなし(0 点) 報告されている _____
9. すべての(5 点)、ほとんどすべての(4 点)、多くの(3 点)、何人かの(2 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点)の会員はポール・ハリス・フェローのことを知っており、どのようにしてその一員になるのかを知っている _____
10. ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) の会員は、EREY プログラムに参加し寄付を行っている _____
11. 私のクラブは、 過去 1～3 年(5 点)、過去 4～6 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK) の間に GSE チーム、国際親善奨学生、大学教員又は世界平和奨学生の支援を行った _____
12. 私のクラブは来訪 **VTT** チームを 過去 1～5 年(5 点)、過去 6～8 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK)の間にホストした _____
13. 私のクラブは国際パートナーと共にグローバルグラントの申請を、過去 1～3 年(5 点)、

過去 4～6 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK) 行った _____

14. 私のクラブは地区補助金の申請を 過去 1 年以内(5 点)、過去 2～3 年(3 点)、知る限りない(0 点)、知らない(DK) 行った _____
15. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、ポール・ハリス・フェローである _____
16. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、ポール･ハリスメンバーを継続している _____
17. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、R 財団の遺贈友の会のメンバーである _____
18. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、R 財団のベネファクターである _____
19. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、ポール・ハリス・ソサエティーのメンバーである _____
20. クラブ会員の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点) は、メジャードナーである _____
21. クラブの現 PHF の ほとんどすべての(5 点)、多くの(4 点)、何人かの(3 点)、ほとんどない(2 点)、0 名(0 点)は、引き続いて R 財団に寄付を行っている _____

※Q1～21 までの点数を計算して下さい（各 5 点）

R財団 _____

DK(わからない) _____

奉仕プロジェクト

評価：優秀―5　良い―4　ほぼ満足―3　中位―2　おそまつ―1　わからない―DK

1. 職業奉仕を推進するクラブの姿勢は _____
2. クラブと地域における 4 つのテスト（4-Way Test）の推進は _____
3. 地域の学校において学生が職業選択をする場合、これを支援するクラブの職業開発プログラムの活用は _____
4. クラブと地域において、高い倫理基準、専門職の尊厳または奉仕活動の実践を進めるクラブの努力は _____
5. 毎年新しい地域奉仕活動を行っているクラブの努力は _____
6. 毎年新しい国際奉仕活動を行っているクラブの努力は _____
7. 奉仕活動への会員の資金・人材・資源の活用は _____
8. 奉仕活動へのコミュニティーリーダーからの資金・人材・資源の活用は _____
9. 地域や国際的な奉仕活動に対するクラブの活動について _____

10. クラブが**過去 3 年の間**に行ったプロジェクトがあった場合、3 点を加えて下さい。
クラブは次の分野のプログラムやプロジェクトを行った。

- 薬物使用の予防とリハビリに関する支援 _____
- ポリオ根絶と地域の免疫に関する活動 _____
- 環境保護活動 _____
- 識字に関するプロジェクト _____
- きれいな水に関するプロジェクト _____
- 飢餓問題に関する支援 _____
- 障害者・高齢者サポートに関する支援 _____
- 地域や世界に対する保健・医療に関する支援 _____
- 地域再建に関する支援 _____
- 貧困地域に関する支援 _____
- 地域社会における経済的、社会的な生活の質の向上 _____
- 職業訓練に関する支援 _____
- 青少年指導育成に関する支援 _____
- ローターアクトあるいはインターアクトの設立と支援 _____
- 通常のプロジェクトで他の奉仕団体との共同活動 _____
- 通常のプロジェクトで他の RC との共同活動 _____
- 学力向上に関する支援 _____
- 交通安全や高速道路の安全に関する支援 _____
- 動物保護に関する支援 _____
- 災害援助プログラムやプロジェクト _____
- その他 _____ _____

Q10 合計点 _____

評価：はい―5 点　いいえ―0 点　わからない―DK

11. 財団の奉仕プログラムを支援するため、クラブは種々の募金活動を行っている _____
12. 財団の奉仕プログラムへの募金は主に会員の寄付に依存している _____
13. クラブは過去 2 年間に国際奉仕プロジェクトに参加している _____
14. クラブは青少年交換プログラムに参加している _____
15. クラブは青少年交換の学生を例会に招いている _____
16. 通常、会員は来日の青少年交換学生に対してホストペアレントのように振舞っている _____
17. クラブは青少年交換プログラムに義務付けられた『人物経歴調査』を制定し、協力する計画がある _____
18. クラブは優秀な学生又はリーダー的な学生を顕彰している _____
19. クラブは毎年少なくとも 1 つのグローバル補助金プロジェクトを支援している
20. クラブは国連本部で行われる Rotary UN（国連） day に参加している _____
21. クラブは過去 3 年の間、ロータリー友情交換に参加している _____
22. クラブは過去 3 年の間に、世界で 1 つ以上のロータリークラブとのツイン都市クラブプロジェクト、姉妹クラブプロジェクト又はマッチドクラブプロジェクトなどに参加した
23. クラブは過去 3 年の間に、RYLA に学生を派遣した _____

※Q1～23 までの点数を計算して下さい（各 5 点）

奉仕活動 _____

DK(わからない) _____

ロータリーの広告と広報

1. クラブは地元メディアに対し、 いつも(5 点)、時々(3 点)、たまに(1 点)、一度もなし(0 点) ロータリー活動の記事や写真などを提供している _____
2. クラブは いつも(5 点)、時々(3 点)、たまに(1 点)、一度もなし(0 点) ロータリー活動を広報するため公共のメディアを利用している _____
3. 会員は いつも(5 点)、時々(3 点)、たまに(1 点)、一度もなし(0 点) ロータリーピンを着用している _____
4. クラブは例会の日時や場所を書いた 多くの(5 点)、いくつかの(3 点)、1 つの(1 点)、なし(0 点) 看板を設置している _____
5. 他の組織に資金提供をする際、相手に いつも(5 点)、時々(3 点)、たまに(1 点)、一度もなし(0 点) 地元メディアに寄付を公表するよう要請している _____

評価：はい―5 点　いいえ―0 点　わからない―DK

6. クラブは例会場に“ロータリー例会場はこちら”という看板を置いている _____
7. クラブは過去 2 年の間に看板・新聞・地域パンフレットなどを利用し、広報活動を行っている _____
8. 昨年、会員は地元のラジオやテレビの取材を受けたことがある _____
9. クラブにはメディアの職業分類をもつ会員がいる _____
10. クラブは、広報用のクラブの紹介とその活動を記載した小冊子がある _____
11. 地域奉仕プロジェクトが完了した際、ロータリーロゴとクラブ名がわかるものを設置している _____

※Q1～11 までの点数を加算して下さい（各 5 点）

ロータリーの広報 _____

DK(わからない) _____

ボーナス質問　　(1～6 まで評価：はい―5 点　いいえ―0 点)

1. 私は毎月ロータリー雑誌（ロータリーの友）を購読している _____
2. 私はガバナー月信を受け取りこれを読んでいる _____
3. 私は過去 2 年の間に新会員を紹介した _____
4. 私は R 財団の SHAER システムを理解している _____
5. 私はポール・ハリス・フェローであり、継続して寄付している _____
6. 私は過去 2 年の間に奉仕活動に参加するか、または奉仕活動への寄付を行った _____
7. 私はクラブ又は地区又は RI ウェブサイトを 毎日(5 点)、毎週(4 点)、毎月(3 点)、時に(2 点)、一度もない(0 点)　見ている _____
8. 私は例会欠席時のメークアップを 毎回(5 点)、時々(3 点)、一度もなし(0 点) 行っている _____
9. 私は地区委員を 過去 1～5 年(5 点)、過去 6～10 年(3 点)、それ以前又は一度もなし(0 点) の間に務めた _____

10. 地区大会・国際大会に 昨年(5 点)、過去 2～5 年(3 点)、5 年以上前(1 点)、一度もなし(0 点) 出席した _____
11. R 財団に 昨年(5 点)、過去 2～3 年(3 点)、4 年以上前(1 点)、一度もなし(0 点) 寄付を行った _____

※Q1～11 までの点数を計算して下さい

ボーナス質問 _____
DK(わからない) _____

各合計

クラブ管理（質問 47）	_____／235 点	DK 数_____／38
クラブ会員増強（質問 33）	_____／165 点	DK 数_____／29
R財団 （質問 21）	_____／110 点	DK 数_____／10
奉仕活動（質問 23）	_____／173 点	DK 数_____／22
ロータリー広報（質問 11）	_____／ 55 点	DK 数_____／ 6
ボーナス質問（質問 11）	_____／ 55 点	

総合計 _____／793 点
総 DK 数 _____／105

評価

700 点以上	最優秀
600 点～699 点	優秀
500 点～599 点	普通
400 点～499 点	努力が必要
300 点～399 点	注意：クラブとして援助が必要かもしれません
300 点以下	早急な援助が必要です

DK（Don’t Know）が多くても自分で点数を調整したりしないでください。点数はあくまで参考です。

1-10 DK's	**普通**
11-20 DK's	**注意**—もう少し自身のクラブに注意を向けましょう
21-35 DK's	**危機**—自身のクラブについてもっと知る必要があります
36 以上	**絶望**—新加入の会員であれば別ですが、自身のクラブについて全くとい（容認できない）っていいほど知識がありません。しっかり勉強してください。

これはあなたのクラブに対する非科学的で非加重調整していない分析結果で、この結果はあなたやあなたのクラブが欠けているものを確認するためのみに使用してください。クラブやロータリアンの活動にマイナスの影響を与えると捉えるべきではありません。

2. ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕

国際奉仕プロジェクトとは何でしょうか？

かつて世界社会奉仕（WCS)と呼ばれた、国際奉仕プロジェクトは2つ以上の国のロータリークラブを含めて、結束して彼らの地域社会の一つに奉仕するプロジェクトです。国際的な支援を探しているクラブは、世界中のクラブとウェブサイトを通じて、彼らのプロジェクト・ニーズを公表することができます。
同様に、国際的奉仕活動を支援をしたいと思っているクラブは、ウェブ・リソースを利用することで、適当な候補者を見つけることができます。
奉仕と通じて、国際理解と善意を促進することによって、国際奉仕プロジェクトはロータリーの心を映し出し、そして、わくわくするような、挑戦的な、満足感を体験する機会をロータリアンに提供します。
プログラムの歴史とゴール：WCS プログラムは 1967 年に正式に開始されました。それ以来、何千ものWCS プロジェクトが完遂され、それらを支援するための、ロータリークラブによって毎年、何百万ドルの資金と支給品が寄付されました。国際奉仕プロジェクトを支援するために、「リソースとサポートのモデル」への転換を RI 理事会が承認したことを受け、世界社会奉仕（WCS)は 2011 年 6 月 30 日をもって廃止されました。

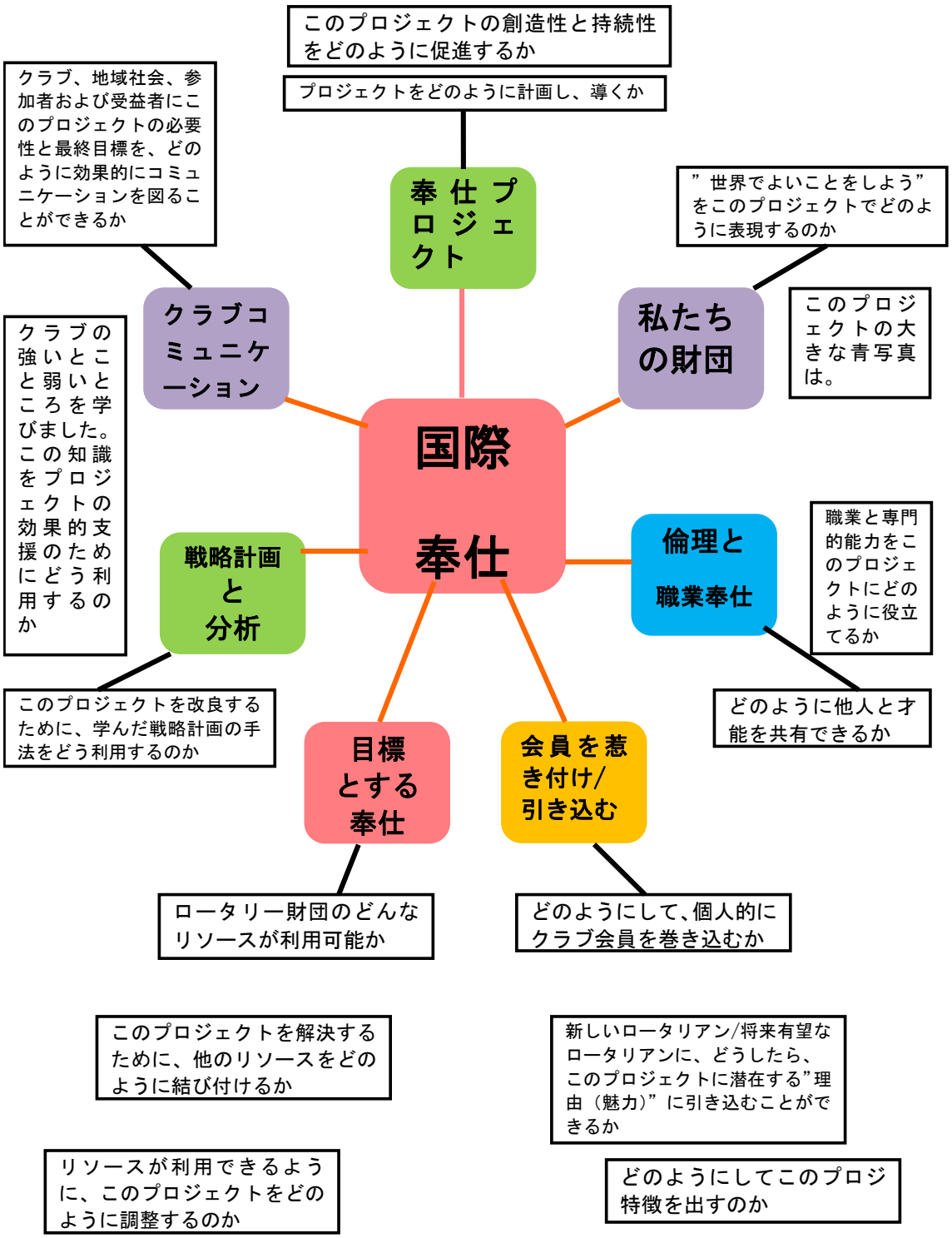
国際奉仕プロジェクトの目的は、

１．国際奉仕活動を通じて援助を必要としている人々の**生活の質**を改善する。
２．国際的な奉仕活動を実行するため、他の国のクラブと地区の間の**協力**を促進する。
３．プロジェクト・ニーズと支援に関して、情報交換のための効果的な**枠組み**を作る。
４．人々の自助努力を助けるプロジェクトを実行することの重要性と同様に、国際的な発展と文化的な問題についてロータリアンの**認識**を増加させる。
５．国際ロータリーとロータリー財団に**関係するプログラム**の参加者を支援する。
６．財団や他のリソースを通じて、利用できる**プロジェクトに資金を提供する機会**について、ロータリアンを教育する。
７．他のロータリアンとプロジェクトの成功経験を**共有**する。
８．**国際理解と親善と平和**を促進させる。

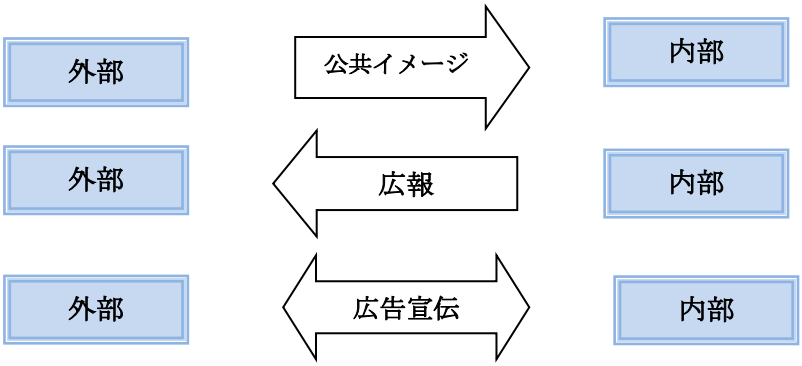
RI 理事会は、国際奉仕に関して少なくともひとつのプロジェクトを構築することを推奨しています。
プロジェクトは次の範疇を必ず守るものとする。
１．プロジェクトは実際に人道主義的である。
２．二カ国以上のロータリアンが関与している。
３．プロジェクトはこれらの国の一つに位置している。

奉仕活動を開始するにあたって
プロジェクトを行うロータリークラブは、プロジェクトによる利益は、プロジェクトが行われる地域をはるかに超えて、広がっていることを理解することができます。
クラブは（1）クラブに更に野心的なプロジェクトに着手させる、（2）すべての参加者に奉仕のために奮闘する能力を与える、（3）海外のロータリアンとのより緊密な結びつきを促進する、（4）国際理解と親善を深める、そして（5）世界的な関心事を扱う機会を持ちます。

多くのクラブはロータリアン間の**非公式な接触**から、国際奉仕プロジェクトへの参加を開始します。
ロータリーショーケースはロータリアンが WCS に参加することができるもう一つの方法です。
この検索可能なデーターベースは、ウェブサイト（www.rotary.org.)に収納されており、資金を必要としている世界中の何百ものクラブや地区の社会奉仕プロジェクト、ボランティア、寄贈品、ロータリー財団補助金のパートナーが掲載されています。
また、そこには、ベストプラクティス（最も効率のよい手法や活動）の源泉となりえるモデルプロジェクト例も提供してくれます。


国際奉仕
プロジェクト奉仕
このプロジェクトの創造性と持続性をどのように促進するか
プロジェクトをどのように計画し、導くか
クラブコミュニケーション
クラブ、地域社会、参加者および受益者にこのプロジェクトの必要性と最終目標を、どのように効果的にコミュニケーションを図ることができるか
クラブの強いところと弱いところを学びました。この知識をプロジェクトの効果的支援のためにどう利用するのか
私たちの財団
”世界でよいことをしよう”をこのプロジェクトでどのように表現するのか
このプロジェクトの大きな青写真は。
倫理と職業奉仕
職業と専門的能力をこのプロジェクトにどのように役立てるか
どのように他人と才能を共有できるか
戦略計画と分析
このプロジェクトを改良するために、学んだ戦略計画の手法をどう利用するのか
目標とする奉仕
ロータリー財団のどんなリソースが利用可能か
このプロジェクトを解決するために、他のリソースをどのように結び付けるか
リソースが利用できるように、このプロジェクトをどのように調整するのか
会員を惹き付け/引き込む
どのようにして、個人的にクラブ会員を巻き込むか
新しいロータリアン/将来有望なロータリアンに、どうしたら、このプロジェクトに潜在する”理由（魅力）”に引き込むことができるか
どのようにしてこのプロジ特徴を出すのか

3. 公共イメージと広報



世界を変える行動人：

概要

「世界を変える行動人」は、説得力があり一貫した方法でロータリーのストーリーを伝えるための公共イメージキャンペーンであり、調査に基づいて開発されました。広告キャンペーンであるだけでなく、ロータリークラブがもたらすインパクトを伝えるために、会員自らが利用できるツールもあります。地域社会をより良くするために行動を起こすという共通の情熱をもった職業人、地域社会や市民社会のリーダーであるロータリアンを「行動人」として映し出している点が特徴的です。

ロータリーのビジョン：私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ロータリーの本質：ロータリーでは、さまざまな国、文化、職業のリーダーが結びつき、アイデアを広げながら、世界中の地域社会のために行動しています。

ロータリーの公共イメージの推進

「世界を変える行動人」キャンペーンは、ロータリーに対する認識と理解を向上させることを目的としています。調査では、「ロータリー」という名前を知っている人は多い一方、ロータリーがどのような組織で、どのような活動をしているのかを知っている人は少ないということが分かっています。ロータリーに対する一般の人たちの認識を高めるには、クラブが地域社会にもたらしている変化について、クラブ自身が伝えていくことが重要となります。クラブが「世界を変える行動人」のストーリーを伝えることは、ロータリーのビジョンをより分かりやすく、目に見えるかたちで一般の人たちに伝えることです。

ボイス

ロータリーと他団体との違いを際立たせ、心を引きつけるような一貫したメッセージでアピールするにはどうすればよいでしょうか。人に個性があるように、団体にも個性があります。ロータリーでは、「粘り強さ」「行動を促す力」「思いやり」「賢明さ」の4つの特性を「ボイス（voice）」とし、ロータリーについて語り、書くときには、これらの特性を表す語調（トーン）を使うことによって、ロータリーの個性を表すことができます。

このような個性を出すことで、分かりやすく、共感しやすく、説得力のあるコミュニケーションが可能となるだけでなく、親密さや誠実さを感じてもらうことができます。

ロータリーのボイスは、堅苦しくなく、またくだけすぎていない語調となります。

ロータリーのボイス	応用例
粘り強さ 私たちは、固い決意をもって大胆かつ果敢に行動する。 私たちは明瞭さと自信をもって話す。	1979年以来、ロータリーはポリオ根絶活動を通じて、3カ国を除く世界のすべての国からポリオを根絶する上で貢献してきました。今日私たちは、ポリオを近い将来に根絶するために全力を尽くしています。
行動を促す力 私たちは、積極性、意欲、熱意を通じて人びとの行動意欲を引き出す。	ロータリーに参加すれば、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、末長く続く変化を生み出すことができます。
思いやり 私たちは思いやりの心をもって人びとを支援している。	共感する心がなければ、世界の難題に立ち向かうことはできません。ロータリー会員は、人びととの対話や絆を大切にしています。
賢明さ 私たちはさまざまな視点から物事をとらえ、会員の知識や経験を生かして創造的な方法で問題解決に取り組んでいる。	生きるために欠かせない「水」は、ロータリーが重点的に取り組んでいる分野です。安全な水を利用できない人がいる限り、平和はあり得ません。

価値観

「価値観」とは

組織のあらゆる行動の土台となる信念を表すのが「価値観」です。

ロータリーの価値観

これらの価値観は、ロータリーの基本理念に根づいています。これまで使われてきた抽象的な言葉に具体性を与えることにより、これらの価値観がなぜ重要なのか、どのように行動に結びつくのかを、わかりやすく伝えることができます。

価値観	価値観をどう実践するか
親睦	生涯にわたる友情をはぐくむ
高潔性	約束を守る
多様性	多様な考え方を取り入れる
奉仕とリーダーシップ	リーダーシップと職業の知識を生かして地域社会の問題に取り組む

広報　文書作成

文書を簡単に、論理的に、かつ簡潔に作成する能力は広報の基本です。PR文書作成の目的は、大体、読者の注意を捕え、情報を即時に伝え、そして、あなたの物語に表紙を付けるためメディアを招待するためです。

逆さピラミッド

ほとんどのメディア向けの新聞発表や他の文書化した情報伝達は、逆ピラミッドの様式　を使っています。つまり、トップに最も重要な関連のある情報をもってきて、徐々に重要性の少ない情報が続きます。見出しと最初の文章の２つは新聞発表の中で一番重要な部分です。それらが、編集者やレポーターを引き付け、十分迫るものでなければなりません。

５つのW

最初の節に５つのWを含めなければなりません。理想的には最初の文章に：

・誰？　あなたの物語の一番の中心は；　その物語の中心にいる人物やグループ
・何を？　あなたのクラブが関与したイベントやプログラムは
・どこで？　通りの住所なども含めて、イベントの場所
・いつ？　日時、イベントの開催日あるいは、人やプロジェクトが関与する時間
・なぜ？　イベント、人物、あるいはプロジェクトが市民に意義深い理由

そのあとの文節の中で、イベントやプロジェクトの詳細を述べるか、あるいは、中心人物やグループがどのように驚くべきことを達成したかを述べる。

新聞発表以外に

ロータリアンはメディアに対して、次のような、もっといろんな別の方法でコミュニケーションを図らねばなりません。

たとえば、

・メディアアラート*。　時間に追われている編集局は、メディアアラート（メディア警報）、即ち、新聞発表の濃縮版を高く評価しています。５つのWを箇条書きに書いた情報、近日中のイベントや注意喚起のための打って付けの情報。その警報をメディア関係者に送ります。
（*訳者注：プレスリリースのようなもの。全ての情報を提供する代わりに、もっと現実的に、その見出しのみを掲載する。）

・編集者への手紙。　新聞の最もよく読まれる欄の一つは社説であり、手紙は多くの人に届けることができます。まず始めるにあたり、ＲＩからのひな型（テンプレート）を使ってみましょう。

・Op - Eds.**

op-ed は新聞社の部員ではない個人によって書かれる意見記事です。あなたが新聞の op-ed を書く前に、地元社会で何が興味のある話題かを良く学びましょう。
（**訳者注：　op-ed《主に米国で用いられる》【新聞】　(社説の向かい側のページにある)署名入り記事[論評]のページ. [opposite editorial page の短縮形]）

・メディアキット

イベントに合わせた道具と同じように、ロータリーとあなたのクラブについての一般大衆の情報を収めた特別なフォルダーを用意しましょう。

・ファクトシート。

ファクトシートは記者が正確な背景情報をきちんと理解できるように、ロータリーのプログラムについての詳細を提供します。

4. 強いクラブを創る

ロータリーの基本理念

ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

ロータリーの目的（OBJECT OF ROTARY）

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること（RI 定款第 4 条、標準ロータリークラブ定款第 5 条)。

The Four-Way Test

ロータリアンが生活や仕事の場面で常に覚えておくべき 4 つの問い、それが「四つのテスト」です。

四つのテスト（THE FOUR-WAY TEST）

言行はこれに照らしてから

1) 真実かどうか

2) みんなに公平か

3) 行為と友情を深めるか

4) みんなのためになるかどうか

四つのテストは、1932 年にロータリアンのハーバート J. テイラー（後の国際ロータリー会長）により考案された（ロータリー章典 33.070.）*。

Avenues of Service

五大奉仕部門

私たちは、クラブ活動の土台となる 5 つの奉仕部門を通じて、地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。

･クラブ奉仕は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。

･職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。詳しくは、「職業奉仕の手引き」と「行動規範」をご参照ください。

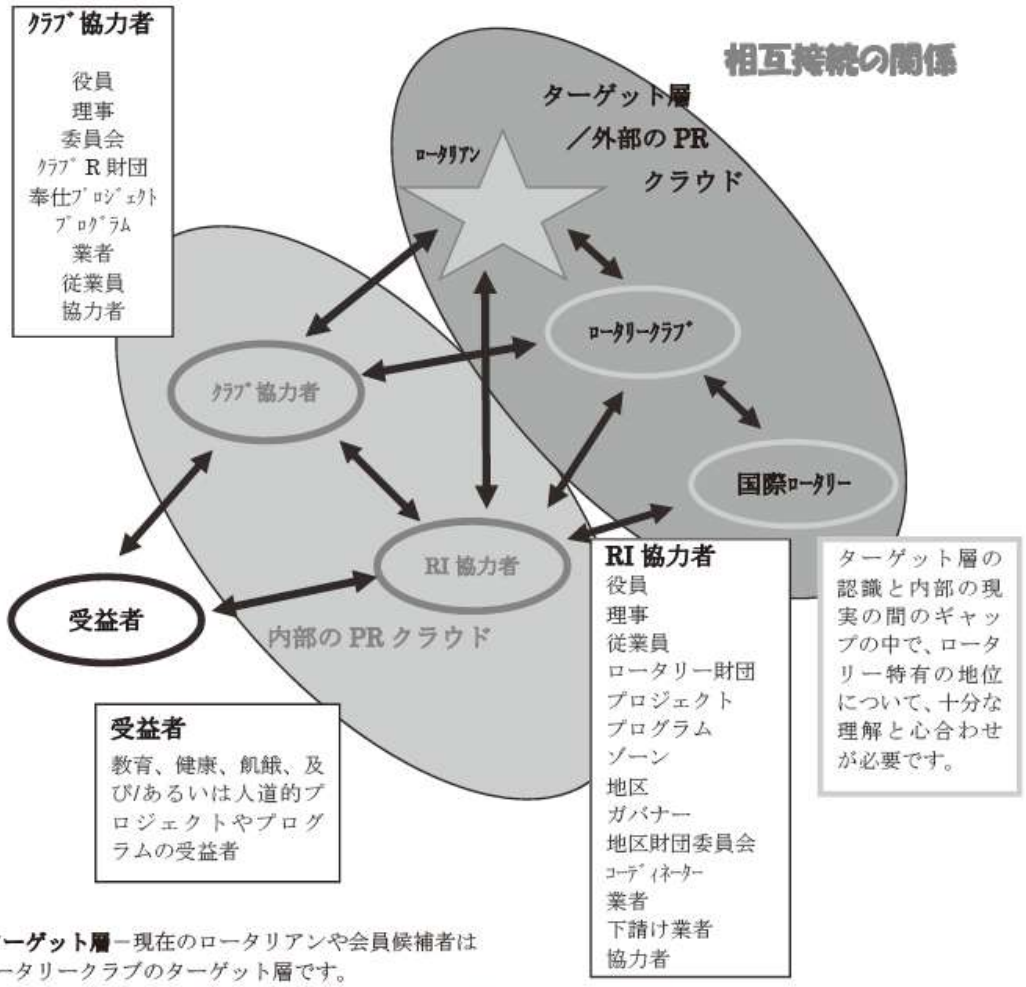
･社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。詳しくは、「活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための指針」を参照ください。

･国際奉仕は、国際的なプロジェクトで資金を提供したり、ボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。

･青少年奉仕は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

資料：強いクラブを作る①　相互に接続する関係

ロータリークラブにおけるすべての事は満足感に始まり満足感に終わります。世界中のロータリークラブの「ターゲット層」*は彼ら自身の安全、家族、仕事、顧客、地域社会、そして彼らのが住む国や世界に関心があります。
ロータリー特有の地位**はそれらの視点から構築されなければなりません。また、ロータリーの協力者を通じて伝えられなければならなりません。



***ターゲット層**－現在のロータリアンや会員候補者はロータリークラブのターゲット層です。
彼らは、自分の任意の時間が使える地域の事業と専門職、あるいは地域社会のリーダーです。クラブの会員として彼らがいなくては、組織全体が存在できません。現在のそして未来のロータリークラブは国際ロータリーの「ターゲット層」です。

****ロータリー特有の地位**—ロータリーの特有の地位、そのブランドは、思想や感覚あるいはイメージをターゲット層に伝える知的な資産です。２つのクラウドの中にある全ての集団は、ロータリー特有の地位を知り、理解し、支援する必要があります。そしてまた、ターゲット層とどのように関わるかについても理解、支援する必要があります。なぜなら、増強のターゲット層の要求や要望を理解する事は、彼らのロータリーへの信頼を築くことになるからです。

5. 規定審議会・決議審議会

2019 年規定審議会に RI 理事会から提案される制定案のうち、各ゾーンのロータリー研究会で検討するように理事会で決定された案件

制定案 19－102

実際に会って行われる会合の前に、立法案を検討する権限を与える件件

制定案 19－103

実際に会って行われる会合の前に、立法案を検討する権限を与える件件

- RI 理事会による提案
- COL に先立って立法案の投票を認める
- 賛成が 20%未満の投票しか得られない案件を除外する
- 賛成が 80%以上の案件は承認リストに入れる

制定案 19-104

規定審議会に参加する代表議員の選出プロセスを改定する件

制定案 19－105
2 年ごとに規定審議会を開催する件

- RI 理事会からの提案
- COL で投票するメンバーを半分に削減する
- COL を開催 2 年ごとに開催する
- すべての代表議員は決議審議会に参加する

制定案 19-72

ローターアクトクラブは RI への加盟を求めることができることを明確にする件

- RI 理事会からの提案
- ローターアクトクラブが RI への加盟を申請できることを明確にする。
- RI への加盟申請をするかどうかは個々のローターアクトクラブの判断に委ねられる

制定案 19-115

本質的な変更を伴わなず、RI 細則を現代化し、合理化する件。

- RI 理事会提案
- RI 細則の改訂
- 直近では、1995 年に見直された
- 本質的ではない変更に限られる
- 長さが 1/3 程度短くなる

制定案 19-116

本質的な変更を伴わなず、標準ロータリークラブ定款を現代化し、合理化する件。

- RI 理事会提案
- 標準ロータリークラブ定款の改訂
- 直近では、2001 年に見直された
- 本質的ではない変更に限られる
- 長さが 1/６程度短くなる

6. 変化をもたらす

個人別行動計画

目標：私がこの研修の結果として、今までとは違う行動しようと計画していることを一つ挙げて下さい。

_____

_____

_____

スマート（SMART)な目的：_____

S pecific　特別な：_____

M easureable 測定可能な：_____

A chievable/Agreed to　達成できる：_____

R ealistic/Result-oriented　現実的な：_____

T ime-framed　達成日が決まっている：_____

(goal attainment date)

この目標を達成するための行動ステップ：

１．_____

２．_____

３．_____

支援してくれる人、あるいは支援ツール：（目標達成のために誰が／何が支援しますか）

_____

_____

_____

_____

必要な追加的な研修や知識：

目標達成をどのようにお祝いしたら良いでしょう！_____

署名：_____　**日付：**_____

ロータリー
リーダーシップ
研究会

R L I

世界 400 地区以上の共同プロジェクト

RLI 日本支部
ファシリテーター委員会

パートⅠ・Ⅱ・Ⅲ

事前質問集

事前質問：次ページ以降の各セッションの事前質問は、主に『オンラインRLI参加者テキスト』の「セッションの話題」からピックアップしたものです。

『参加者テキスト』や『資料集』を参考に、事前に質問に対するご自身のお考えをまとめた上で、オンラインRLIセミナーにご参加ください。正解がない質問も多いので、ご自由にお考え下さい。

目 次

１日目　パートⅠ

セッション１	ロータリーにおけるリーダーシップ	２
セッション２	私のロータリー世界	３
セッション３	倫理と職業奉仕	４

２日目　パートⅠ

セッション４	ロータリー財団Ⅰ　私たちの財団	５
セッション５	会員の参加を促す	６
セッション６	奉仕プロジェクトを創造する	７

３日目　パートⅡ

セッション１	ロータリーの機会	８
セッション２	効果的なリーダーシップ戦略	９
セッション３	会員を勧誘する	10

４日目　パートⅡ

セッション４	チーム作りとクラブコミュニケーション	11
セッション５	ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕	12
セッション６	米山記念奨学事業	13

５日目　パートⅢ

セッション１	戦略計画とクラブの分析	14
セッション２	ロータリー財団Ⅲ　国際奉仕	15
セッション３	公共イメージと広報	16

６日目　パートⅢ

セッション４	強いクラブを創る	17
セッション５	規定審議会・決議審議会	18
セッション６	変化をもたらす	19

RLI パートⅠ　－　ロータリアンとしての私

セッション１

ロータリーにおけるリーダーシップ
（My Leadership In Rotary）

【事前質問】

１．ビジネスにおけるリーダーシップとロータリーにおけるリーダーシップの違いは何でしょうか？

２．良いリーダーと信じる人の特性をリストアップしてください。
その中でどの特性が重要と考えますか？　その理由は？

３．ロータリーにおけるリーダーの役割とは何でしょうか？

４．ロータリークラブにおいて、リーダーシップとフォロワーシップ（followership）はどのように発揮すべきでしょうか？

セッション２

私のロータリー世界　（My Rotary World）

【事前質問】

１．　あなたは入会前と入会後でロータリーに対する印象は変わりましたか？　どのように変わりましたか？

２．　あなたは、中学生に「ロータリークラブって何ですか？」と聞かれたらどう答えますか？

３．　ロータリーの組織としてどのようなものがありますか？
その役割は何ですか？

４．　私たちの使命は何でしょうか？　ロータリーって何ですか？

セッション３

倫理と職業奉仕　（Ethics－Vocational Service）

【事前質問】

１．あなたはどのようなことを大切にしてお仕事をされていますか？

２．「四つのテスト」は、ロータリーの職業倫理についての声明です。
「四つのテスト」はロータリーの職業奉仕をもっとも簡潔に表した言葉だと言われています。
あなた自身の職業に、四つのテストをどのように反映されていますか？

３．『参加者テキスト 資料集』８ページの「職業奉仕のアイデア」はRIが推奨する「職業奉仕」の活動事例です。あなたの「職業奉仕」観は広がりましたか？

セッション４

ロータリー財団Ｉ　私たちの財団（Our Foundation）

【事前質問】

１．ロータリー財団と聞いて何を連想しますか？

２．ロータリー財団について知っていることはどんなことでしょうか？

３．国際ロータリーとロータリー財団の違いは何でしょうか？
　　国際ロータリーがロータリー財団を持つ意義は何でしょうか？

４．ロータリー財団の使命は何でしょうか？

５．ロータリー財団への寄付には、どのようなものがあるでしょうか？
　　また、クラブでは、財団に対する寄付をどのように集めていますか？

６．自分自身の財団寄付額がどのくらいあるか知っていますか？
　　また、調べたことがありますか？

セッション５

会員の参加を促す（Engaging Members）

【事前質問】

１．あなたはロータリークラブのどこに魅力を感じて入会し、なお今も在籍しているのでしょうか？　あなたがロータリーを続ける理由は？
入会の動機と継続の理由について考えましょう。

２．あなたがクラブに入会した時のことを思い出してください。オリエンテーションや新会員研修の機会はありましたか？　新会員に対して、どのような参加を促す工夫があったらよかったと思いますか？

３．あなたのクラブは会員の参加を促すためにどのような工夫をしていますか？　例会の工夫は？　奉仕プロジェクトへ参加させる工夫は？　同好会などはありますか？　その活動は活発ですか？

４．クラブ会員の参加を促し満足度を高めるために何が必要だと思いますか？

セッション６

奉仕プロジェクトを創造する
（Creating Service Projects）

【事前質問】

1　あなたのクラブにおける、過去 3 年間の社会奉仕活動や国際奉仕活動の例を挙げてください。

1-1　それは、どのような事業ですか。

1-2　それは、いままでの事業と比較して何か創造的あるいは独創的な内容でしたか。

1-3　それは、どういった理由から始められた事業ですか。

1-4　その事業に対し、クラブの会員はどのように関わりましたか。

1-5　そのための資金はどのようにして調達しましたか。

1-6　その事業により、どのような成果が上げられましたか。

1-7　その事業は今後も継続していく予定ですか。

②　もし、「貴方が奉仕プロジェクト委員長に任命されたら…」、どのような活動を実行してみたいとお考えですか。
新規性、創造性、独創性、実行可能性、クラブ会員の協力を得られるか、資金調達の可能性、被奉仕者への影響（事業の成功性）、継続性、持続可能性などを考慮して考えてみましょう。

RLI パートⅡ　－　私たちのクラブ

セッション１

ロータリーの機会（Rotary Opportunity）

【事前質問】

１　国際ロータリー（RI）にある常設のプログラムを知っていますか？

２　RI の常設プログラムにあなたのクラブは参加していますか？
すでにいずれかのプログラムに参加した経験のあるクラブは、その意義や効果をどのように評価していますか？

３　「ロータリーの親睦活動」と「ロータリアン行動グループ」について知っていますか？

４　これらのプログラムは、私たちが希求する「ロータリーの使命」とどう関連づけられるでしょうか。

セッション２

効果的なリーダーシップ戦略
（Effective Leadership Strategies）

【事前質問】

１．混乱したロータリークラブについてのシナリオ

→『参加者テキスト 資料集』28 ペーシ 資料、シナリオ２ 参照。

a) このクラブの真の問題は、あるとすれば、何でしょうか？

b) その問題点をリーダーシップによってどのように解決できるでしょうか？

c) あなたなら、どんなリーダーシップ戦略を提案しますか？

２．なぜ、ある人が“影響力”があり、他の人にはないのでしょうか？

a) カリスマ性は大切ですか――――それはいったい何でしょうか？

b) たとえば、“ボス”、“クラブ会長”、“ボランティア”といった“肩書き”は影響力がありますか？

３．どのようなリーダーシップの特質（癖）がそのプロジェクト成功や賢明な努力の成果の足かせとなりますか？
また、どうしたらこのような特質（癖）を避けることができますか？

セッション３

会員を勧誘する（Attracting Membership）

【事前質問】

１．あなたのクラブにとって「よいロータリアン」とはどのような特性を持った人でしょうか？

２．潜在的な「よいロータリアン」を私たちの住む地域社会のどこで見つけ出すことができるでしょうか？

３．あなたのクラブの会員構成（年齢・性別・職業等）は、地元の地域社会の実態を反映していますか？　職業分類のバランスは？

４．会員候補者にとってあなたのクラブはどれくらい魅力的でしょうか？
また、それを阻害するものがあるとしたら、それは何で、どうやってそれを解決しますか？

５．会員勧誘の委員会活動やそのほかの具体的な方法はありますか？
またその委員会などの活動状況は活発ですか？

セッション４

チーム作りとクラブコミュニケーション
（Team Building & Club Communication）

【事前質問】

１．（ロータリーに限らず）あなたが考える最高の（理想的な）チームとはどんなチームですか？

２．あなたのクラブの委員会編成で問題点や課題は何ですか？

→『参加者テキスト 資料集』34 ページ：クラブの委員会構成例 参照

３．あなたのクラブにおける、効果的なコミュニケーションに対する障壁や問題は何でしょうか？

４．あなたのクラブの、効果的なコミュニケーションを可能にする仕組みや工夫を紹介してください。

→『参加者テキスト 資料集』36 ページ：元気なクラブとなるためのステップ 参照

セッション５

ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕
（Targeted Service）

【事前質問】

１．ロータリー財団の使命と標語を確認しておきましょう。

２．ロータリー財団の補助金モデルはどのような種類がありますか？
また、それぞれの補助金はどのように使われるのでしょうか？

３．「6 つの重点分野」とは、何でしょうか？　また、各分野はどのような内容でしょうか？　なぜ６つの重点分野が重要なのでしょうか？

４．新しい補助金モデルによって、どのようにロータリアンに財団への寄付やプログラムへの参加を促すことができるでしょうか？

５．あなたのクラブは、補助金モデルを使ってどんな奉仕プログラムを実施していますか？　また、それは、クラブの公共イメージを高めていくと思いますか？

セッション６

米山記念奨学事業
(Rotary Yoneyama Memorial Foundation)

【事前質問】

１．この事業の特徴点には、次のものがあります。それぞれの内容を考えましょう。

1-1　指定校推薦制度　　1-2　世話クラブ・カウンセラー制度
1-3　寄付金に応じた表彰制度　　1-4　寄付額に対する税制上の優遇制度
1-5　学友会

２．この事業への寄付には、各クラブで定めた定期的な寄付（普通寄付金）と個人・法人・クラブから集められる任意的寄付（特別寄付金）があります。

2-1 それぞれの寄付額の今年度・当地区の1人あたりの目標額をご存じですか。
2-2 昨年度、あなたのクラブの普通寄付金額は年１人あたりいくらでしたか。
2-3 昨年度、あなたのクラブの特別寄付金額は年1人あたり平均いくらでしたか。
2-4 昨年度、あなたのクラブの会員のうち、特別寄付をした人は何％いましたか。
2-5　特別寄付をしなかった人に対し、寄付の重要性をどのように説明しますか。

３．現在、あなたのクラブには米山奨学生がいますか。これまでに何人の奨学生を世話した経験がありますか。世話クラブの経験がないクラブは、どのような理由からだと思いますか。

４．この事業の意義（留学生にとって、日本にとって、国際社会にとって、ロータリアンにとって、クラブにとって）について考えてみましょう。

RLI パートⅢ　－　私のロータリーの旅

セッション１

戦略計画とクラブの分析
（Strategic Planning & Analysis）

【事前質問】

１．あなたの地域において、あなたのロータリークラブの強み、個性、独自性はどのようなものだとお考えですか？

→『参加者テキスト　資料集』55 ページの資料「戦略計画立案ワークシート」にクラブの強みと弱みを記入しておいてください。）

２．あなたのクラブは、将来像やビジョンをお持ちでしょうか？

３．あなたのクラブの問題点や課題をお聞かせください。

→『参加者テキスト　資料集』58～65 ページの資料「ロータリークラブ自己評価表」をチェックして分析した結果を踏まえてください。

４、国際ロータリーには戦略計画があります。その戦略計画はあなたのクラブの将来像にどのように活かすことができるでしょうか？

セッション２

ロータリー財団Ⅲ　国際奉仕（International Service）

【セッションの話題】

１．国際奉仕とはどのようなものでしょうか？
ロータリーの目的の第４項目について感じることをまとめておいてください

２．あなたのクラブで印象に残る国際奉仕事業は何ですか？

３．国際奉仕の機会を促進させるために、一人のロータリアンとして何ができますか？
あなたの職業上のスキルを国際奉仕にどのように役立たせることができるでしょうか？

４．ロータリー財団の支援を受けて実施する国際奉仕を促進させるために、クラブは何ができますか？　また、どのように探しますか？

５．国際奉仕プロジェクトのアイデアを考えましょう。

セッション３

公共イメージと広報
（Public Image & Public Relations）

【事前質問】

１．多くの地域社会では、多くの人がロータリークラブの存在を知りません。あなたの周りでは“ロータリー”はどのように認知されていますか？

２．あなたは、自分のクラブ、そしてそこに参加している自分に対し、地域でどのようなイメージ（公共イメージ）を持ってもらいたいと思っていますか？

３．クラブやあなた自身がどのようにすれば、あなたのクラブの公共イメージは高まると思いますか？

４．あなたがクラブの公共イメージ（広報）委員長なら、どのようなイメージアップ戦略を企画しますか

セッション４

強いクラブを創る（Building A Strong Club）

【事前質問】

１．下記の人々は、ロータリークラブに対してどのような期待を持っているでしょうか？

１）現会員　２）新会員　３）会員候補者（潜在的メンバー）
４）地域社会　５）会員の事業関係者　６）青少年　７）RI

２．あなたの住む地域で求められる奉仕を考えてみてください。

３．ロータリークラブに対する期待に応え、ロータリーの約束を果たすため、クラブをどのようにしてより強くすることができるでしょうか？

セッション５

規定審議会・決議審議会

（The Council on Legislation &
The Council on Resolutions）

【事前質問】

１．もしあなたが、ロータリーに関して何かを変えるとしたら、何をかえようと思いますか？　具体的に、そしてその理由は？

２．あなたの提案でどのようにロータリーは変わりますか？

３．審議会の仕組みを理解しましょう

a.　規定審議会と決議審議会の違いとは？
規定審議会で変えられることは？

b.　審議会の提案（立法案）は２種類。

c.　審議会には、誰が提案できるのか？

d．　規定審議会・決議審議会のサイクルと手続き。

セッション６

変化をもたらす（Making Difference）

【事前質問】＊本セッションは、RLI セミナー全体の振り返りを行います。
セッションの話題は、下記のような問いで進行しますので
頭に入れておいてください。

１．あなた個人として、RLI のパートⅠからパートⅢまでのどのセッション
が一番心に残りましたか？　また、それはなぜですか？

２．それぞれのセッションの目標に到達するには、どのような討議・資料が
一番効果的でしたか？　それはなぜでしょうか？

３．あなたはRLIの経験から何を学びましたか？
RLIに参加してあなた自身に何か変化がありましたか？

４．学んだことを社会生活や仕事にどう活かせるでしょうか？

＊事前質問：各セッションの事前質問は、主に『オンラインRLI参加者テキスト』の「セッションの話題」からピックアップしたものです。
『参加者テキスト』や『資料集』を参考にして、事前に質問に対するご自身のお考えをまとめた上で、オンラインRLIセミナーにご参加ください。正解がない質問も多いので、ご自由にお考え下さい。

オンライン RLI
運用マニュアル
（概要編）

RLI 日本支部

2020.7.1

この「オンライン RLI 運用マニュアル 概要編」は、各地区の RLI 運営委員会がオンライン RLI を実施する際の手引きとして作成しました。　RLI 日本支部

1．オンライン RLI について

2020 年 4 月の RI 理事会で、本年末までロータリーのすべての会議、会合をオンラインで実施することを強く奨励すると決定されました。それを受けて、RLI 日本支部では、オンラインで行う RLI 実施を望む地区にはその実施のための資料を提供することといたしました。

なお、RI 理事会の議事録では Virtual という言葉が使われていますが、RI 日本語翻訳部門が翻訳するときはオンラインと訳しています。日本支部では Virtual で行う RLI を**「オンライン RLI」**と呼ぶことにします。一方、従来の 1 つの会場に集合して実施する RLI を**「リアル RLI」**と呼び区別します。

2．オンライン RLI を運営する組織

地区の RLI 運営委員会が、リアル RLI と同様にオンライン RLI を企画し実行します。（日本支部は、リアル RLI またはオンライン RLI のいずれかを地区が選択することを認めます）

ただし、オンライン RLI を実施する場合は、RLI 運営委員会の中にオンライン会議ツールのセッティングや操作を担当する役職**「テクニカルコーディネーター（TC）」**を新設する必要があります。

3．オンライン RLI のツール

Zoom、Webex、MicroSoft Teams、Google Meet など、様々な WEB 会議ツールがありますが、日本支部では Zoom ミーティングを使ったオンライン RLI を推奨します。

地区は少なくとも１つのアカウント（有料登録）を取得する必要があります。以下 Zoom ミーティングによるオンライン RLI のやり方を解説します。

4．オンライン RLI の構成と時間

オンライン RLI の構成は、基本的にはリアル RLI に準じますが、本マニュアルで解説するのは、Part Ⅰ、Part Ⅱ、Part Ⅲの各コースの運営方法です。

各コースには 6 つのセッションが有り、1 つのセッションを 1 人の DL が担当し 50 分で終了します。（リアル RLI では各コース約 7 時間を要す）

オンライン RLI では、長時間かけると参加者の注意力が持続しないことが多いので、１コースを３時間＋α（全体会議、連絡など）とし、各パートコースを２日間かけて実施することを推奨します。従って、リアル RLI ではパートⅠ～パートⅢまで３日間で終了したセミナーが、オンライン RLI では６日間を要することになります。

【オンライン RLI プログラム 例】

＜パートⅠ＞

１日目：①全体会議（開会式：役員挨拶、ガイダンス、諸事お知らせ）
（30 分以内）
②**パートⅠセッション１～３**（各セッション 50 分、休憩 10 分）
③セッション終了時の全体会議（任意）
２日目：①全体会議（任意：役員挨拶、諸事お知らせ等）（15 分以内）
②**パートⅠセッション４～６**（各セッション 50 分、休憩 10 分）
③終了時全体会議（諸事お知らせ、閉会挨拶）（20 分以内）

＜パートⅡ＞

３日目：①全体会議（開会式：役員挨拶、ガイダンス、諸事お知らせ）
（30 分以内）
②**パートⅡセッション１～３**（各セッション 50 分、休憩 10 分）
③セッション終了時の全体会議（任意）
４日目：①全体会議（任意：役員挨拶、諸事お知らせ等）（15 分以内）
②**パートⅡセッション４～６**（各セッション 50 分、休憩 10 分）
③終了時全体会議（諸事お知らせ、閉会挨拶）（20 分以内）

＜パートⅢ＞

５日目：①全体会議（開会式：役員挨拶、ガイダンス、諸事お知らせ）
（30 分以内）
②**パートⅢセッション１～３**（各セッション 50 分、休憩 10 分）
③セッション終了時の全体会議（任意）
６日目：①全体会議（任意：役員挨拶、諸事お知らせ等）（15 分以内）
②**パートⅢセッション４～６**（各セッション 50 分、休憩 10 分）
③終了時全体会議（諸事お知らせ、閉会挨拶）（20 分以内）

＊１日目、２日目は同じパートⅠのコースなので、できるだけ間隔を置かずに実施することが望ましい。例えば１日目・２日目を土曜日・日曜日の連続で実施する、あるいは 1～2 週間の間隔で実施する。（パートⅡ、パートⅢのコースも同様）

5．オンライン RLI セミナーの準備

① 地区の RLI 運営委員会がオンライン RLI セミナーの案内を出し、参加希望者の名簿を作成します。

② 参加者をグループ分けして参加者のグループ編成表を作成します。オンライン RLI では Part Ⅰ～Ⅲまで６回（6 日間）行いますので、毎回グループ編成を変え参加者が相互に知り合う機会を設けるようにします。
（参加者のグループは、毎回固定した小会議室に TC が割り当てます）

③ ディスカッションリーダー（DL）は、担当セッションごとにチーム編成します。（1 セッション３名以上の DL を確保する）

④ テクニカルコーディネーター（TC）は、事前に参加者と DL を小会議室（ブレークアウトルーム）に割り振り、当日は大会議室（全体会議）と小会議室（セッション）の進行を管理します。

⑤ TC は、ZOOM ミーティング未経験の参加者のために、開催日の 1 週間前までにテストミーティングを実施することを奨励します。

⑥ 参加者・DL は周囲の雑音やハウリングを防ぐため、マイク付きヘッドフォンの準備と着用を奨励します。

⑦ RLI 運営委員会は開催当日の案内を参加者、DL、関係者）に出します。
案内には、・開催日時（TC は参加者の Zoom の環境設定時間を考慮し開会の 30 分前に会議室を開けます）
・ミーティングの URL
・三―ティン ID
・ミーティングのパスワード　を含みます。

⑧ 開催案内とは別に参加者には、開催日の少なくとも２週間前までに、「オンライン RLI 参加者テキスト」（→資料一覧１）、「参加者テキスト資料集」（→資料一覧２）、「事前質問集」（→資料一覧３）、そして、「参加評価書式」、「参加者アンケート」等、資料一式のデータを送付（メール添付やデータ便等で）します。

⑨ リアル RLI と同様、パートⅠコース開催の少なくとも 1 か月前までに DL 養成セミナーを（できればオンラインで）開催します。別途オンライン RLI 特有の技術の練習のための ZOOM テストミーティング（研修会）を行うことも推奨します。（→５．オンライン運用マニュアル（DL 編）参照）

６．オンライン RLI セミナー当日の流れ

① 当日参加者は、まず大会議室に入ります。セミナー開始の 10 分前までに ZOOM ミーティングにアクセスしてください。

＊参加者は、入室から全体会議（②）が終了するまでに、自分の「名前の変更」を行います。「名前の変更」は自分の画面の右上にポイントを移動させると「･･･」の表示が出てきます。「･･･」を左クリックし、「名前の

変更」の項をクリックして開き、「**氏名□クラブ名**（RC は省略）□**ロータリー歴**」を入力します。画面の左下に変更された「名前」が表示されます。（入力例：山田太郎　東京　12 年）

② 大会議室では全体会議が行われます（30 分）。全体会議が終わると、参加者は小会議室（ブレークアウトルーム）に割り振られます。全体会議が終了後、セッション開始までに 10 分休憩時間をとります。

③ 全体会議終了後の休憩時間に、テクニカルコーディネーター（TC）は、事前にグループ分けした参加者と各セッションの担当 DL を小会議室（ブレークアウトルーム）に割り振ります。

＊参加者は 1 日に３つのセッションを受講しますが、小会議室は固定されています。DL はセッション終了ごとに、TC によって該当の小会議室に割り振られます。

④ １セッションの時間は、リアル RLI と同様 50 分とします。DL がセッションの進行を務めます。（→『オンライン RLI 運用マニュアル（ディスカッションリーダー編）

⑤ 3 時限のセッション終了後、参加者と DL は、TC によって大会議室に集合します。

7．参加者のグループ編成要領

① オンライン RLI の各セッション（小会議室）の参加者数は 8～12 人程度を推奨します。参加者の人数によって小会議室（ブレークアウトルーム）は３部屋、６部屋、９部屋の３通りが想定されます。

② 参加者数：24 人～36 人の場合→小会議室（ルーム）３部屋

＜編成例＞

	ルーム A	ルーム B	ルーム C
第１時限	セッション１	セッション２	セッション３
第２時限	セッション２	セッション３	セッション１
第３時限	セッション３	セッション１	セッション２

③ 参加者数：48 人～72 人の場合→小会議室（ルーム）６部屋

＜編成例＞

	ルーム A	ルーム B	ルーム C	ルーム D	ルーム E	ルーム F
第１時限	S1	S1	S2	S2	S3	S3
第２時限	S2	S2	S3	S3	S1	S1
第３時限	S3	S3	S1	S1	S2	S2

④ 参加者数：72 人～108 人の場合→小会議室（ルーム）９部屋
＜編成例＞　省略

⑤ 参加者数が 23 人以下、または 37～47 人の場合は 1 部屋最少６人～最大 15 人の範囲で調整し、３部屋か６部屋に振り分ける。

以上

日本支部では、今後オンライン RLI の各地区での好事例を共有してゆくことを考えています。情報提供にご協力をよろしくお願い申し上げます。

＊オンライン RLI 資料一覧

1．オンライン RLI 参加者テキスト　：カリキュラム委員会 編

2．オンライン RLI 参加者テキスト 資料集　：カリキュラム委員会 編

3．事前質問集（パートⅠ～パートⅢ）　：ファシリテーター委員会 編

4．オンライン RLI 運用マニュアル（概要編）　：RLI 日本支部

5．オンライン RLI 運用マニュアル（ディスカッションリーダー編）
：ファシリテーター委員会

6．セッションの進め方 パートⅠ サンプル　：ファシリテーター委員会

7．セッションの進め方 パートⅡ サンプル　：ファシリテーター委員会

8．セッションの進め方 パートⅢ サンプル　：ファシリテーター委員会

9．パートⅠ ガイダンス サンプル　：ファシリテーター委員会

＊資料１～３は、オンライン RLI の参加者に事前に配布するためのものです。
＊資料４は、地区 RLI 運営委員会が、オンライン RLI を実施する際に必要な準備と運営方法を解説しています。
＊資料５～８は、ディスカッションリーダー（DL）のための参考資料です。
＊資料９は、パートⅠ開会の全体会議で使用できる参加者に対するガイダンスのサンプルです。

＊オンライン RLI の資料は、すべて PDF で提供します。ワード文書やパワーポイントでの提供を希望する地区は、日本支部事務局までお問い合わせください。（→ RLI 日本支部のウエブサイト https://rli-japan.org/ の参加地区専用の「お問合せフォーム」にアクセス）

オンライン RLI
運用マニュアル
（ディスカッションリーダー編）

RLI 日本支部
ファシリテーター委員会
2020.7.1

この「オンライン RLI 運用マニュアル ディスカッションリーダー編」は、オンライン RLI を実施する際に、ディスカッションリーダー（DL）の手引きとなるよう作成しました。　　RLI 日本支部　ファシリテーター委員会

はじめに　オンライン RLI について

2020 年 4 月の RI 理事会で、本年末までロータリーのすべての会議、会合をオンラインで実施することを強く奨励すると決議されました。それを受けて、RLI 日本支部ではオンラインで行う RLI 実施を望む地区にはその実施のための資料を提供することといたしました。

なお、RI 理事会の議事録では Virtual という言葉が使われていますが、RI 日本語翻訳部門が翻訳するときはオンラインと訳しています。日本支部では Virtual で行う RLI を**「オンライン RLI」**と呼ぶことにします。一方、従来の 1 つの会場に集合して実施する RLI を**「リアル RLI」**と呼び区別します。オンライン RLI の使用ツールは「ZOOM ミーティング」です。

1．ディスカッションリーダー（DL）の選定

① オンライン RLI の DL はリアル RLI の DL 経験者から選定することが望ましいと考えます。ZOOM ミーティングに必要な PC 環境を有することも選定基準としてください。

② RLI 運営委員会は、DL を担当セッションごとにチーム編成します。
（1 チーム最低 3 人以上の DL を配置すること）

2．ディスカッションリーダー（DL）が事前に準備すべきこと

① オンライン RLI の「ディスカッションリーダー養成セミナー」は、ZOOM で開催することを推奨します。あるいは、DL 養成セミナーとは別に、DL のための ZOOM ミーティングのテスト（研修会）を、テクニカル・コーディネーター（TC）の指導の下、事前に行うとよいでしょう。
例）•「画面の共有」の練習：TC が「設定」で「誰でも共有できる」にしておき、DL が各人で実際やってみる。
•「ブレークアウトルーム」（小会議室：セッション会場）への割り振り

② DL のチームで、各セッションの進め方についてすり合わせをし、基本的な進め方のシナリオを作成する。

【オンライン RLI「セッションの進め方」（シナリオ）作成要領 例】

＊参加者は割り当てられたブレークアウトルーム（小会議室）で待機している。
ディスカッションリーダー（DL）は５分前までに該当ルームに入室（TC が設定）

１．DL・参加者自己紹介 （所属クラブ、役職等簡潔に） 1～10 分
＊参加者の自己紹介は、毎回１時限のみとする。

２．本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認 １分

３．「セッションの目標」の確認 ３分
＊目標についての参加者から疑問点があれば質問を受ける

４．討議 導入～展開 30～39 分
＊セッションの話題（DL からの発問）に基づいて進行する
＊ビデオ資料、セッションのテキスト資料を適宜活用する
＊討議が本題からはずれたり議論が煮詰まったりしたら、目標を確認する

５．まとめ ３分
＊討議の感想、目標への到達度の確認、参加者への感謝・激励

６．参加者評価書式記入 ３分

＊DL は終了時間になったら、ブレークアウトルーム（小会議室）を退室する

③ パートⅠ～パートⅢの具体的な各セッションの進め方のサンプルが資料として提供されますので参考にしてください。（→資料一覧）

④ 当日セッションの進行中に「画面の共有」に挿入する「参加者テキスト 資料集」（→資料一覧）や「画面共有ビデオ」を決めておきます。
「画面共有ビデオ」は下記の WEB サイトページ（Ctrl キーを押しながらクリック）にありますので、事前にダウンロードしておくとよいでしょう。

「画面の共有」挿入ビデオ 例
（カリキュラム委員会 編）

パートⅠ

セッション４ 財団Ⅰ 私たちの財団
TRF ビデオ：皆様のおかげで https://youtu.be/D3b2GXJPkbk

セッション５ 会員の参加を促す
RI ビデオ:ロータリーへようこそ https://youtu.be/or0DgVLf0vw

セッション６　奉仕プロジェクトを創造する
RI ビデオ：「可能性を現実に」（世界を変える行動人）
https://youtu.be/ctwJnzyHNA8

パートⅡ

セッション１　ロータリーの機会
RI ビデオ：ロータリー親睦活動　https://youtu.be/VnKutoBsg_o

セッション３　会員を勧誘する
RI ﾋﾞﾃﾞｵ：ﾛｰﾀﾘｰへようこそ　https://youtu.be/or0DgVLf0vw

セッション５　ロータリー米山記念奨学会
ビデオ：世界へ届け 米山の懸け橋
https://youtu.be/uWpPC_0iLTY

セッション６　ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕
TRF ビデオ：人道的奉仕　https://youtu.be/D3b2GXJPkbk
地域経済を支えるロータリー、水と衛生を改善するロータリーなど
https://youtu.be/JMd7X-ZIYhY
https://youtu.be/H8GJvdw77g4

パートⅢ

セッション２　ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕
RI ビデオ：つながりをもたらす
https://youtu.be/zW4TJ2Ch_d8
TRF ビデオ：母子の健康を支えるロータリー
https://youtu.be/c2BF6dlTJlY
TRF ビデオ：疾病と闘うロータリー
https://youtu.be/d48OKqWNh2s

セッション３　公共イメージと広報
RI ビデオ：未来は今つくられる（ロータリーとは）
https://youtu.be/FbU6SWusxic

セッション５　規定審議会・決議審議会
RI ビデオ：規定審議会　https://youtu.be/_ZRluU9WNT0

その他
ロータリーの歴史　https://youtu.be/OEgLVo5-GPI

3．当日のディスカッションリーダー（DL）の動き

① 開始の全体会議（開会式）の遅くとも 10 分前には ZOOM ミーティングに入場してください。

② 全体会議終了後、DL はテクニカルコーディネーター（TC）によって所定の小会議室（ブレークアウトルーム）に割り振られます。

③ セッションが始まったら、事前に準備した「セッションの進め方」（シナリオ）に従って進行しましょう。

④ ZOOM の「画面の共有」の機能を必要に応じて使用してください。事前に準備した資料を「画面を共有」に挿入します。共有された図や写真・動画の感想や意見を、参加者に問うこともできます。動画（ビデオ）の共有を多用すると、大量のデータが通信回線を流れるので画面がフリーズするようなトラブルが発生することもあるので、一度、予行演習をしてから本番に臨んで頂くことをお勧めします。

⑤ 参加者の画面の左下に参加者の「氏名　クラブ名　ロータリー歴（年数）」が表示されていますので、質問を指名するときの参考にしてください。リアル RLI の机上の名札（三角札）と同じです。もし、表示されていなければ参加者に注意を促します。（→「運用マニュアル（概要編）３ページ参照」

⑥ リアル RLI と違い、参加者の表情が読み取り難いので、参加者の体の動き等に注意を向けましょう。DL は、表情や動作、声の抑揚等、いつもよりメリハリをつけるとよいでしょう。

⑦ 一つのセッションには、できれば２名の DL が担当し、一人が進行役（ファシリテーション）、もう一人が「画面の共有」や時間管理を担当するとよいでしょう。DL の人数の関係で、一人でセッション対応することも考えられますが、終了時間の時間管理は遅れないよう注意してください。

⑧ オンラインセミナーが終了し、参加者がすべて退出した後、小会議室（ブレークアウトルーム）を使って各セッションの DL チームで次回に向けて簡単な（30 分以内）反省会を行うことをお勧めします。

以上

＊オンライン RLI 資料一覧

1．オンライン RLI 参加者テキスト　：カリキュラム委員会 編

2．オンライン RLI 参加者テキスト 資料集　：カリキュラム委員会 編

3．事前質問集（パートⅠ～パートⅢ）　：ファシリテーター委員会 編

4．オンライン RLI 運用マニュアル（概要編）　：RLI 日本支部

5．オンライン RLI 運用マニュアル（ディスカッションリーダー編）
：ファシリテーター委員会

6．セッションの進め方 パートⅠ サンプル　：ファシリテーター委員会

7．セッションの進め方 パートⅡ サンプル　：ファシリテーター委員会

8．セッションの進め方 パートⅢ サンプル　：ファシリテーター委員会

9．パートⅠ ガイダンス サンプル　：ファシリテーター委員会

＊資料１～３は、オンライン RLI の参加者に事前に配布するためのものです。
＊資料４は、地区 RLI 運営委員会が、オンライン RLI を実施する際に必要な準備と運営方法を解説しています。
＊資料５～８は、ディスカッションリーダー（DL）のための参考資料です。
＊資料９は、パートⅠ開会の全体会議で使用できる参加者に対するガイダンスのサンプルです。

＊オンライン RLI の資料は、すべて PDF で提供します。ワード文書やパワーポイントでの提供を希望する地区は、日本支部事務局までお問い合わせください。（→ RLI 日本支部のウエブサイト https://rli-japan.org/ の参加地区専用の「お問合せフォーム」にアクセス）

オンライン RLI
セッションの進め方
パート I

サンプル

＊パート I サンプルでは、DL の皆様が、参加者への「事前質問集」の項目を中心に発問して進行する例を示しています。
「参加者テキスト 資料集」や「ビデオ」を適宜「画面の共有」に挿入したり引用したりして、セッションを展開しましょう。

RLI 日本支部　ファシリテーター委員会

担当：本田 博己（RID2840 PDG）

1.ロータリーにおけるリーダーシップ

1．自己紹介（ファシリテーターのみの場合）　1分以内

2．　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　1分以内

3．セッションの目標の確認　3分

□ リーダーシップの特性を探求する。
□ ボランティア団体や市民団体におけるモチベーションの高め方を議論する。
□ あなた自身のリーダーシップのスタイルを考察する。

4．セッション　約40分

（1）ビジネスにおけるリーダーシップとロータリーにおけるリーダーシップの違いは何でしょうか？

（2）良いリーダーと信じる人の特性をリストアップしてください。その中でどの特性が重要と考えますか？　その理由は？

＊参加者自身の日頃のリーダーシップの発揮の仕方が、「参加者テキスト 資料集」2 ページのリーダーシップ分類のどれに当てはまるのか考えてもらう。

（3）ロータリーにおけるリーダーの役割とは何でしょうか？

（4）ロータリークラブにおいて、リーダーシップとフォロワーシップ（followership）はどのように発揮すべきでしょうか？

5．まとめ　3分

ロータリーはリーダーの集まりですが、クラブは、権限を持った固定したトップが指示・命令する組織ではありません。会員の平等・対等な関係が前提となります。
ロータリーでは、会員全員が必要に応じてリーダーシップを発揮するよう期待されています！

2.私のロータリー世界

1．自己紹介（ファシリテーターのみの場合）　1分以内

2．　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　1分以内

3．セッションの目標の確認　3分

□ ロータリーの目的について議論する。
□ ロータリーの組織構造について理解する。
□ ロータリーの組織は、ロータリアンとしての私をどのように支援してくれているかを述べる。

4．セッション　約40分

（1）あなたは入会前と入会後でロータリーに対する印象は変わりましたか？　どのように変わりましたか？

（2）あなたは、中学生に「ロータリークラブって何ですか？」と聞かれたらどう答えますか？

＊この問いは難問です。ロータリーを知らない人にもわかりやすく、簡潔な表現を考えてもらいます。

（3）ロータリーの組織としてどのようなものがありますか？
その役割は何ですか？

＊「参加者テキスト 資料集」4ページの、逆ピラミッドの組織図を見た感想を出し合います。

（4）私たちの使命は何でしょうか？　ロータリーって何ですか？

＊「参加者テキスト 資料集」3～7ページの、「ロータリーの目的」や「ロータリーの戦略計画」などを参考に話し合います。

5．まとめ　3分

ロータリーは、私たちロータリアン、私たちのクラブから始まります。
そして、世界的ネットワークとしてのロータリーには世界に120万人の奉仕を志す仲間がいます。
地域的課題の解決から世界的課題の解決まで、ロータリーの世界は大きく広がります。

3.倫理と職業奉仕

1．自己紹介（ファシリテーターのみの場合）　1分以内

2．　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　1分以内

3．セッションの目標の確認　3分

□ロータリーの指導原則に含まれる倫理観を学ぶ。
□「四つのテスト」の意義を話し合う。
□クラブにおける「職業奉仕」の実践について話し合う。

4．セッション　約40分

（1）あなたはどのようなことを大切にしてお仕事をされていますか？

＊参加者全員に、それぞれの職業観を聞いてみましょう。

（2）「四つのテスト」は、ロータリーの職業倫理についての声明です。「四つのテスト」はロータリーの職業奉仕をもっとも簡潔に表した言葉だと言われています。
あなた自身の職業に、四つのテストをどのように反映されていますか？

＊「参加者テキスト 資料集」8ページ参照

（3）『参加者テキスト 資料集』9ページの「職業奉仕のアイディア」はRIが推奨する「職業奉仕」の活動事例です。あなたの「職業奉仕」観は広がりましたか？

＊「参加者テキスト 資料集」9ページ参照

5．まとめ　3分

ロータリーは、その歴史の初期の頃から、職業倫理（Vocational Ethics）を大切にしてきました。「中核的価値観」の中では、「高潔性」（Integrity）がそれに当たります。
自らの生活および職業、そしてクラブの活動の中に「職業奉仕」を実践する機会は無数に存在します。

４.財団Ⅰ 私たちの財団

１．自己紹介（ファシリテーターのみの場合）　　１分以内

２．　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　１分以内

３．セッションの目標の確認　　3 分

□ ロータリー財団の基本的目標、プログラム、および資金調達について理解する
□ クラブにとってのロータリー財団の重要性と価値について議論する
□ 各ロータリアンが TRF へ寄付をする必要性を考える

４．セッション　　約 40 分

＊セッションの冒頭、TRF ビデオ「皆様のおかげで」（1 分 40 秒）を
「画面の共有」に挿入し、視聴してもらう。

（１）ロータリー財団と聞いて何を連想しますか？

（２）ロータリー財団について知っていることはどんなことでしょうか？

（３）国際ロータリーとロータリー財団の違いは何でしょうか？
国際ロータリーがロータリー財団を持つ意義は何でしょうか？

（４）ロータリー財団の使命は何でしょうか？

（５）ロータリー財団への寄付には、どのようなものがあるでしょうか？
また、クラブでは、財団に対する寄付をどのように集めていますか？

＊「参加者テキスト 資料集」10 ページ 参照

（６）自分自身の財団寄付額がどのくらいあるか知っていますか？
また、調べたことがありますか？

５．まとめ　　3 分

国際ロータリーがロータリー財団を持つ意義についてご理解いただけたでしょうか。ロータリー財団については、パートⅡ、パートⅢでも、さらに学びます。

5.会員の参加を促す

1．自己紹介（ファシリテーターのみの場合）　1分以内

2．　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　1分以内

3．セッションの目標の確認　3分

□ クラブ会員にロータリー活動への参加を促すことの価値を確認する。
□ 会員をクラブ活動に巻き込み、ロータリークラブを強化するための戦略を議論する。
□ 会員の参加を促すための方法を探る

4．セッション　約40分

＊セッションの冒頭、RIビデオ「ロータリーへようこそ」（約1分）を「画面の共有」に挿入し、視聴してもらう。

（1）あなたはロータリークラブのどこに魅力を感じて入会し、なお今も在籍しているのでしょうか？　あなたがロータリーを続ける理由は？入会の動機と継続の理由について考えましょう。

（2）あなたがクラブに入会した時のことを思い出してください。オリエンテーションや新会員研修の機会はありましたか？　新会員に対して、どのような参加を促す工夫があったらよかったと思いますか？

（3）あなたのクラブは会員の参加を促すためにどのような工夫をしていますか？　例会の工夫は？　奉仕プロジェクトへ参加させる工夫は？同好会などはありますか？　その活動は活発ですか？

（4）クラブ会員の参加を促し満足度を高めるために何が必要だと思いますか？　＊「参加者テキスト 資料集」17ページ 参照

5．まとめ　3分

私たち一人一人が、ロータリーに積極的に参加する（Engage）ことがクラブ、そしてロータリーを強くします。「会員満足度アンケート」などを活用してクラブ会員の参加意識を継続的に調査することをお勧めします。

6.奉仕プロジェクトを創造する

1．自己紹介（ファシリテーターのみの場合）　1分以内

2．　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　1分以内

3．セッションの目標の確認　3分

□ あなたのクラブの奉仕プロジェクトを見極め、立案し、組織し、要件を満たし、実行することを学ぶ。
□ 奉仕プロジェクトのための事業計画を開発する
□ 奉仕プロジェクトの成功を評価する方法を学ぶ

4．セッション　約40分

＊セッションの冒頭、RIビデオ「可能性を現実に」（1分30秒）を「画面の共有」に挿入し、視聴してもらう。

（1）あなたのクラブにおける、過去3年間の社会奉仕活動や国際奉仕活動の例を挙げてください。

1-1　それは、どのような事業ですか。
1-2　それは、いままでの事業と比較して何か創造的あるいは独創的な内容でしたか。
1-3　それは、どういった理由から始められた事業ですか。
1-4　その事業に対し、クラブの会員はどのように関わりましたか。
1-5　そのための資金はどのようにして調達しましたか。
1-6　その事業により、どのような成果が上げられましたか。
1-7　その事業は今後も継続していく予定ですか。

＊上記の質問に対する答えを意識することで、クラブの奉仕プロジェクトの全体像や課題を整理することができます。

（2）もし、「あなたが奉仕プロジェクト委員長に任命されたら…」、どのような活動を実行してみたいとお考えですか。

新規性、創造性、独創性、実行可能性、クラブ会員の協力を得られるか、資金調達の可能性、被奉仕者への影響（事業の成功性）、継続性、持続可能性などを考慮して考えてみましょう。

5．まとめ　3分

奉仕プロジェクトを開発するのは、ロータリークラブ会員であることで体験できる醍醐味の一つです。一部の限られた会員だけで開発を進める

より大勢の会員に参加してもらう方がロータリーらしい取り組みです。

オンライン RLI
セッションの進め方
パートⅡ

サンプル

RLI 日本支部　ファシリテーター委員会

担当：髙野 孫左エ門（RID2620 PDG）

1.ロータリーの機会

１．　自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　１分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　１分以内

３ セッションの目標の確認　　00:02~00:05

□国際ロータリーのプログラムのあらまし
□世界ネットワーク活動プログラムがもたらすメリット
□国際ロータリーのプログラムや世界ネットワークグループに参加することで
あなたやあなたのクラブにはどのような変化がうまれるでしょうか
□それらに参加することはロータリーの使命とどのように適合するのでしょうか

４　セッション　　00:05~00:40

国際ロータリーが常設するどのプログラムに参加したことがありますか
【オンライン RLI 参加者テキスト 資料集 P25,26 を共有画面に表示】
それぞれの発言の後
【画面を共有から参加者の顔が見える環境に切り替えて】
参加したことがある人は感想を聞かせてください。
→このようなプログラムが存在することをどのようにして知りましたか？
また、どのような方法で参加を実現しましたか？
・世界ネットワーク活動プログラムがもたらすメリット
→国際的なネットワークであることを実感した体験（国際大会への出席等）
を語ってもらう

４．まとめ　　00:40~00:45

単なる奉仕団体やボランティア団体との違い、ロータリーの特徴の一つに「国際的なネットワーク」であることが挙げられます。
クラブの活性化を目指すとき、身の回りのことはもとより、世界との繋がりが実感できるプログラムに参加することは、人生の豊かさを増す一場面になるでしょう。

４．アンケート記入

２.効果的なリーダーシップ戦略

1．自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　１分以内

2．　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　１分以内

３．セッションの目標の確認

□グループの中での指導力やコミュニケーション能力を向上させる
□目標や提案に対する支援を勝ち取ることができる方法を確認する

４．セッション

『参加者テキスト 資料集』の 28 ページを開いてください。そこには二つのシナリオが掲載されていますが、今回は「シナリオ２」について皆さんと考えてみます。　それではシナリオ２の(1)の前までの文章をどなたか読んでいただけますか？　希望者はカメラに向かって挙手をお願いします。

続いて（１）から（６）までを読んでくださるかた挙手をお願いします。

ありがとうございました。クラブ会長を経験された方ならば、少なからず「そうそう」とうなずけるシーン設定だと思われます。

どうしたらクラブ活性化への道が開けるのか、あなたならどのような工程を経てこの課題をクリアしようと考えるか、皆さんのアイディアをお聞かせください。

５．まとめ　　00:40~00:45

先頭に立つ方を表す言葉は様々あります。伝統的な表現からは「Boss」が挙げられます。皆の在りようを一手に引き受け、有無を言わさぬ上意下達方式がその言葉からイメージされます。

次に「Leader」が挙げられ、チームという言葉が連想されます。メンバーと共に目指す姿実現に向け役割分担を的確に行いながら PDCA を廻す、そのようなイメージがわきます。

ロータリーの中核的価値観にある「リーダーシップ」はどちらのイメージを表現しているか、お分かりになりますね。

３.会員を勧誘する

１．　自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　１分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　１分以内

３．セッションの目標の確認

□よいロータリアンの特性を定義する　理想的なロータリアンの特性とは
□どうしたら、私たちのクラブがよいロータリアンを勧誘することができるかを探る

４．セッション

あなたのクラブはよいロータリアンで構成されていますか？
第２セッションでアイディア交換した「リーダーシップ」を発揮しがいのあるクラブづくりには多様な視点をもった会員が存在することが望まれます。
クラブを活性化するよいロータリアンとはどのような会員なのでしょうか？

ロータリーには「職業分類」という仕組みがあることをご存知ですか？
職業分類を活用した会員の勧誘経験のあるクラブの方はいらっしゃいますか？

ある場合　→　どのような活用方法でしたか？
クラブが所在する地域の職業構成と職業分類表の整合性をチェックしているかを尋ねる

無い場合　→　会員増強は 2019-20 年度からスタートした「新しい戦略計画」における「会員増強」計画における４つの優先事項
「より大きなインパクトをもたらす」→　会員増強は最重要事項メッセージ
「参加者の基盤を広げる」→会員属性の多様化　IAC/RAC との関係強化
「参加者の積極的なかかわりを促す」→会員表彰機会の拡大　新形態のクラブ
「適応力を高める」→会員アンケートの実施　運営プロセスの改善
を確認する。

３．まとめ　　00:40~00:45

ロータリーのエッセンス
Join Leaders, Exchange Ideas, Take Action　の意味を確認してみてください。
会員増強がもたらしてくれるロータリーの醍醐味を、多くの人々が共有することができることになるでしょう。

４.チーム作りとクラブコミュニケーション

１．　自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　１分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　１分以内

３．セッションの目標の確認

□チームとチーム作り（チームビルディング）がロータリークラブの中でどのようになされているのか調べてみましょう
□あなたのクラブの強みと弱みを議論しましょう
□効果的なコミュニケーションの基本的な要素について理解する
□効果的なコミュニケーションの方法をﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞのリーダーシップに応用する

４．セッション

このセッションの狙いは「元気なクラブ」を作るためのアイディアを得ることにあります。

質問

①クラブが「戦略計画（あるいは長期計画）」を持っているところはどのくらいあるでしょうか。カメラに向かって、あるところは〇、ないところは×を示してください。

②ロータリーの認知度向上を目指したプロジェクト「世界を変える行動人」をご存知の方はどの位、いらっしゃるでしょうか。カメラに向かって、ご存知の方は〇、ご存じない方は×を示してください。

戦略計画を持っているクラブの方にお尋ねします。
→計画があることでクラブが活性化したと思われる事例を、どのような仕組みや工夫を持って実行されたかお話しください。
→この内容に関する感想をお聞かせください。

「世界を変える行動人」をご存知の方にお尋ねします。
→公共イメージを向上させたと思われるプロジェクトを、どのような仕組みや工夫をもって実行されたお聞かせください。
→この内容に関する感想をお聞かせください。

３．まとめ　　00:40~00:45

クラブがチームとして一体化し、同じ目的に向かい、コミュニケーションよく行動を起こした時には、想定を超える結果と、期待を超える一体感を得ることができるはずです。元気なクラブづくりを目指しましょう。

5.ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕

1．自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　1分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　1分以内

3．セッションの目標の確認

□ロータリー財団の補助金モデルを復習する
□クラブにとって補助金モデルが重要であることを議論する
□ロータリーの『６つの重点分野』の役割について学ぶ
□『持続可能性』の重要性について理解を深める

4．セッション

ロータリー財団にはどのような補助金モデルがあるでしょうか？
－グローバル補助金と地区補助金の違い、シェアシステムを確認する

それではこの補助金の使い道を確認してみましょう
－(TRFの人道的奉仕のビデオ)　ttps://youtu.be/D3b2GXJPkbk

あなたのクラブではTRFへの寄付がどのように使われているか話したことがありますか？　或いは、活用したことがありますか？
－パートⅡ第１セッションで学んだ「国際ロータリーのプログラム」の中にTRFに関連するものがありましたが覚えていらっしゃいますか？
－地区補助金とグローバル補助金の活用事例を聞きだし、クラブにどのような変化をもたらしたのか、について発言を求める
－補助金活用に対するアイディアを募り発言を促す
－活用できる分野を確認しておくこと

補助金活用が期待される「６つの重点分野」とは何かを尋ねてみる
－発言を確認しながら、Part Ⅰで確認した内容、冒頭で視聴のビデオに触れ「平和と紛争予防/紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」を再度確認しておく

3．まとめ　　00:40~00:45

「世界でよいことをしよう」を実践するための国際ロータリーが持っている仕組みについて学んできました。
ここでの学びをどのように活かそうと考えたか、あるいはそのためのアイディアが浮かんだかについて、聞かせてください。

６.米山記念奨学事業

１．自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　１分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾍﾟｲﾙでの位置づけを確認　　１分以内

３．セッションの目標の確認

□この事業は、いつ、どのような目的で始められたのか知りましょう
□この事業は、現在どのように成長してきたのかを知りましょう
①年間奨学生数、その累計人数、　②国、地域数、その傾向
③年間寄付金収入総額、　④年間寄付金支払い総額は
□この事業の意義について考えてみましょう

４．セッション

あなたは「公益財団法人米山記念奨学会」の事業についてどのような紹介ができるでしょうか？

財団　主にロータリアンの寄付を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業
使命　将来、日本と世界を結ぶ「かけ橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。
国際ロータリーの「平和と国際理解の推進」を実践する事業
誕生　1952 年東京ロータリークラブにより誕生した「米山基金」をベースに1967 年「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が認可される
特徴　①世話クラブ・カウンセラー制度による奨学生の支援/育成
②日本最大の民間奨学事業：年間 800 人の奨学、事業費は 14 億円
累計 20,396 人の奨学生、その出身は 125 の国と地域
③世界 9 か国に所在する学友会組織

あなたは、あなたのクラブはこの事業に寄付以外の方法でかかわった経験がありますか

－近隣に対象となる教育機関がないと世話クラブ等を経験しにくい制度ですがそのようなケースにおいて、奨学事業を推進・支援する方法はなんでしょう
－奨学会への寄付について知っていることをお話しください
普通寄付：クラブが会異数に低額を乗じて行う寄付
特別寄付：個人/法人/クラブからの普通寄付以外の寄付
優遇自制：税額控除/所得控除
表　　彰：功労者表彰/メジャードナー認証

あなたのクラブや地区では、この事業への関心を高めるために「よねやま親善大使」を招聘したことがありますか、ホームカミング制度を活用したことがありますか

奨学会とは別に「公益財団法人米山梅吉記念館」があることをご存知ですか

５．まとめ　00:40~00:45

日本のロータリー活動固有のプロジェクトである「米山記念奨学制度」について学んできました。公益法人を取得したこの活動に対し、更なる発展のため、これからの事業のありかたについてアイディアがありましたらお聞かせください。

６．アンケート記入

オンライン RLI
セッションの進め方
パートⅢ

サンプル

RLI 日本支部　ファシリテーター委員会

担当：木下 光一（RID2720 PDG）

1.戦略計画とクラブの分析

1．自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　1分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　1分以内

3. セッションの目標の確認　　00:02~00:05

A. あなたのクラブを分析する

B. 戦略計画に対する価値と立案過程を理解する

C. 改善すべき分野を再検討する

D. いかにして特定の改善がなされるかを議論する

4. セッション /*オンラインでのセッションに不慣れな参加者のため、ファシリテータが積極的に声をかけて意見を引き出すこと

クラブの自己評価表について　　00:05~00:25

全体をざっと目を通してもらう　　00:05~00:09

クラブ管理について記入してもらう　　00:09~00:14

意見交換　　00:14~00:25

国際ロータリーの戦略計画を復習し、クラブの戦略計画を考えてみる

RI戦略計画をざっと説明してもらう　　00:25~00:28

クラブの戦略計画についてどう考えるか　意見交換　　00:28~00:35

クラブ戦略計画立案ワークシートに記入してみる　　00:35~00:42

5．まとめ　　00:42~00:45

私たちは 何のためにロータリーをしているのか、それを実現するためには望ましいクラブになる必要がある

2.ロータリー財団　国際奉仕

1. 自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　1分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　1分以内

- 3.セッションの目標の確認　　00:02~00:05

  A　国際奉仕の機会について学ぶ

  B　私たちの職業上の技術を国際奉仕プロジェクトに活用する

  C ロータリアン行動グループが如何に私たちの活動を広げるかを学ぶ

  D　国際法師に関するアイデアを探求する

4. セッション　　00:05~00:41

/*オンラインでのセッションに不慣れな参加者のために、ファシリテーターが積極的に声をかけて意見を引き出すこと

テーマ　海外の地域課題の解決にどう向き合うのか　　00:05~00:13

どんな方法があるか　　00:13~00:22

ロータリー財団の活用　　00:22~00:31

グローバル補助金事業の創造　　00:31~00:41

5. まとめ　　00:41~00:45

地域課題の解決が世界平和の実現につながることを理解し、

活動に参加することによって自分の成長を実現する

3.公共イメージと広報

1. 自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　1 分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　1 分以内

3.　セッションの目標の確認　　00:02~00:05

A ロータリー、クラブ、会員についての公共イメージについて考える

B 広報戦略によってクラブがどう変わるか

C 広報の対象者を確認し、その人たちへの効果的な広報の方法を考える

4. セッション　　00:05~00:42

/*オンラインでのセッションに不慣れな参加者のために、ファシリテーターが積極的に声をかけて意見を引き出すこと

クラブが広報しようとする対象の人々は？　　00:05~00:14

クラブはなぜ広報に力を入れる必要があるのか　　00:14~00:24

その効果的な方法は？　　00:24~00:34

クラブや会員は地域社会から見てどんな存在でしょうか？　　00:34~00:42

5. まとめ　　00:42~00:45

ロータリークラブは内部の会員に対してはもちろん、外部の地域社会に対して質の高い広報をし続けることで成長する。広報は戦略の一部である。

４.強いクラブを創る

1．自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　1 分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　1 分以内

３．セッションの目標の確認　　00:02~00:05 分

A 時代によって変化するロータリーに対する期待
変化するものと変化しないもの

B　ロータリーはその期待に応えられているか
応えられているものといないもの

C ロータリーは約束しているか？何を誰に対して
その約束を果たすために何ができるか

４．セッション

/*オンラインでのセッションに不慣れな参加者のために、ファシリテーターが積極的に声をかけて意見を引き出すこと

A ロータリーに対する期待について　　00:05~00:20

テーマ　会員、会員候補者の期待
地域社会の期待
ロータリーはその期待に応えられているか
応えられているものといないものをあげる

B クラブの健康チェック　　00:20~00:42

テーマ　クラブの運営についてチェックをして情報交換
会員増強についてチェックをして情報交換

５．まとめ　　00:42~00:45

資料に触れながら、特に事業の期待と成果シートをセッション後に埋めてみることを勧める。強いクラブ創りは戦略とコツコツ努力の積み重ねであることを納得してもらう。

５.規定審議会・決議審議会

1. 自己紹介　ファシリテーターのみの場合　１分以内

2. 本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　１分以内

３.　セッションの目標の確認　00:02~00:05

規定審議会　３年に一度開催　組織規定の改定

決議審議会　毎年オンラインで開催　決議案の採択

国際ロータリーの立法機関　各地区から１名の代議員

４.　セッション　00:05~00:42

/*オンラインでのセッションに不慣れな参加者のために、ファシリテーターが積極的に声をかけて意見を引き出すこと

ロータリーの何を変えたいですか？　00:05~00:14

変える方法　00:14~00:24

クラブ、地区

ＲＩ理事会

規定審議会

規定審議会について　00:24~00:42

＊写真やビデオを見てもらう

５.　まとめ　00:42~00:45

ロータリーは時代とともに変わり続けなければ存続できません。規定審議会・決議審議会に提案すれば、私たちの意思で、ロータリーを変えることができます。ロータリーの本質を捉えて考えて行きましょう。

6.変化をもたらす

1. 自己紹介　ファシリテーターのみの場合　　1分以内

2.　本セッションのｶﾘｷｭﾗﾑ･ｽﾊﾟｲﾗﾙでの位置づけを確認　　1分以内

３．セッションの目標の確認　　00:02~00:05

A RLI の改善について経験者として考える

B　RLI をクラブや他の市民団体、社会生活、職業でどう活かすか

C　RLI の改善について考える

４．　セッション　　00:05~00:42

/*オンラインでのセッションに不慣れな参加者のために、ファシリテーターが積極的に声をかけて意見を引き出すこと

a　RLI を学んだことで、あなたのクラブに変化をもたらせそうですか？　00:05~00:14

b ＲＬＩで学んだリーダーシップをロータリーでどう活かしますか？　00:14~24

c ＲＬＩで学んだリーダーシップを仕事でどう活かしますか？　00:24~34

d ＲＬＩをどう改善すればより良い成果を上げられるでしょうか？　00:34~42

５．　まとめ　　00:42~45

ご卒業おめでとうございます。

ＲＬＩで学んだリーダーシップをロータリーはもちろん、仕事や社会生活、そして家庭で実践して幸せな人生に磨きをかけてください。

国際ロータリー第2･･･地区
2020-21 〇〇ガバナー年度
ロータリー・リーダーシップ研究会
（Rotary Leadership Institute ： RLI）

パート1ガイダンス サンプル

オンライン RLI セミナー

2020. 7 . 1

RLI 日本支部
ファシリテーター委員会

ロータリー・リーダーシップ研究会
（Rotary Leadership Institute：RLI）

- 米国で始まった草の根的な指導力養成プログラム（1992年～）
- 現在ではRIの多地区合同奉仕プログラムとして、現在世界の 410地区で採用（77 %）
  日本では34地区中27地区（79 %）
- 目的は、質の高いリーダーシップ研修を通じてロータリークラブを活性化すること
- 参加型・双方向型の討議により、参加者のロータリー理解を深め、モチベーションを高める

RLIの理念

ロータリー・リーダーシップ
研究会（RLI）は、質の高い
リーダーシップの研修を通じて、
クラブの活性化を願う、
草の根の多地区合同
プログラムである。

RLIセミナーの特長

RLIの研修は、従来の講義を
聞くスタイルではなく、
決められたテーマについて、
みんなで意見を自由に出し
合って討議する形式です。
（1セッション50分×6時限×3回）

RLIセミナーの進め方

- 各セッションは50分、
  1日６セッション。
- 各セッションは、ディスカッション
  リーダー（DL）が進行役を
  務める。
- １セッションの参加者は８～１５人
  ぐらいが望ましい。

なぜ
RLIセミナーか？

RLI : Rotary
Leadership
Institute

ロータリーでは“Leadership”という言葉をよく使います

◎地区リーダーシップ・プラン　District Leadership Plan：DLP
◎クラブ・リーダーシップ・プラン　Club Leadership Plan：CLP
◎地区指導者育成セミナー　District Leadership Seminar
◎クラブ指導力育成セミナー
Club Leadership Development Training
◎ローターアクト指導者育成研修　Rotaract Leadership Training
◎ロータリー青少年指導者養成プログラム
Rotary Youth Leadership Awards：RYLA
◎ロータリー・リーダーシップ研究会
Rotary Leadership Institute：RLI

ロータリーはリーダーの集まりだから、今さらリーダーシップを学ぶ必要はない！

ロータリーはリーダーシップを鍛錬する道場

ロータリーにおける リーダーシップ

- ロータリークラブは、権限を持った固定したトップが指示・命令する組織ではない。
- 会員の平等・対等な関係が前提。
- クラブの組織力を高めるためには、会員全員の合意形成・対話・協力が重要。
- 会員それぞれが個性と能力を存分に発揮できるよう、場面によってリーダーは変わる。

中核的価値観 *Core Values*

1. 奉仕　*Service*
2. 親睦　*Fellowship*
3. 多様性　*Diversity*
4. 高潔性　*Integrity*
5. リーダーシップ　*Leadership*

（RI 戦略計画）

標準ロータリークラブ定款
第8条 会員身分
第1節ー 全般的資格条件

本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、職業および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。

ロータリーのエッセンス

JOIN LEADERS
リーダーのネットワークへ

EXCHANGE IDEAS
アイデアを広げる

TAKE ACTION
行動する

入りて学び、出でて奉仕せよ
Enter to learn, Go forth to Serve.

ロータリーでは、
会員全員が
必要に応じて
リーダーシップを
発揮するよう
期待されています！

なぜ「ロータリー研修」か？

「ロータリー研修」によって、
ロータリーを理解し活動意欲の
高い会員が増えれば、
クラブが元気になり、
「会員増強」（会員維持、新会員
勧誘）も可能になる。

ディスカッションリーダーの役割

ディスカッションリーダー（DL）は、
一方的にレクチャーする講師では
ありません。
参加者が質の高い意見やアイデア
の交換をするための進行役です。

＝ ファシリテーター（Facilitator）

ディスカッションリーダーは、ファシリテーター（Facilitator）

＊「（討論などの）進行役、まとめ役」
＜リーダーズ英和辞典（研究社）＞
〔語源〕ラテン語 facilis（たやすい）
＊ **facilitation** ＝ 容易にすること、促進

ファシリテーターの役割

1. 討論の流れをスムーズにする。
2. 参加者の活発な発言を促す。
3. 議論の交通整理をする。

ディスカッションリーダーの役割

ディスカッションリーダーの問いには「正解」がないことも多い。
多様な答えが考えられる。

DLの役割は、参加者全員に発言を求め、多様な意見を引き出し、参加者の気づきを促し、ロータリーに対する意欲・関心を高めること。

→ RLIセミナーは、ロータリアン個人がロータリーを学ぶきっかけづくり

討議（ディスカッション）のルール
≪参加者の心構え≫

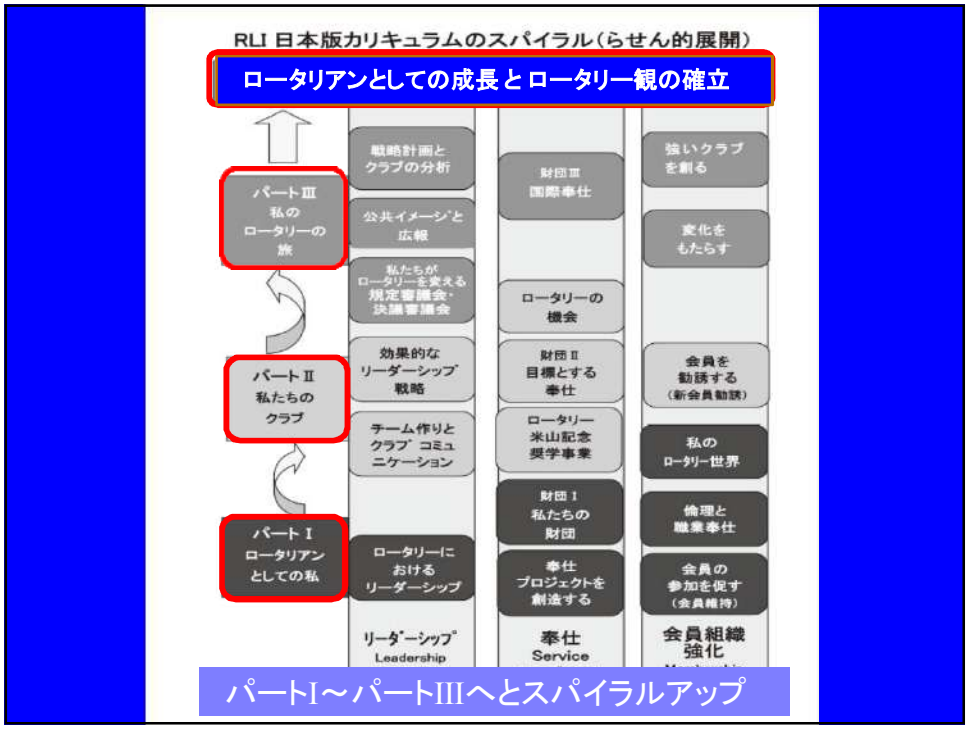
① 自由に討議に参加してください。
② 注意深く聞きましょう。
③ 経験を自由に語りあいましょう。
④ 本題から離れないように注意しましょう。
⑤ 他人の発言に対して寛容に。
⑥ 自分と違った視点に感謝しましょう。
⑦ 発言は短く、的確に行ないましょう。
⑧ 楽しく議論しましょう。

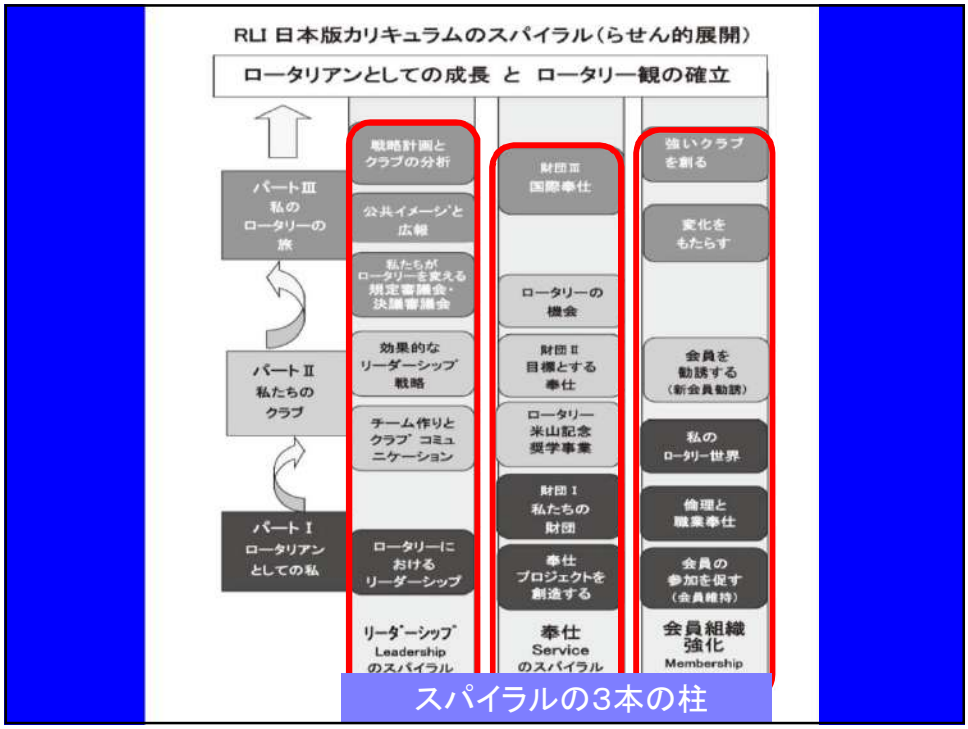
積極的に参加し、
活発な討議に協力しましょう！

『オンラインRLI 参加者テキスト』

テキストは、米国RLI本部の2018~2022年版テキストに基づく日本版テキストを日本支部カリキュラム委員会がオンライン用に編集しました。1 参加者テキストと２ 資料集 に分けて編集しています。

2018-2021年度
カリキュラム委員会 委員長　刀根荘兵衛PG（D2650）
副委員長　本田 博己PG（D2840）
委　員　渡邊 和良PG（D2770）
委　員　井原　實PG（D2770）


RLI 日本版カリキュラムのスパイラル（らせん的展開）
ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立
パートIII 私のロータリーの旅
パートII 私たちのクラブ
パートI ロータリアンとしての私
戦略計画とクラブの分析
公共イメージと広報
私たちがロータリーを変える規定審議会・決議審議会
効果的なリーダーシップ戦略
チーム作りとクラブコミュニケーション
ロータリーにおけるリーダーシップ
財団III 国際奉仕
ロータリーの機会
財団II 目標とする奉仕
ロータリー米山記念奨学事業
財団I 私たちの財団
奉仕プロジェクトを創造する
強いクラブを創る
変化をもたらす
会員を勧誘する（新会員勧誘）
私のロータリー世界
倫理と職業奉仕
会員の参加を促す（会員維持）
リーダーシップ Leadership
奉仕 Service
会員組織強化
パートI～パートIIIへとスパイラルアップ


RLI 日本版カリキュラムのスパイラル（らせん的展開）
ロータリアンとしての成長 と ロータリー観の確立
パートIII 私のロータリーの旅
パートII 私たちのクラブ
パートI ロータリアンとしての私
戦略計画とクラブの分析
公共イメージと広報
私たちがロータリーを変える規定審議会・決議審議会
効果的なリーダーシップ戦略
チーム作りとクラブコミュニケーション
ロータリーにおけるリーダーシップ
財団III 国際奉仕
ロータリーの機会
財団II 目標とする奉仕
ロータリー米山記念奨学事業
財団I 私たちの財団
奉仕プロジェクトを創造する
強いクラブを創る
変化をもたらす
会員を勧誘する（新会員勧誘）
私のロータリー世界
倫理と職業奉仕
会員の参加を促す（会員維持）
リーダーシップ Leadership のスパイラル
奉仕 Service のスパイラル
会員組織強化 Membership
スパイラルの3本の柱

パートⅠのコース内容

一日目

セッション１　ロータリーにおけるリーダーシップ（My Leadership In Rotary）
ロータリアンである私はリーダーです。さあご一緒に、リーダーシップの特徴や組織を動機づける手法やリーダーシップのスタイルを探求しましょう。どうしたら一番うまくリーダーシップを発揮することができるでしょうか？

セッション２　私のロータリー世界（My Rotary World）
ロータリアンとして私は同じ志を持った世界組織の一員です。ロータリーの目的や構成を正しく理解しましょう。これらのリソースは私を支援してくれるでしょうか？

セッション３　会員の参加を促す（Engaging Members）
私が積極的に参加することでクラブをより強くします。クラブに引き込まれている会員は楽しく過ごし、友人を作り、効果的な奉仕活動を行います。これが私がロータリーに入会した理由です。

二日目

セッション４　ロータリー財団Ⅰ　私たちの財団（Our Foundation）
私は私の住んでいる地域社会や世界で“良い事をしています”。財団に関する基本的な目標やプログラムを学びましょう。そして、私は世界で良い事をする力となるでしょう。

セッション５　奉仕プロジェクトを創造する（Creating Service Projects）
私は職業人や専門職、更には社会のニーズを満たすボランティア活動をしている地域のリーダーで構成される世界的な奉仕組織の極めて重要な一員です。私は奉仕事業を企画運営し、そして奉仕を促進します。

セッション６　倫理と職業奉仕（Ethics & Vocational Service）
私は倫理的な人間です。他人の倫理観を評価し促進させます。自分の職業を通じて奉仕の機会を探ります。私がロータリアンであることをあなたは理解できるでしょう。

セッションを始める前に、・・・

- 事前に配布した**「参加評価書式」**と**「参加者アンケート」**を手元にご準備ください。

  →今後の本セミナーの改善に欠かせない資料となります。セミナー終了後1週間以内にガバナー事務所までデータで提出していただくようお願いいたします。